

**いわき市子どもの生活実態調査業務委託
アンケート調査結果報告書**

2019年11月
いわき市

<目次>

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査概要	1
4. 回収結果	1
5. 調査結果の見方	1
第2章 小学5年生・中学2年生保護者調査結果	2
1. 世帯について	2
2. 回答者について	9
3. 子どもとの関わりについて	11
4. 周囲の人との関わりについて	23
5. 家計の状況について	27
6. 子育て支援について	39
第3章 小学5年生・中学2年生調査結果	51
1. 基本的な属性について	51
2. 普段の生活習慣や健康状態について	52
3. 家族や友達との関係について	60
4. 回答者の考えていることについて	65
5. 放課後の過ごし方について	77
6. 生活状況について	87
7. 様々な支援の利用状況について	96
第4章 使用した調査票	101

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、地域における子ども・子育て支援に係る課題を把握し、課題解決に向けた仕組みづくりや、新たな事業構築などの対応策を検討することを目的として実施しました。

2. 調査対象

市内在住の小学5年生及び中学2年生の児童・生徒並びにその保護者

3. 調査概要

調査対象		調査方法	調査期間
小学5年生	児童	学校を通じて 配布・回収	令和元年7月4日～令和元年7月16日
	保護者		
中学2年生	生徒		令和元年6月28日～令和元年7月9日
	保護者		

4. 回収結果

調査対象		配布数	有効回収数 (率)	(うち)児童・生徒票と 保護者票の両方の回答が得ら れた(親子のマッチングがで きた)世帯(率)
小学5年生	児童	1,500	1,111 (74.1%)	1,075 (71.7%)
	保護者	1,500	1,116 (74.4%)	
中学2年生	生徒	1,500	1,193 (79.5%)	1,170 (78.0%)
	保護者	1,500	1,196 (79.7%)	

※本報告書では、児童・生徒票及び保護者票の各設問の単純集計結果のほか、設問によっては「世帯タイプ別」「生活困難度別」等のクロス集計結果を掲載しています。

なお、クロス集計にあたっては、上記の「児童・生徒票と保護者票の両方の回答が得られた(親子のマッチングができた)世帯」のみを集計対象としています。

5. 調査結果の見方

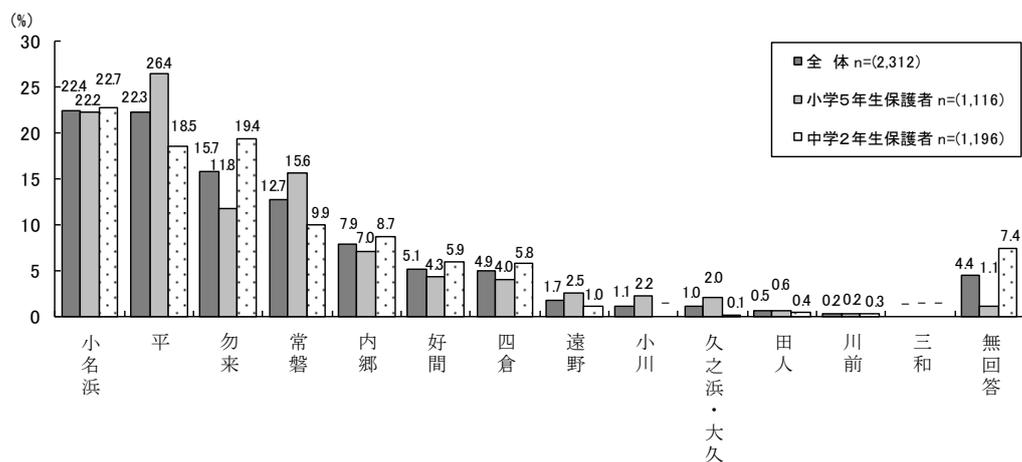
- ◆ n (number of cases) は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを表しています。
- ◆ 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合があります。また、回答者が2つ以上を回答できる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- ◆ グラフ中の「-」は、その選択肢への回答が0件であったことを表します。また、グラフ中の「0.0」は、その選択肢への回答はあったものの、四捨五入の結果、回答比率が0.0%になったことを表します。
- ◆ 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合があります。
- ◆ n値が少数のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中で言及していない場合があります。

第2章 小学5年生・中学2年生保護者調査結果

1. 世帯について

(1) 居住地区

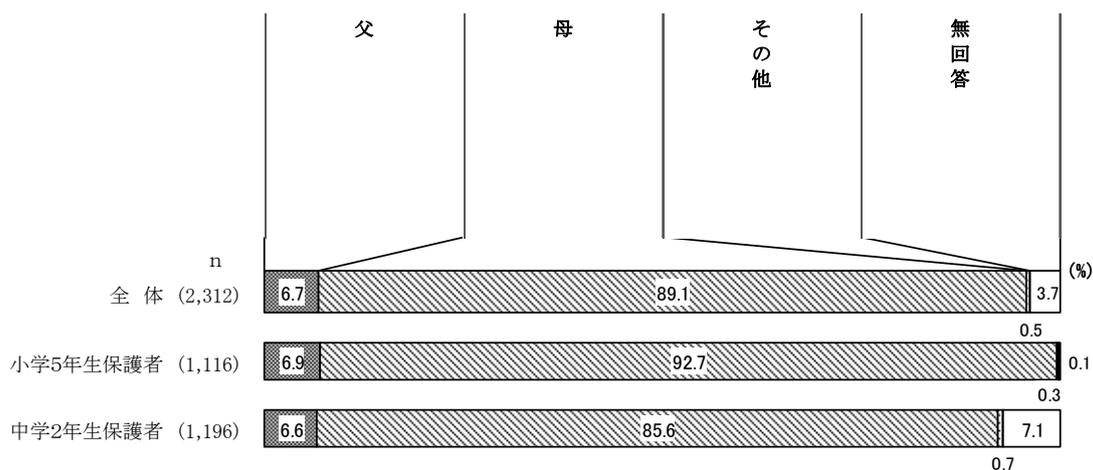
問1 どちらの地区にお住まいですか。(○は1つ)



居住地区について、全体では「小名浜地区」が22.4%と最も多く、次いで「平地区」(22.3%)、「勿来地区」(15.7%)となっています。

(2) 回答者

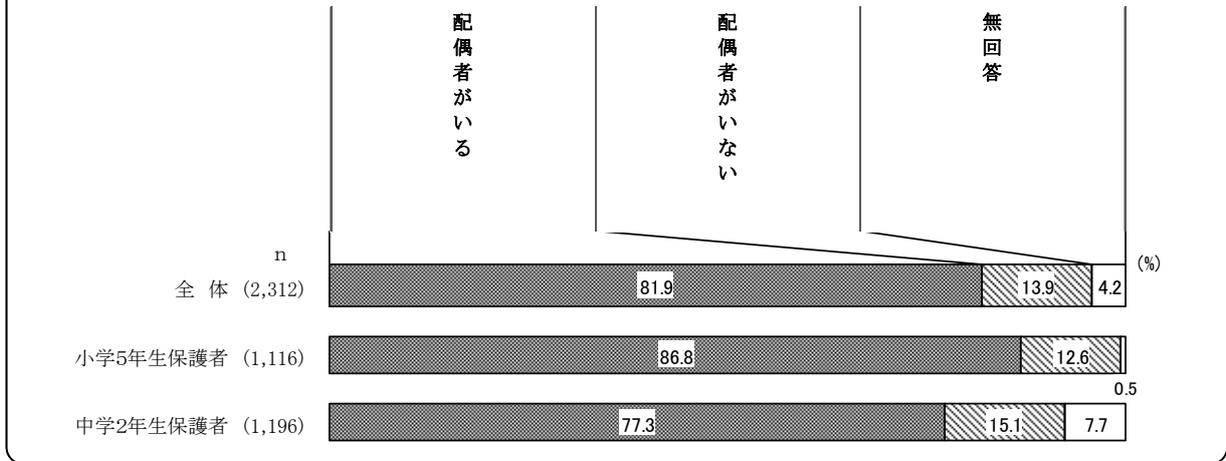
問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)



回答者について、全体では「母」が89.1%と約9割を占め、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

(3) 回答者の配偶関係

問3 あなたの配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

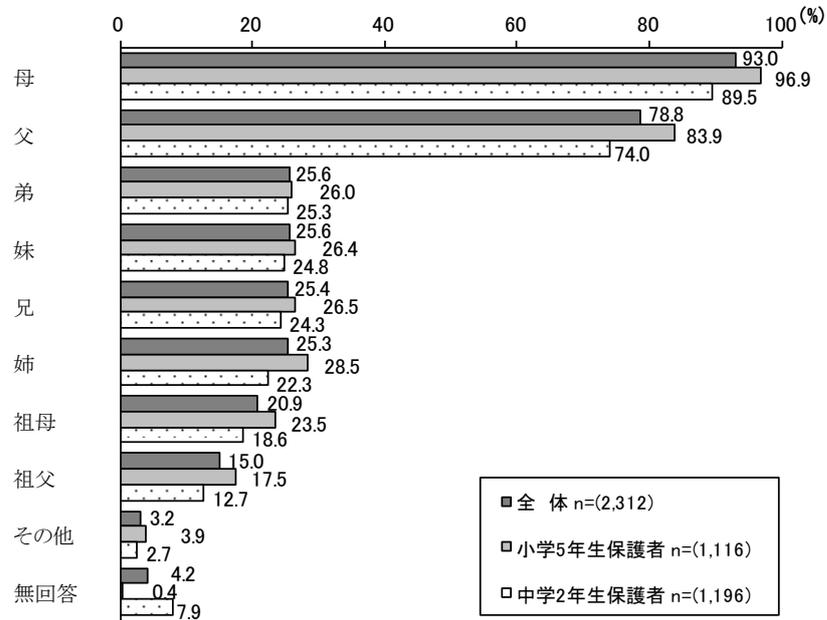


回答者の配偶関係について、全体では「配偶者がいる」が81.9%、「配偶者がいない」が13.9%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

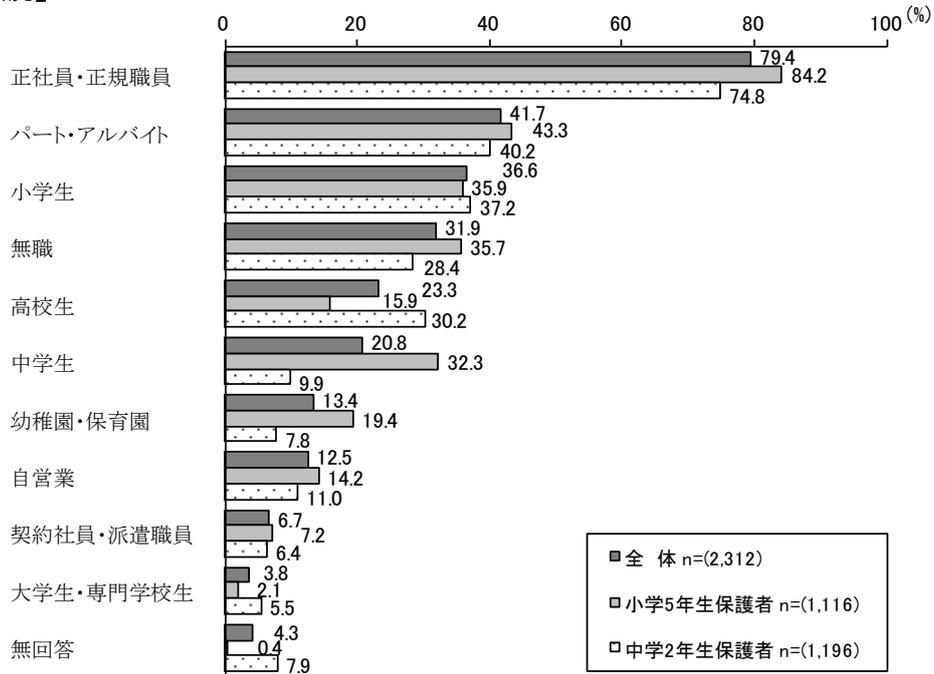
(4) 同居者の続柄、就業状況

問4 お子さんと同居している方について、お子さんからみた続柄と就業状況をお答えください。(続柄と就業状況をそれぞれ人数分、選択してください。※例：母が正社員・正規職員の場合)

【続柄】



【就業状況】



第2章 小学5年生・中学2年生保護者調査結果

同居者の続柄について、全体では「母」が93.0%と最も多く、次いで「父」（78.8%）、「弟」（25.6%）となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

同居者の就業状況について、全体では「正社員・正規職員」が79.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」（41.7%）、「小学生」（36.6%）となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

(5) 世帯タイプ

世帯の状況に応じた生活困難を把握するため、親子のマッチングができた世帯（P.1 回収結果参照）について、問2、問3、問4の回答をもとに「世帯タイプ」別に分類しました。具体的な分類基準については以下のとおりです。

世帯タイプ	問2 回答者	問3 回答者の配偶関係	問4 同居者の続柄	問4 同居者の就労状況
ひとり親世帯				
祖父母等の同居なし	父または母	配偶者がいない	祖父母等*が同居していない	—
祖父母等の同居あり	父または母	配偶者がいない	祖父母等*が同居	—
ふたり親世帯				
共働き	父または母	配偶者がいる	—	父母ともに就労
父親または母親のどちらかのみ就労	父または母	配偶者がいる	—	父親または母親のどちらかのみ就労

※祖父母等：回答者の子どもからみた「祖父」「祖母」「その他」

世帯タイプの具体的な内訳は以下のとおりです。

親子のマッチングができた世帯（P.1 回収結果参照）		2,245 世帯
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 世帯 (13.8%)
	祖父母等の同居なし	208 世帯 (9.3%)
	祖父母等の同居あり	102 世帯 (4.5%)
	ふたり親世帯	1,799 世帯 (80.1%)
	共働き	1,366 世帯 (60.8%)
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 世帯 (19.3%)
世帯タイプの把握が困難*		136 世帯 (6.1%)

※問2、問3、問4の回答内容から、世帯タイプの分類ができなかった世帯

(6) 生活困難度

世帯の経済状況や家庭環境などによる生活困難を把握するため、親子のマッチングができた世帯(P.1 回収結果参照)について、「①低所得」「②家計の逼迫」「③子どもの体験や所有物の欠如」の3要素により「生活困難度」別に分類しました。

条件を一部変更することにより、3パターンの「生活困難度」を算出しており、具体的な分類基準については以下のとおりです。

【パターン1】

①低所得	③子どもの体験や所有物の欠如
1年間の収入の合計金額(問18)において、「200万円未満」と回答した世帯	子どもの体験(問9)や所有物(問23)に関する12項目のうち、 <u>経済的な理由で、欠如している項目が3つ以上該当</u>
②家計の逼迫	
<p><u>経済的な理由で、食料・衣服を買えなかった経験(問20・問21)、公共料金や家賃を支払えなかった経験(問22)などの7項目のうち、1つ以上が該当</u></p> <p>1 家族が必要とする食料をときどき・よく買えなかったことがあった</p> <p>2 家族が必要とする衣料をときどき・よく買えなかったことがあった</p> <p>3 電話料金</p> <p>4 電気料金</p> <p>5 ガス料金</p> <p>6 水道料金</p> <p>7 家賃や住宅ローン</p> <p>※問22については、全7項目のうち、未払いにより基本的な生活水準を保つことが困難になると考えられる5項目のみを基準として定義</p>	<p>1 毎月お小遣いを渡す</p> <p>2 毎年新しい洋服・靴を買う</p> <p>3 習い事に通わせる</p> <p>4 学習塾に通わせる(家庭教師に来てもらう)</p> <p>5 誕生日のお祝いをする</p> <p>6 年1回程度、家族旅行に行く</p> <p>7 クリスマスプレゼントやお年玉をあげる</p> <p>8 子どもの学校行事などに親が参加する</p> <p>9 子どもの年齢にあった本</p> <p>10 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ</p> <p>11 子どもが宿題をする場所</p> <p>12 子どもが必要とする文具や教材</p>

【パターン2】

上記パターン1のうち、「②家計の逼迫」の問20・問21の条件について、「家族が必要とする食料・衣料をまれに・ときどき・よく買えなかったことがあった」に変更

※「①低所得」「③子どもの体験や所有物の欠如」はパターン1と同様の条件

【パターン3】

上記パターン1のうち、「②家計の逼迫」の条件について、電話料金・電気料金・ガス料金・水道料金のみに限定

※「①低所得」「③子どもの体験や所有物の欠如」はパターン1と同様の条件

前述した「①低所得」「②家計の逼迫」「③子どもの体験や所有物の欠如」の3要素のうち、2つ以上に該当する世帯を「困窮層」、1つに該当する世帯を「周辺層」と定義し、これらを合わせて「生活困難層」と定義しました。また、いずれの要素にも該当しない世帯を「一般層」と定義しました。

パターンごとの生活困難度の具体的な内訳は以下のとおりです。なお、次頁以降の生活困難度別のクロス集計では、パターン1の結果を使用しています。

【パターン1】

親子のマッチングができた世帯 (P.1 回収結果参照。以下同じ)		2,245 世帯
生活困難度	生活困難層	462 世帯 (20.6%)
	困窮層	182 世帯 (8.1%)
	周辺層	280 世帯 (12.5%)
	一般層	1,653 世帯 (73.6%)
	生活困難度の把握が困難 [*]	130 世帯 (5.8%)

※前述の分類基準に関連する設問の回答内容から、生活困難度の分類ができなかった世帯。以下同じ

【パターン2】

親子のマッチングができた世帯		2,245 世帯
生活困難度	生活困難層	658 世帯 (29.3%)
	困窮層	222 世帯 (9.9%)
	周辺層	436 世帯 (19.4%)
	一般層	1,459 世帯 (65.0%)
	生活困難度の把握が困難	128 世帯 (5.7%)

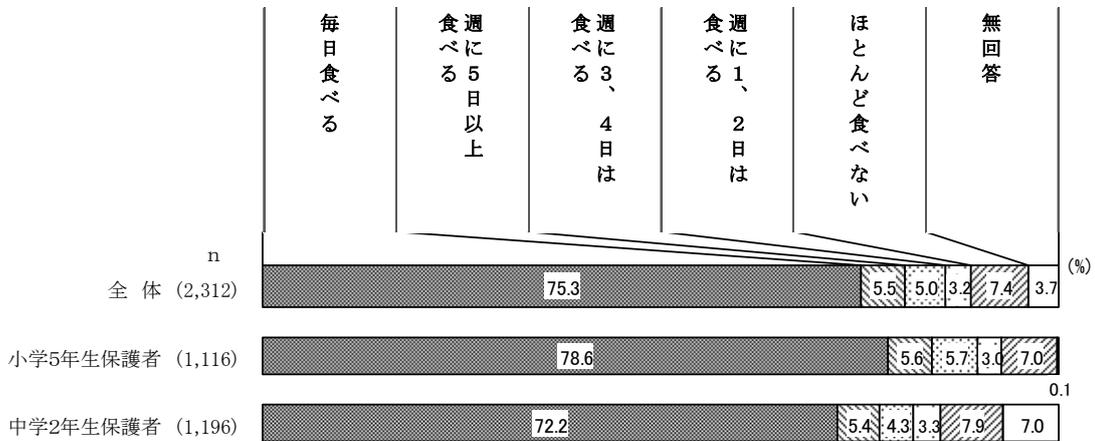
【パターン3】

親子のマッチングができた世帯		2,245 世帯
生活困難度	生活困難層	392 世帯 (17.5%)
	困窮層	123 世帯 (5.5%)
	周辺層	269 世帯 (12.0%)
	一般層	1,694 世帯 (75.5%)
	生活困難度の把握が困難	159 世帯 (7.1%)

2. 回答者について

(1) 朝食を食べる頻度

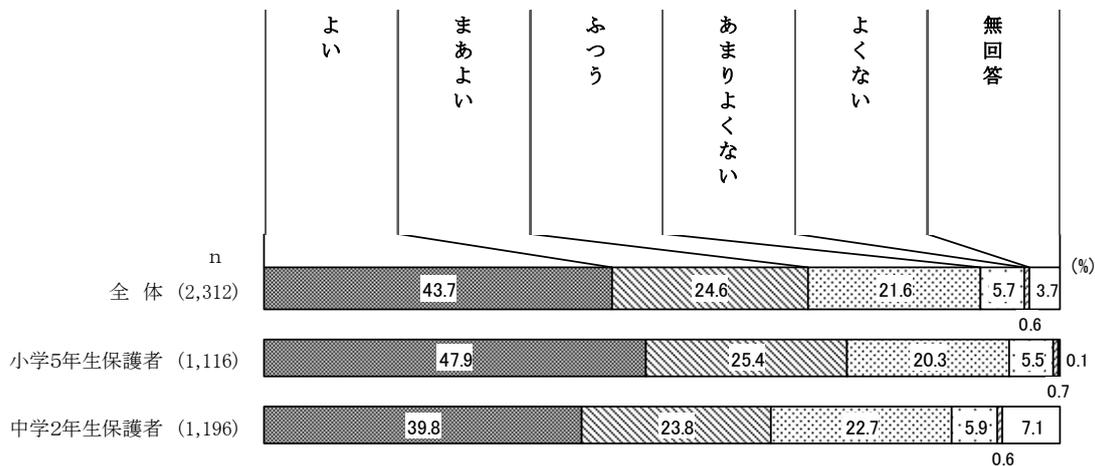
問5 あなたは、朝食をどれくらいの頻度で食べていますか。(○は1つ)



朝食を食べる頻度について、全体では「毎日食べる」が75.3%と最も多く、次いで「ほとんど食べない」(7.4%)、「週に5日以上食べる」(5.5%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

(2) 健康状態

問6 あなたの健康状態についてお答えください。(○は1つ)



健康状態について、全体では「よい」が43.7%と最も多く、次いで「まあよい」(24.6%)、「ふつう」(21.6%)となっています。「よい」と「まあよい」を合わせた《よい》が68.3%と約7割であるのに対し、「よくない」と「あまりよくない」を合わせた《よくない》が6.3%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／健康状態】

(上段:件 下段:%)

		調査数	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	114 36.8	72 23.2	88 28.4	28 9.0	8 2.6	-
	祖父母等の同居なし	208 100.0	74 35.6	47 22.6	62 29.8	19 9.1	6 2.9	-
	祖父母等の同居あり	102 100.0	40 39.2	25 24.5	26 25.5	9 8.8	2 2.0	-
	ふたり親世帯	1,799 100.0	849 47.2	465 25.8	382 21.2	95 5.3	7 0.4	1 0.1
	共働き	1,366 100.0	659 48.2	359 26.3	270 19.8	73 5.3	4 0.3	1 0.1
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	190 43.9	106 24.5	112 25.9	22 5.1	3 0.7	-
生活困難度	生活困難層	462 100.0	141 30.5	107 23.2	127 27.5	62 13.4	10 2.2	15 3.2
	困窮層	182 100.0	48 26.4	39 21.4	51 28.0	32 17.6	7 3.8	5 2.7
	周辺層	280 100.0	93 33.2	68 24.3	76 27.1	30 10.7	3 1.1	10 3.6
	一般層	1,653 100.0	803 48.6	417 25.2	329 19.9	62 3.8	5 0.3	37 2.2

※「世帯タイプ」「生活困難度」については、P.6、P.7 参照

※「生活困難度」は、パターン1を使用。以下同じ

※以降のクロス集計は全て、「親子のマッチングができた世帯」のみを対象として集計（P.1 参照）

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）では「よい」が4割弱と、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ少なくなっています。

生活困難度別にみると、困窮層・周辺層では「よい」が約3割と、一般層に比べ少なくなっており、特に困窮層では一般層と約22ポイントの差が生じています。

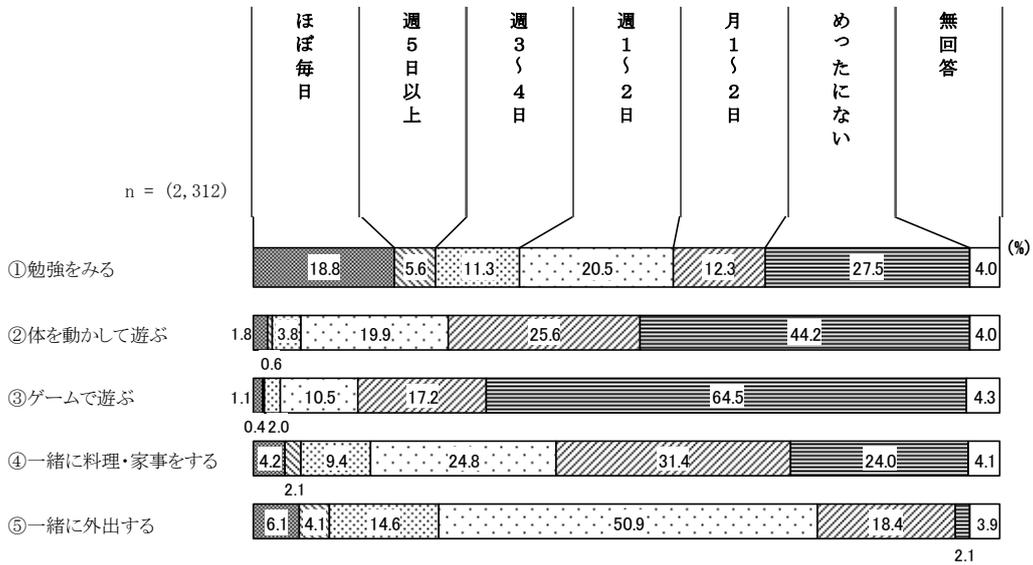
3. 子どもとの関わりについて

(1) 子どもとの関わりの頻度

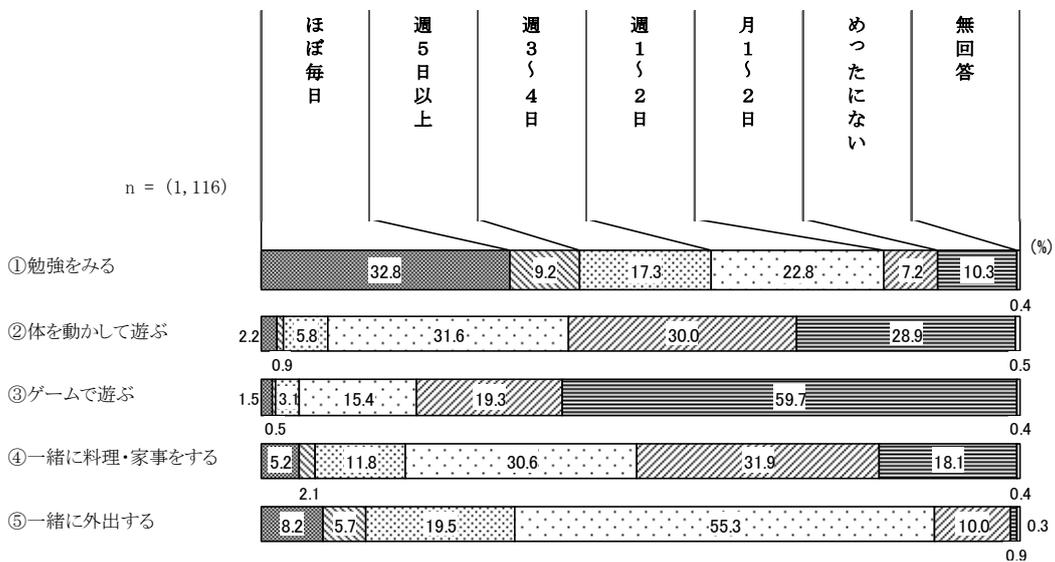
問7 ご家庭でお子さんと次のようなことをすることがありますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

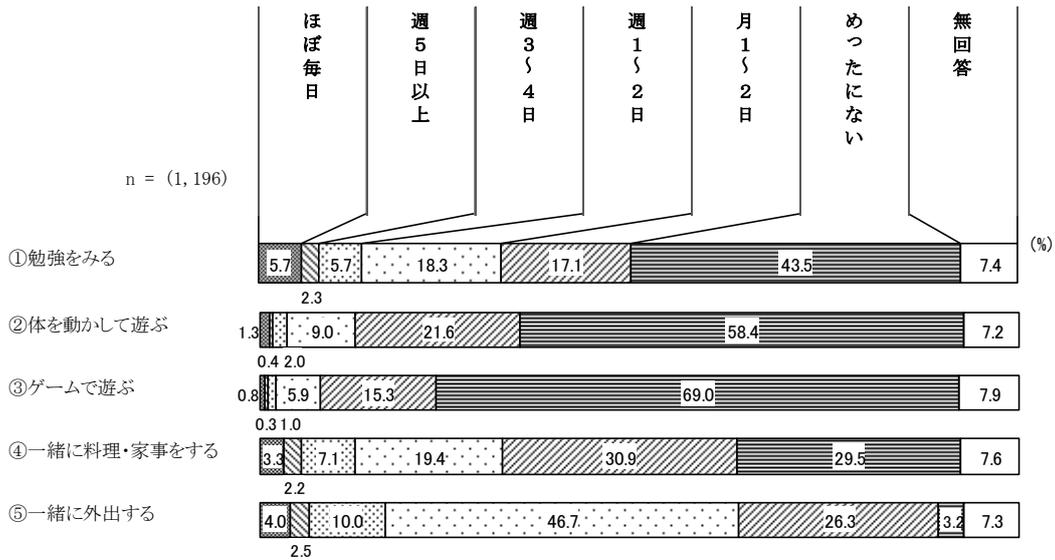
全体



小学5年生保護者



中学2年生保護者



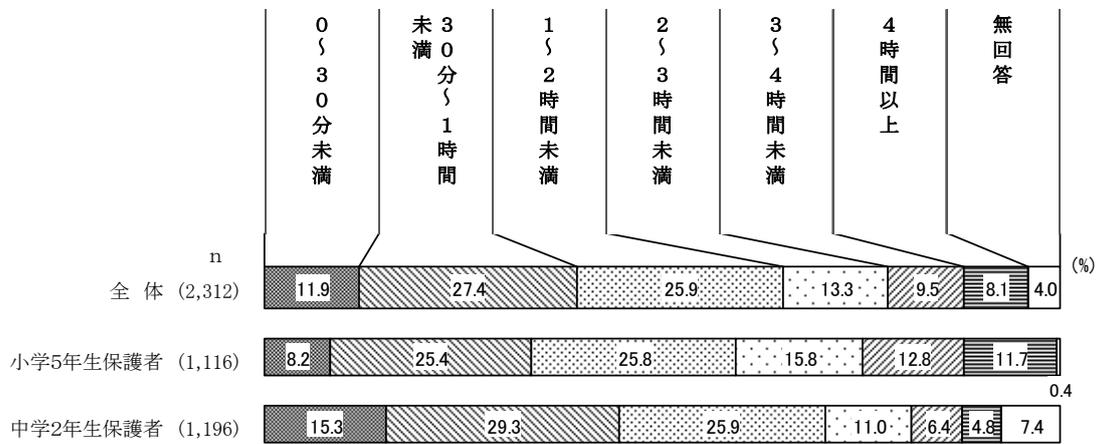
子どもとの関わりの頻度について、全体では「めったにない」が『①勉強をみる』、『②体を動かして遊ぶ』、『③ゲームで遊ぶ』で多く、特に『③ゲームで遊ぶ』が64.5%と、約7割を占めています。また、「週1〜2日」が『⑤一緒に外出する』で最も多くなっており、約半数を占めています。

小学5年生保護者では『①勉強をみる』ことが「ほぼ毎日」と答えた方は32.8%と、最も多くなっています。一方、中学2年生保護者では『①勉強をみる』ことが「ほぼ毎日」と答えた方が5.7%であるのに対し、『①勉強をみる』ことが「めったにない」と答えた方は43.5%となっています。

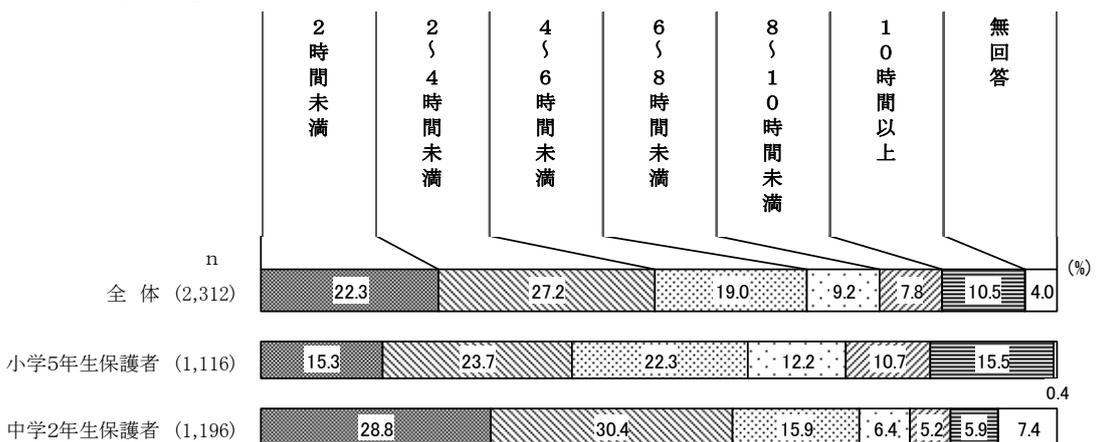
(2) 子どもと関わる時間

問8 あなたが子どもと何かをしたり、相手をしたっている時間は、平日・休日それぞれ1日あたりどのくらいですか。(それぞれ○は1つ)

【平日1日あたり】



【休日1日あたり】



平日1日あたりの子どもと関わる時間について、全体では「30分～1時間未満」が27.4%と最も多く、次いで「1～2時間未満」(25.9%)、「2～3時間未満」(13.3%)となっています。

休日1日あたりの子どもと関わる時間について、全体では「2～4時間未満」が27.2%と最も多く、次いで「2時間未満」(22.3%)、「4～6時間未満」(19.0%)となっています。

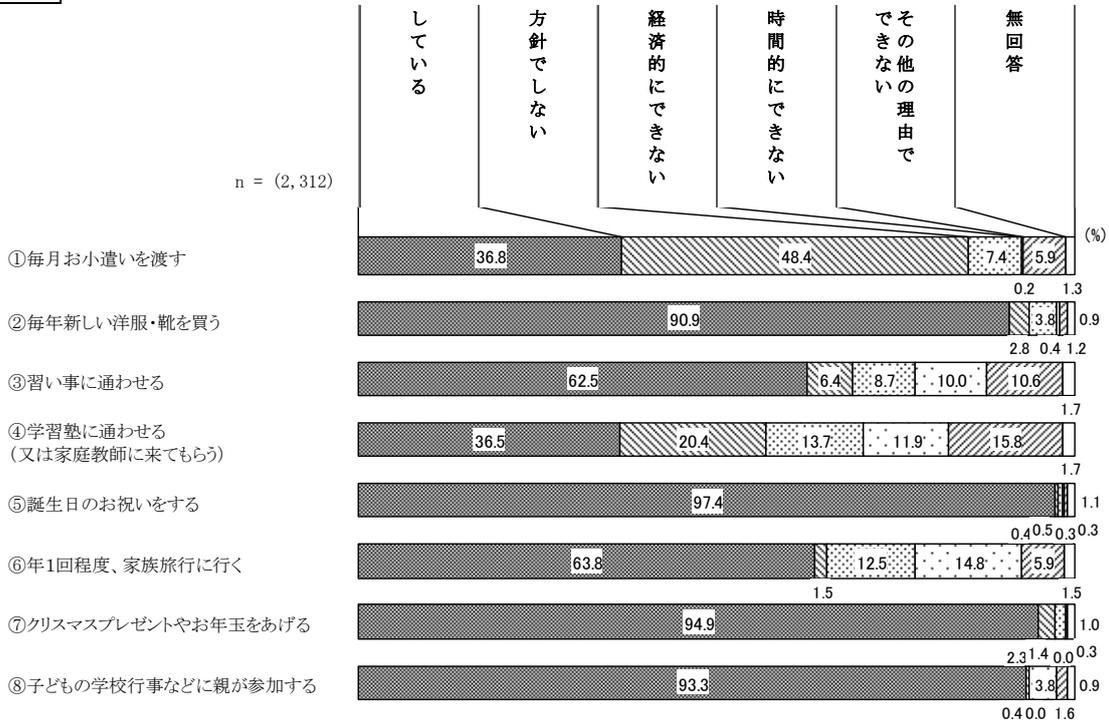
中学2年生保護者は、平日、休日に関わらず、小学5年生保護者に比べ短い時間の回答が多い傾向があり、子どもと関わる時間が少ないことがうかがえます。

(3) 子どもに対してしてあげていること

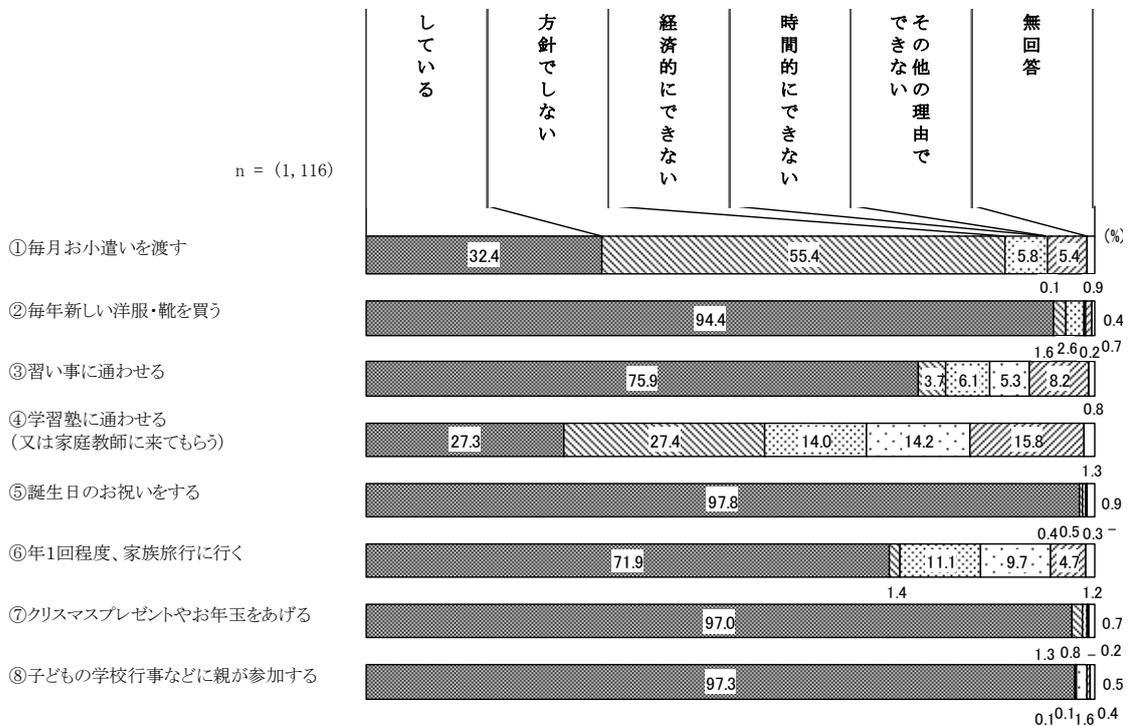
問9 あなたのご家庭ではお子さんに次のようなことをしていますか。

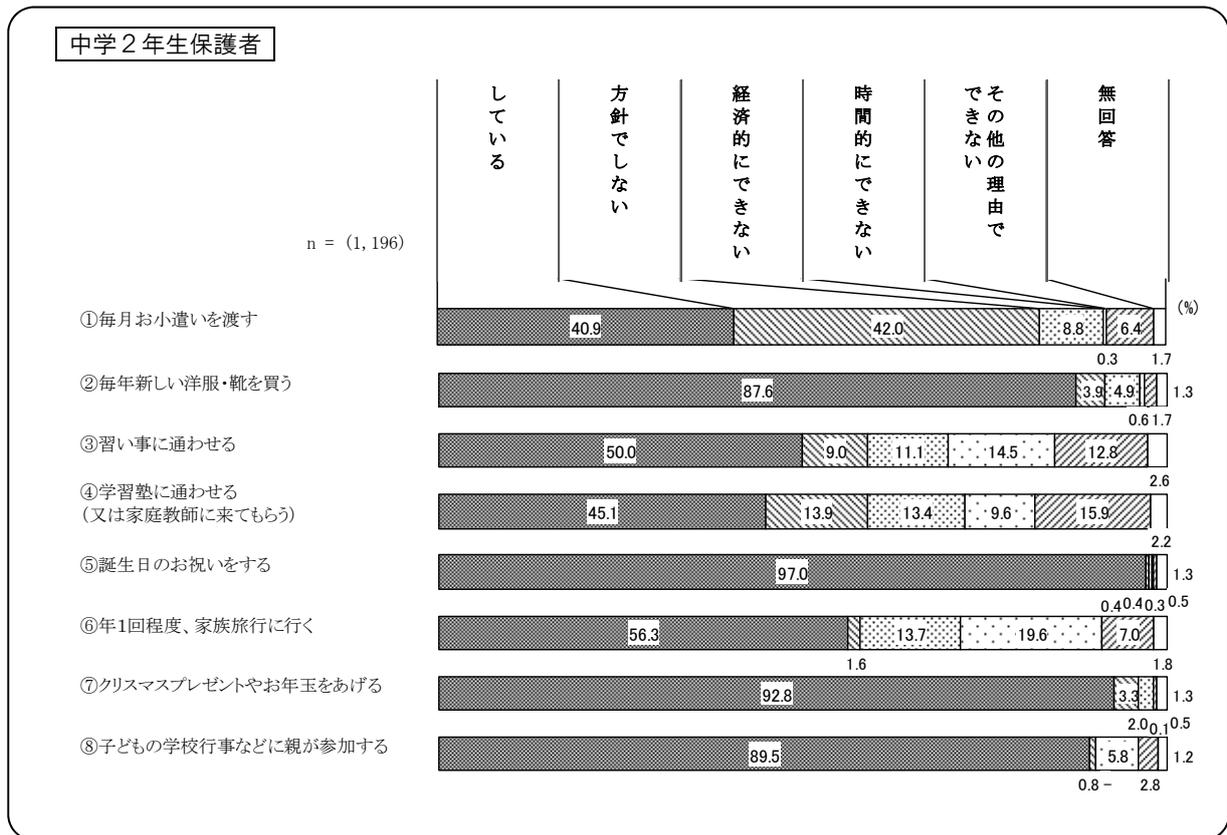
(それぞれあてはまる番号1つに○)

全体



小学5年生保護者





子どもに対してしてあげることについて、全体では『①毎月お小遣いを渡す』以外の項目で「している」が最も多く、特に『②毎年新しい洋服・靴を買う』（90.9%）、『⑤誕生日のお祝いをする』（97.4%）、『⑦クリスマスプレゼントやお年玉をあげる』（94.9%）、『⑧子どもの学校行事などに親が参加する』（93.3%）では、9割以上を占めています。一方、「経済的にできない」は、『①毎月お小遣いを渡す』（7.4%）、『③習い事に通わせる』（8.7%）、『④学習塾に通わせる（又は家庭教師に来てもらう）』（13.7%）、『⑥年1回程度、家族旅行に行く』（12.5%）で、それぞれ約1割を占めています。

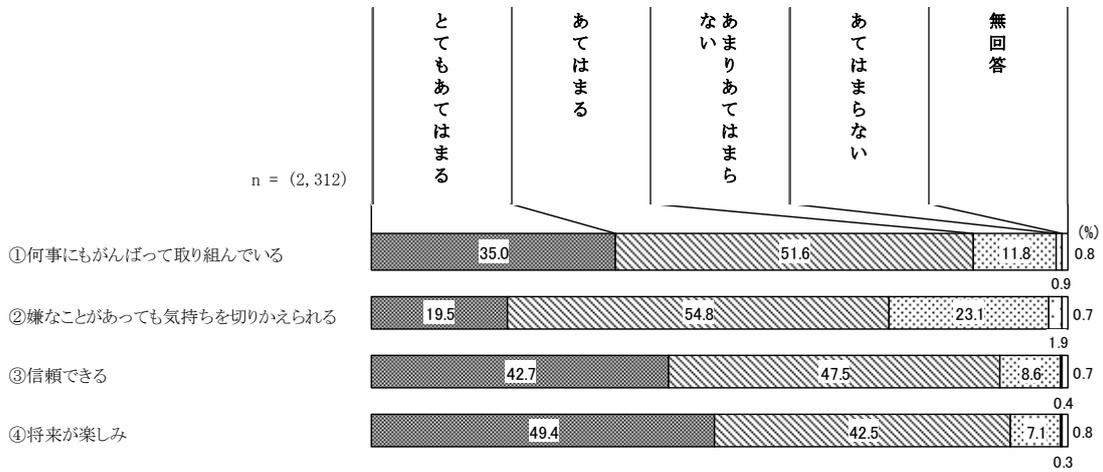
小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

(4) 子どもに対して思っていること

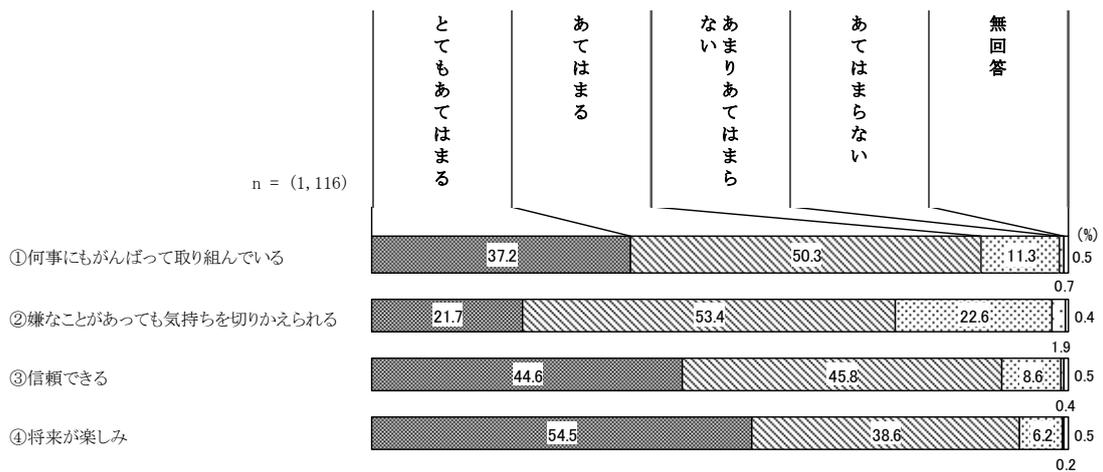
問 10 あなたはお子さんについてどのように思っていますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

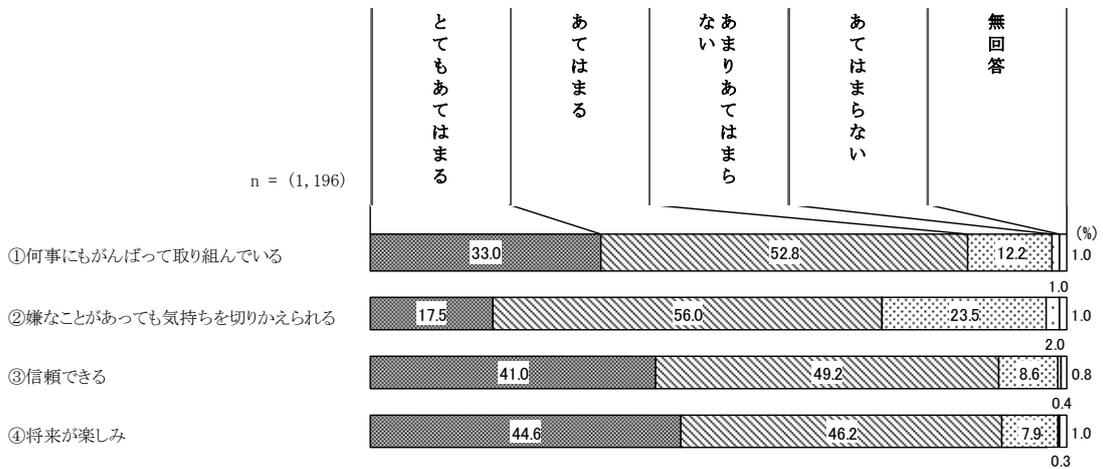
全体



小学5年生保護者



中学2年生保護者



第2章 小学5年生・中学2年生保護者調査結果

子どもに対して思っていることについて、全体ではいずれの項目も「とてもあてはまる」と「あてはまる」を合わせた《あてはまる》が大多数を占めています。一方、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた《あてはまらない》は1～2割程度になっており、特に『②嫌なことがあっても気持ちを切りかえられる』が《あてはまらない》では、25.0%と他の項目に比べ、多くなっています。

小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／子どもに対して思っていること】

① 何事にもがんばって取り組んでいる

		(上段:件 下段:%)					
		調査数	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	96	161	43	6	4
		100.0	31.0	51.9	13.9	1.9	1.3
	祖父母等の同居なし	208	60	110	33	2	3
		100.0	28.8	52.9	15.9	1.0	1.4
	祖父母等の同居あり	102	36	51	10	4	1
		100.0	35.3	50.0	9.8	3.9	1.0
ふたり親世帯	ふたり親世帯	1,799	645	927	204	11	12
		100.0	35.9	51.5	11.3	0.6	0.7
	共働き	1,366	488	709	154	7	8
		100.0	35.7	51.9	11.3	0.5	0.6
父親または母親のどちらかのみ就労	父親または母親のどちらかのみ就労	433	157	218	50	4	4
		100.0	36.3	50.3	11.5	0.9	0.9
生活困難度	生活困難層	462	135	249	69	6	3
		100.0	29.2	53.9	14.9	1.3	0.6
	困窮層	182	57	95	26	3	1
		100.0	31.3	52.2	14.3	1.6	0.5
	周辺層	280	78	154	43	3	2
	100.0	27.9	55.0	15.4	1.1	0.7	
一般層	1,653	613	840	175	13	12	
	100.0	37.1	50.8	10.6	0.8	0.7	

② 嫌なことがあっても気持ちを切りかえられる

		(上段:件 下段:%)					
		調査数	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	57	156	79	14	4
		100.0	18.4	50.3	25.5	4.5	1.3
	祖父母等の同居なし	208	36	105	60	5	2
		100.0	17.3	50.5	28.8	2.4	1.0
	祖父母等の同居あり	102	21	51	19	9	2
		100.0	20.6	50.0	18.6	8.8	2.0
ふたり親世帯	ふたり親世帯	1,799	360	1,004	398	25	12
		100.0	20.0	55.8	22.1	1.4	0.7
	共働き	1,366	286	749	306	16	9
		100.0	20.9	54.8	22.4	1.2	0.7
父親または母親のどちらかのみ就労	父親または母親のどちらかのみ就労	433	74	255	92	9	3
		100.0	17.1	58.9	21.2	2.1	0.7
生活困難度	生活困難層	462	73	223	149	16	1
		100.0	15.8	48.3	32.3	3.5	0.2
	困窮層	182	28	87	59	8	-
		100.0	15.4	47.8	32.4	4.4	-
	周辺層	280	45	136	90	8	1
	100.0	16.1	48.6	32.1	2.9	0.4	
一般層	1,653	343	933	339	24	14	
	100.0	20.8	56.4	20.5	1.5	0.8	

③ 信頼できる

(上段:件 下段:%)

		調査数	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	122 39.4	152 49.0	30 9.7	2 0.6	4 1.3
	祖父母等の同居なし	208 100.0	79 38.0	104 50.0	21 10.1	1 0.5	3 1.4
	祖父母等の同居あり	102 100.0	43 42.2	48 47.1	9 8.8	1 1.0	1 1.0
	ふたり親世帯	1,799 100.0	780 43.4	852 47.4	149 8.3	7 0.4	11 0.6
	共働き	1,366 100.0	599 43.9	637 46.6	116 8.5	6 0.4	8 0.6
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	181 41.8	215 49.7	33 7.6	1 0.2	3 0.7
生活困難度	生活困難層	462 100.0	169 36.6	224 48.5	66 14.3	1 0.2	2 0.4
	困窮層	182 100.0	61 33.5	92 50.5	29 15.9	-	-
	周辺層	280 100.0	108 38.6	132 47.1	37 13.2	1 0.4	2 0.7
	一般層	1,653 100.0	743 44.9	769 46.5	120 7.3	9 0.5	12 0.7

④ 将来が楽しみ

(上段:件 下段:%)

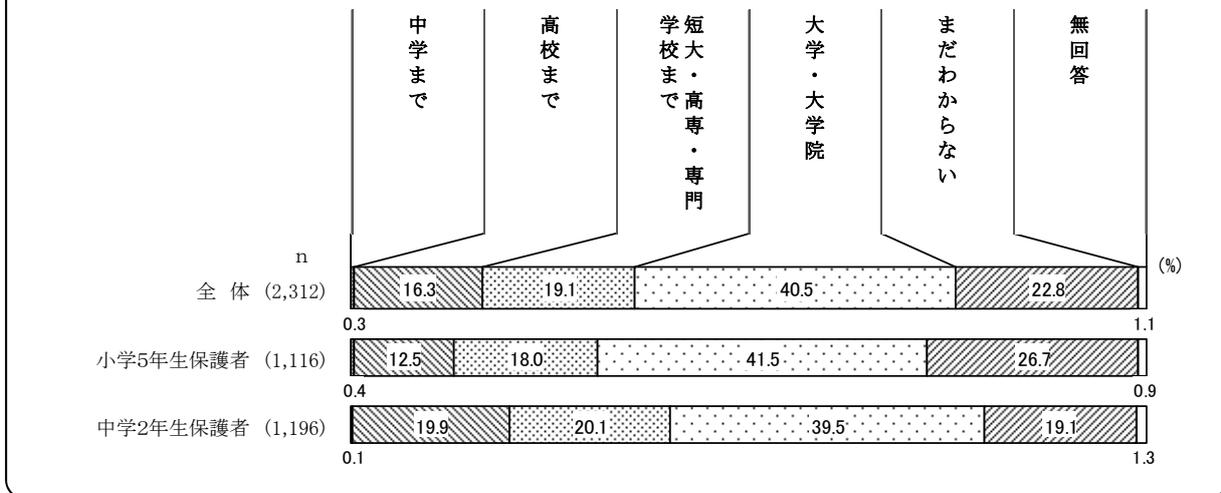
		調査数	とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	151 48.7	127 41.0	25 8.1	2 0.6	5 1.6
	祖父母等の同居なし	208 100.0	99 47.6	86 41.3	19 9.1	1 0.5	3 1.4
	祖父母等の同居あり	102 100.0	52 51.0	41 40.2	6 5.9	1 1.0	2 2.0
	ふたり親世帯	1,799 100.0	889 49.4	770 42.8	125 6.9	3 0.2	12 0.7
	共働き	1,366 100.0	685 50.1	572 41.9	98 7.2	2 0.1	9 0.7
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	204 47.1	198 45.7	27 6.2	1 0.2	3 0.7
生活困難度	生活困難層	462 100.0	200 43.3	198 42.9	58 12.6	3 0.6	3 0.6
	困窮層	182 100.0	73 40.1	83 45.6	23 12.6	1 0.5	2 1.1
	周辺層	280 100.0	127 45.4	115 41.1	35 12.5	2 0.7	1 0.4
	一般層	1,653 100.0	847 51.2	697 42.2	93 5.6	3 0.2	13 0.8

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）では『①何事にもがんばって取り組んでいる』で「とてもあてはまる」が他の世帯タイプに比べ少なくなっています。

生活困難度別にみると、困窮層・周辺層では「とてもあてはまる」がいずれの項目でも一般層に比べ少なくなっています。

(5) 子どもに受けさせたい教育の段階

問11 お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいと思いますか。(○は1つ)



子どもに受けさせたい教育の段階について、全体では「大学・大学院」が40.5%と最も多く、次いで「まだわからない」(22.8%)、「短大・高専・専門学校まで」(19.1%)となっています。

小学5年生保護者では「まだわからない」が26.7%と、中学2年生保護者(19.1%)と比べて多くなっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／子どもに受けさせたい教育の段階】

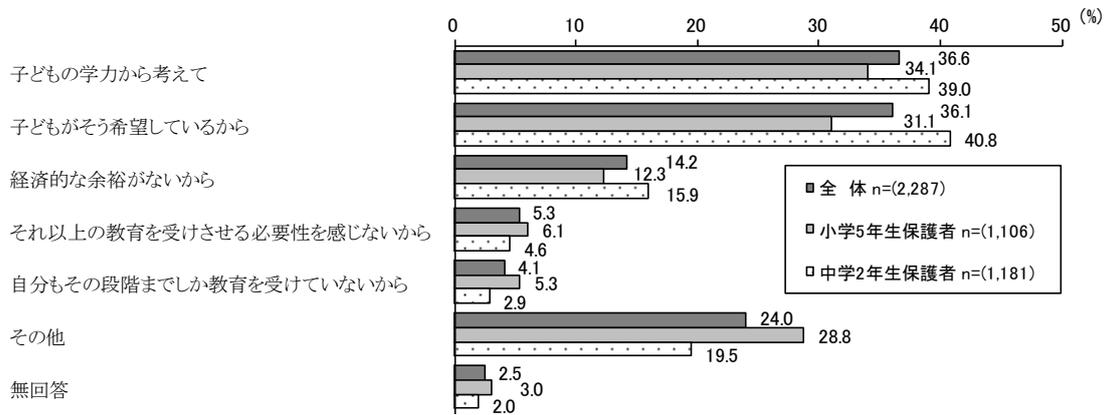
		調査数	(上段:件 下段:%)					
			小学まで	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学・大学院	まだわからない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	-	80	61	91	72	6
		100.0	-	25.8	19.7	29.4	23.2	1.9
	祖父母等の同居なし	208	-	50	42	60	53	3
		100.0	-	24.0	20.2	28.8	25.5	1.4
	祖父母等の同居あり	102	-	30	19	31	19	3
		100.0	-	29.4	18.6	30.4	18.6	2.9
ふたり親世帯	共働き	1,799	5	255	337	776	408	18
		100.0	0.3	14.2	18.7	43.1	22.7	1.0
	父親または母親のどちらかのみ就労	433	-	58	81	181	107	6
		100.0	-	13.4	18.7	41.8	24.7	1.4
生活困難度	生活困難層	462	2	163	82	103	107	5
		100.0	0.4	35.3	17.7	22.3	23.2	1.1
	困窮層	182	1	81	31	31	36	2
		100.0	0.5	44.5	17.0	17.0	19.8	1.1
	周辺層	280	1	82	51	72	71	3
	100.0	0.4	29.3	18.2	25.7	25.4	1.1	
一般層	1,653	4	177	317	762	376	17	
	100.0	0.2	10.7	19.2	46.1	22.7	1.0	

世帯タイプ別にみると、ふたり親世帯(共働き・どちらかのみ就労)では「大学・大学院」が4割以上と、ひとり親世帯(祖父母等の同居なし・あり)に比べ多くなっています。一方、ひとり親世帯(祖父母等の同居なし・あり)では「高校まで」が2~3割と、ふたり親世帯(共働き・どちらかのみ就労)に比べ多くなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「大学・大学院」が4割以上と、他の生活困難度に比べ多くなっており、特に困窮層と比較すると約29ポイント高くなっています。一方、「高校まで」が困窮層では約4割、周辺層では約3割と、一般層に比べ多くなっています。

(6) 受けさせたい教育の段階の理由

問12 問11の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



※問12は、問11の無回答者を除いて集計

受けさせたい教育の段階の理由について、全体では「子どもの学力から考えて」が36.6%と最も多く、次いで「子どもがそう希望しているから」(36.1%)、「経済的な余裕がないから」(14.2%)となっています。

中学2年生保護者では「子どもがそう希望しているから」が40.8%と、小学5年生保護者(31.1%)と比べて多くなっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別/受けさせたい教育の段階の理由】

		調査数	(上段:件 下段:%)						
			子どもの学力から考えて	子どもがそう希望している	経済的な余裕がないから	それ以上の教育を受けさせる必要性を感じないから	自分もその段階までしか教育を受けていないから	その他	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	304	101	89	83	13	16	70	7
		100.0	33.2	29.3	27.3	4.3	5.3	23.0	2.3
	祖父母等の同居なし	205	75	57	55	7	11	50	5
		100.0	36.6	27.8	26.8	3.4	5.4	24.4	2.4
	祖父母等の同居あり	99	26	32	28	6	5	20	2
		100.0	26.3	32.3	28.3	6.1	5.1	20.2	2.0
ふたり親世帯		1,781	669	662	214	101	72	434	45
		100.0	37.6	37.2	12.0	5.7	4.0	24.4	2.5
	共働き	1,354	498	513	168	83	55	327	37
	100.0	36.8	37.9	12.4	6.1	4.1	24.2	2.7	
父親または母親のどちらかのみ就労	427	171	149	46	18	17	107	8	
	100.0	40.0	34.9	10.8	4.2	4.0	25.1	1.9	
生活困難度	生活困難層	457	163	132	160	24	22	80	10
		100.0	35.7	28.9	35.0	5.3	4.8	17.5	2.2
	困窮層	180	61	47	87	12	11	29	3
		100.0	33.9	26.1	48.3	6.7	6.1	16.1	1.7
	周辺層	277	102	85	73	12	11	51	7
	100.0	36.8	30.7	26.4	4.3	4.0	18.4	2.5	
一般層	1,636	611	621	139	89	67	415	43	
	100.0	37.3	38.0	8.5	5.4	4.1	25.4	2.6	

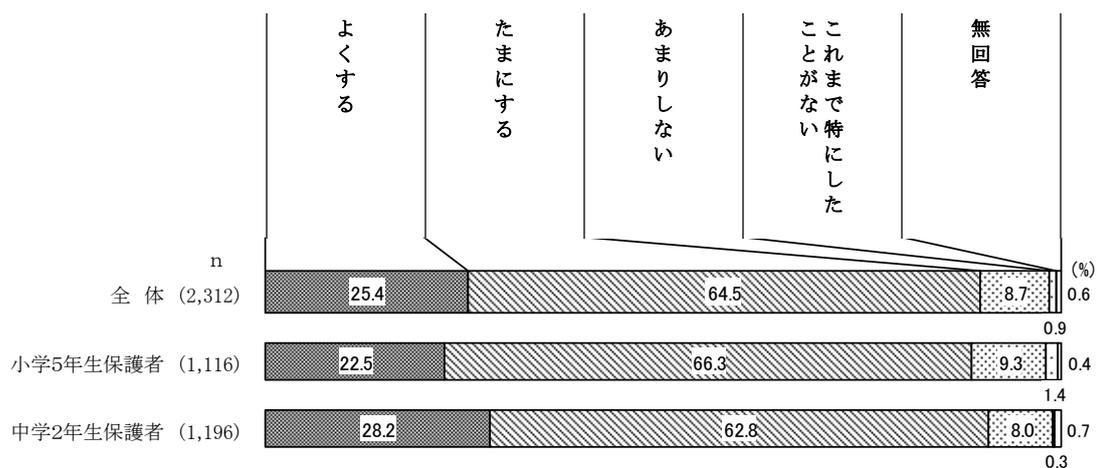
※問12は、問11の無回答者を除いて集計

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯(祖父母等の同居なし・あり)では「経済的な余裕がないから」が約3割と、ふたり親世帯(共働き・どちらかのみ就労)に比べ多くなっています。また、ひとり親世帯(祖父母等の同居あり)では「子どもの学力から考えて」が3割未満と、他の世帯タイプに比べ少なくなっています。

生活困難度別にみると、一般層では「子どもがそう希望しているから」が約4割と、他の生活困難度に比べ多くなっています。一方、困窮層では「経済的な余裕がないから」が5割弱、周辺層では2割半ばと、一般層に比べ多くなっており、特に困窮層では一般層と約40ポイントの差が生じています。

(7) 子どもの将来について話し合う頻度

問13 お子さんの将来について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。(○は1つ)

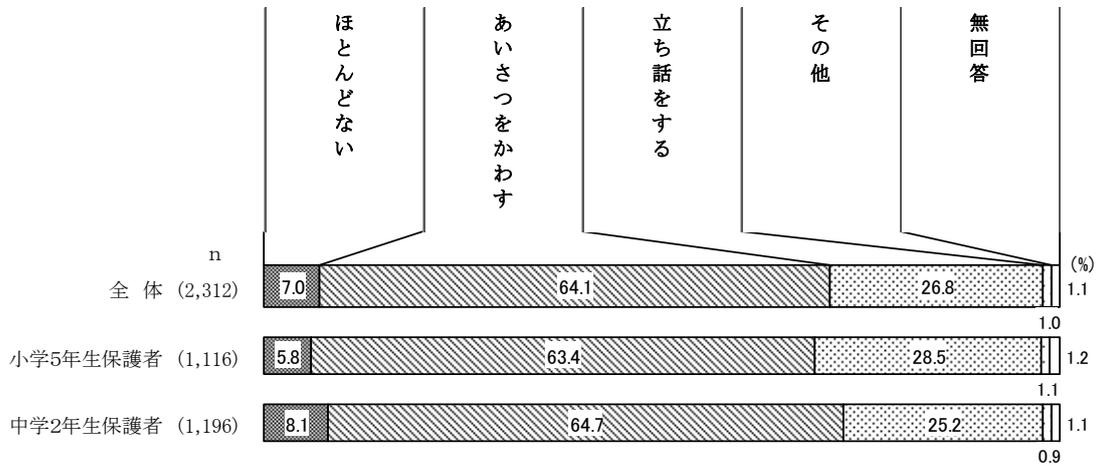


子どもの将来について話し合う頻度について、全体では「たまにする」が64.5%と最も多く、次いで「よくする」(25.4%)、「あまりしない」(8.7%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

4. 周囲の人との関わりについて

(1) 近所の方との交流の状況

問 14 普段、近所の方との交流はありますか。(○は1つ)

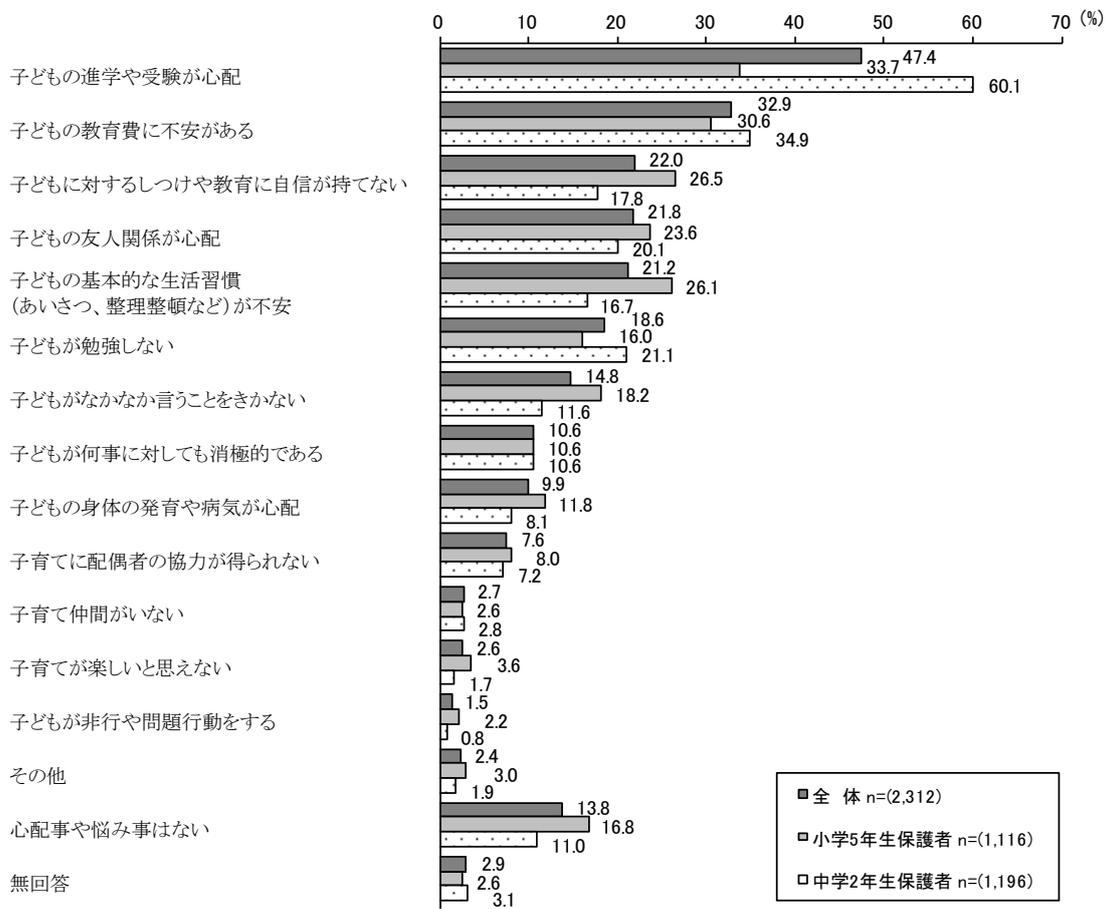


近所の方との交流の状況について、全体では「あいさつをかわす」が64.1%と最も多く、次いで「立ち話をする」(26.8%)、「ほとんどない」(7.0%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

(2) 子育ての心配事や悩み事

問 15 子育てに関して次のような心配事や悩み事がありますか。

(あてはまるものすべてに○)



子育ての心配事や悩み事について、全体では「子どもの進学や受験が心配」が47.4%と最も多く、次いで「子どもの教育費に不安がある」(32.9%)、「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」(22.0%)となっています。

小学5年生保護者では「子どもの進学や受験が心配」が33.7%であるのに対し、中学2年生保護者は60.1%と、約26ポイント高くなっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／子育ての心配事や悩み事】

		(上段:件 下段:%)																	
		調査数	子どもの進学や受験が心配	子どもの教育費に不安がある	子どもに対するしつけや教育に自信が持てない	子どもの友人関係が心配	子どもの基本的な生活習慣へいささつ整理整頓などが不安	子どもが勉強しない	子どもがなかなか言うことまかない	子どもが何事に対しても消極的である	子どもの身体の発育や病気が心配	子育てに配偶者の協力が得られない	子育て仲間がいない	子育てが楽しいと思えない	子どもが非行や問題行動をする	その他	心配事や悩み事はない	無回答	
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	157 50.6	142 45.8	67 21.6	75 24.2	69 22.3	70 22.6	45 14.5	36 11.6	42 13.5	25 8.1	18 5.8	7 2.3	8 2.6	8 2.6	32 10.3	12 3.9	
	祖父母等の同居なし	208 100.0	103 49.5	97 46.6	47 22.6	45 21.6	47 22.6	50 24.0	31 14.9	22 10.6	24 11.5	13 6.3	11 5.3	4 1.9	6 2.9	5 2.4	22 10.6	10 4.8	
	祖父母等の同居あり	102 100.0	54 52.9	45 44.1	20 19.6	30 29.4	22 21.6	20 19.6	14 13.7	14 13.7	18 17.6	12 11.8	7 6.9	3 2.9	2 2.0	3 2.9	10 9.8	2 2.0	
	ふたり親世帯	1,799 100.0	831 46.2	550 30.6	392 21.8	377 21.0	388 21.6	319 17.7	273 15.2	189 10.5	172 9.6	136 7.6	38 2.1	49 2.7	24 1.3	45 2.5	264 14.7	42 2.3	
	共働き	1,366 100.0	618 45.2	436 31.9	292 21.4	286 20.9	294 21.5	245 17.9	200 14.6	140 10.2	140 9.9	121 8.9	99 7.2	25 1.8	36 2.6	19 1.4	34 2.5	205 15.0	31 2.3
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	213 49.2	114 26.3	100 23.1	91 21.0	94 21.7	74 17.1	73 16.9	49 11.3	51 11.8	37 8.5	13 3.0	13 3.0	5 1.2	11 2.5	59 13.6	11 2.5	
生活困難度	生活困難層	462 100.0	252 54.5	255 55.2	137 29.7	111 24.0	98 21.2	129 27.9	99 21.4	67 14.5	66 14.3	61 13.2	28 6.1	20 4.3	11 2.4	11 2.4	30 6.5	5 1.1	
	困窮層	182 100.0	112 61.5	125 68.7	58 31.9	40 22.0	33 18.1	52 28.6	47 25.8	22 12.1	33 18.1	28 15.4	16 8.8	10 5.5	6 3.3	5 2.7	10 5.5	2 1.1	
	周辺層	280 100.0	140 50.0	130 46.4	79 28.2	71 25.4	65 23.2	77 27.5	52 18.6	45 16.1	33 11.8	33 11.8	12 4.3	10 3.6	5 1.8	6 2.1	20 7.1	3 1.1	
	一般層	1,653 100.0	733 44.3	439 26.6	325 19.7	346 20.9	361 21.8	267 16.2	221 13.4	161 9.7	151 9.1	98 5.9	28 1.7	36 2.2	21 1.3	39 2.4	271 16.4	50 3.0	

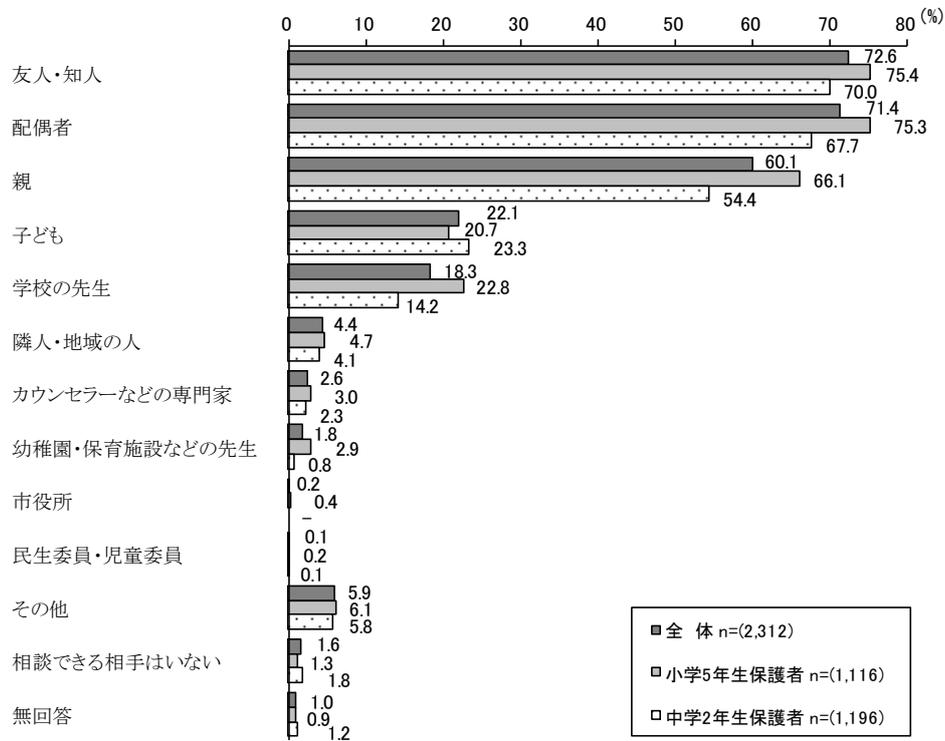
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）では「子どもの教育費に不安がある」が4割以上と、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ多くなっています。

困窮層・周辺層では「子どもの進学や受験が心配」、「子どもの教育費に不安がある」、「子どもに対するしつけや教育に自信が持てない」、「子どもが勉強しない」など、多くの項目で一般層に比べ多くなっており、特に困窮層では「子どもの教育費に不安がある」が一般層と比較すると約42ポイント高くなっています。

(3) 相談相手

問 16 あなたは困った時や悩みがあるとき、誰に相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

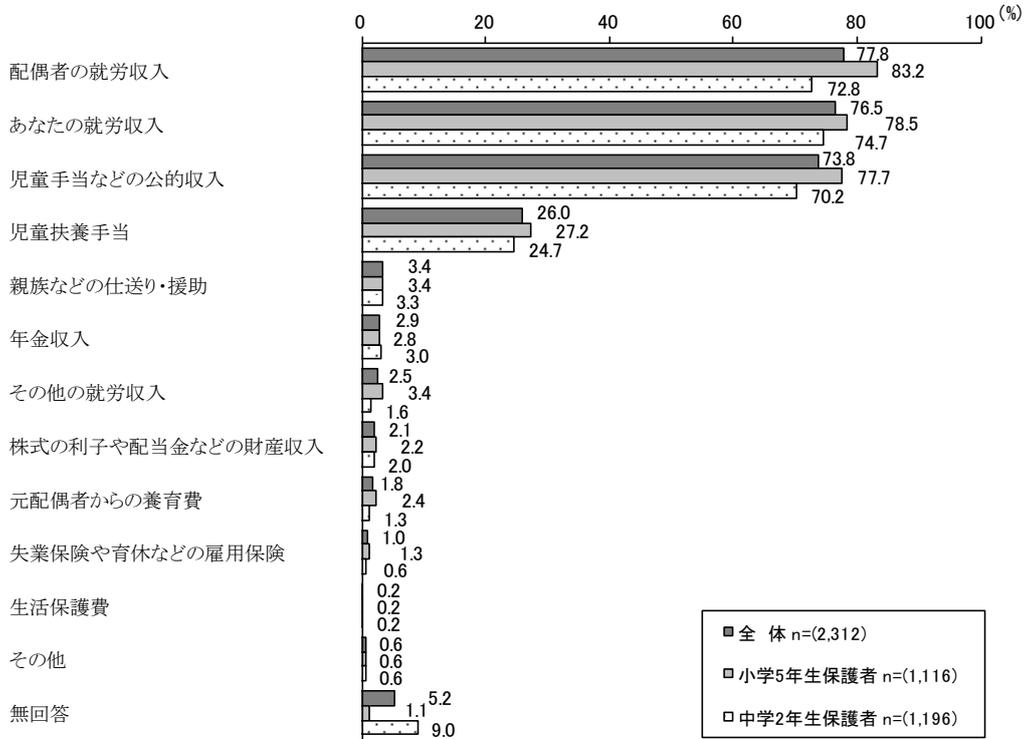


相談相手について、全体では「友人・知人」が72.6%と最も多く、次いで「配偶者」(71.4%)、「親」(60.1%)と身近な親族や友人が相談相手である場合が多くなっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

5. 家計の状況について

(1) 昨年1年間にあった収入

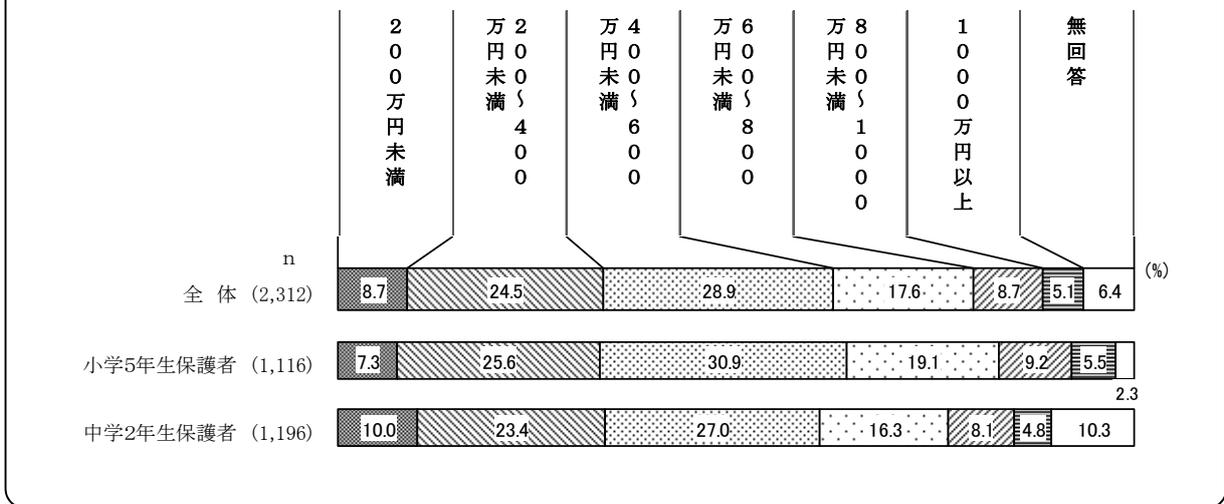
問17 あなたの世帯で、昨年1年間（平成30年1～12月）に次の収入がありましたか。
（あてはまるものすべてに○）



昨年1年間にあった収入について、全体では「配偶者の就労収入」が77.8%と最も多く、次いで「あなたの就労収入」（76.5%）、「児童手当などの公的収入」（73.8%）となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

(2) 1年間の収入の合計金額

問 18 問 17 の合計金額は、おおよそいくらになりますか。(○は1つ)



1年間の収入の合計金額について、全体では「400～600万円未満」が28.9%と最も多く、次いで「200～400万円未満」(24.5%)、「600～800万円未満」(17.6%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

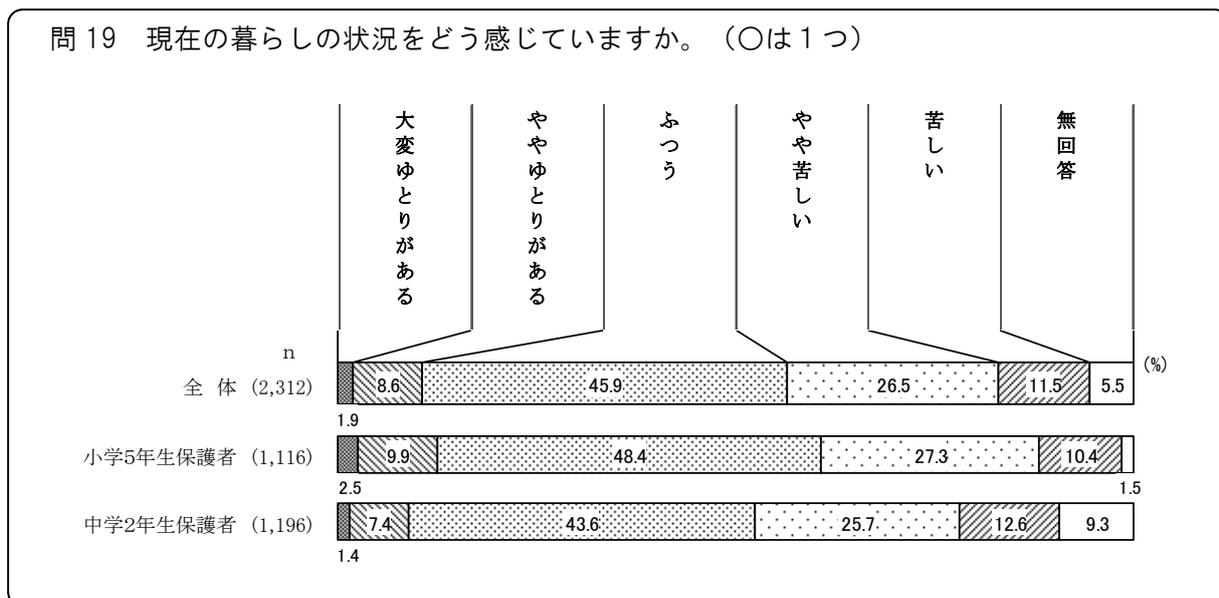
【世帯タイプ別・生活困難度別／1年間の収入の合計金額】

		調査数	200万円未満	200万円～400万円未満	400万円～600万円未満	600万円～800万円未満	800万円～1000万円未満	1000万円以上	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	129	113	37	10	4	-	17
		100.0	41.6	36.5	11.9	3.2	1.3	-	5.5
	祖父母等の同居なし	208	91	73	23	4	3	-	14
		100.0	43.8	35.1	11.1	1.9	1.4	-	6.7
	祖父母等の同居あり	102	38	40	14	6	1	-	3
		100.0	37.3	39.2	13.7	5.9	1.0	-	2.9
ふたり親世帯	共働き	1,799	54	398	591	370	183	113	90
		100.0	3.0	22.1	32.9	20.6	10.2	6.3	5.0
	父職または母職のどちらかのみ就労	433	23	103	135	96	37	20	19
		100.0	5.3	23.8	31.2	22.2	8.5	4.6	4.4
生活困難度	生活困難層	462	192	145	82	20	5	2	16
		100.0	41.6	31.4	17.7	4.3	1.1	0.4	3.5
	困窮層	182	102	51	22	4	-	-	3
		100.0	56.0	28.0	12.1	2.2	-	-	1.6
	周辺層	280	90	94	60	16	5	2	13
	100.0	32.1	33.6	21.4	5.7	1.8	0.7	4.6	
一般層	1,653	-	401	566	381	191	114	-	
	100.0	-	24.3	34.2	23.0	11.6	6.9	-	

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯(祖父母等の同居なし・あり)では「200万円未満」が約4割と、ふたり親世帯(共働き・どちらかのみ就労)に比べ多くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「200万円未満」が約6割、周辺層では約3割となっています。

(3) 暮らしの状況



暮らしの状況について、全体では「ふつう」が45.9%と最も多くなっています。「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた《ゆとりがある》が10.5%であるのに対し、「苦しい」と「やや苦しい」を合わせた《苦しい》は38.0%と約4割を占め、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／暮らしの状況】

		調査数	大変ゆとりがある	ややゆとりがある	ふつう	やや苦しい	苦しい	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	4	13	104	91	86	12
	祖父母等の同居なし	208	2	8	69	57	61	11
	祖父母等の同居あり	102	2	5	35	34	25	1
	ふたり親世帯	1,799	40	174	872	474	161	78
	共働き	1,366	28	131	649	370	122	66
	父親または母親のどちらかのみ就労	433	12	43	223	104	39	12
生活困難度	生活困難層	462	1	5	80	189	175	12
	困窮層	182	-	-	12	51	117	2
	周辺層	280	1	5	68	138	58	10
	一般層	1,653	44	190	927	404	80	8
		100.0	2.7	11.5	56.1	24.4	4.8	0.5

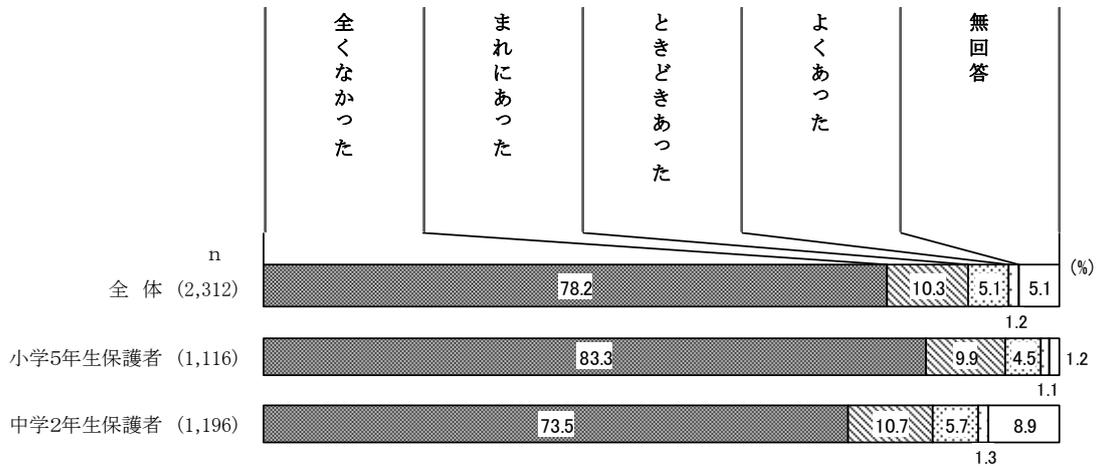
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）では《苦しい》が6割弱と、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ多くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層・周辺層では《苦しい》が7～9割と、一般層に比べ多くなっています。特に困窮層では「苦しい」が約6割を占め、一般層と比較すると約60ポイント高くなっています。

(4) 過去1年間に経済的理由で食料を買えなかったこと

問 20 過去1年間に、経済的理由で家族が必要とする食料を買えなかったことはありますか。

(○は1つ)



過去1年間に経済的理由で食料を買えなかったことについて、全体では「全くなかった」が78.2%と約8割であるのに対し、「まれにあった」、「ときどきあった」、「よくあった」を合わせた《あった》が16.6%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／過去1年間に経済的理由で食料を買えなかったこと】

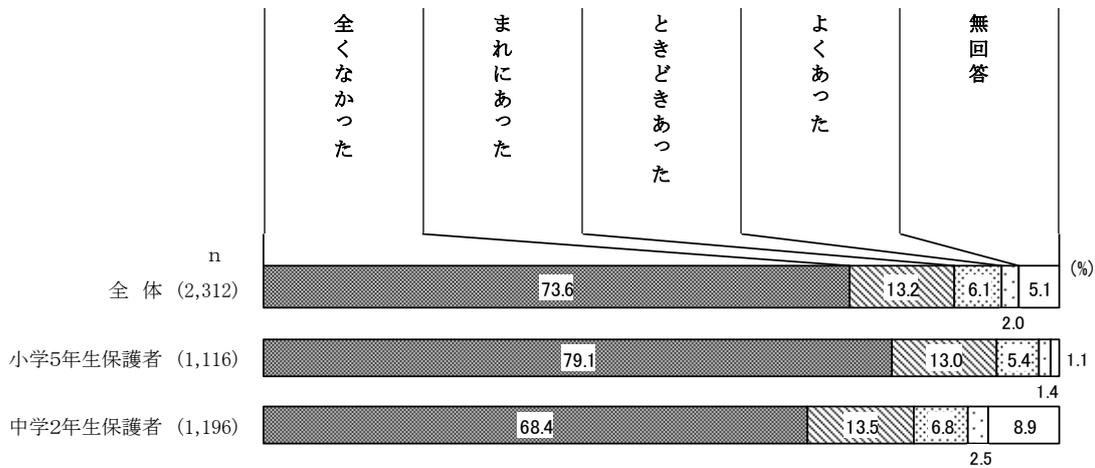
		調査数	全くなかった	まれにあった	ときどきあった	よくあった	無回答
		(上段:件 下段:%)					
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	205	51	34	10	10
		100.0	66.1	16.5	11.0	3.2	3.2
	祖父母等の同居なし	208	131	30	30	7	10
		100.0	63.0	14.4	14.4	3.4	4.8
	祖父母等の同居あり	102	74	21	4	3	-
		100.0	72.5	20.6	3.9	2.9	-
ふたり親世帯	ふたり親世帯	1,799	1,474	165	73	14	73
		100.0	81.9	9.2	4.1	0.8	4.1
	共働き	1,366	1,102	135	59	10	60
		100.0	80.7	9.9	4.3	0.7	4.4
生活困難度	父親または母親のどちらかのみ就労	433	372	30	14	4	13
		100.0	85.9	6.9	3.2	0.9	3.0
	生活困難層	462	198	115	113	26	10
		100.0	42.9	24.9	24.5	5.6	2.2
	困窮層	182	33	69	61	19	-
	100.0	18.1	37.9	33.5	10.4	-	
周辺層	280	165	46	52	7	10	
	100.0	58.9	16.4	18.6	2.5	3.6	
一般層	1,653	1,537	112	-	-	4	
	100.0	93.0	6.8	-	-	0.2	

世帯タイプ別にみると、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）では「全くなかった」が約8割と、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）に比べ多くなっています。一方、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）では《あった》が約3割と、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ多くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では《あった》が約8割、周辺層では約4割を占めています。

(5) 過去1年間に経済的理由で衣類を買えなかったこと

問 21 過去1年間に、経済的理由で家族が必要とする衣類を買えなかったことはありますか。(○は1つ)



過去1年間に経済的理由で衣類を買えなかったことについて、全体では「全くなかった」が73.6%と約7割であるのに対し、「まれにあった」と「ときどきあった」、「よくあった」を合わせた《あった》が21.3%となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／過去1年間に経済的理由で衣類を買えなかったこと】

		調査数	全くなかった	まれにあった	ときどきあった	よくあった	無回答	
			(上段:件)	(下段:%)				
世帯タイプ	ひとり親世帯		310	189	60	36	15	10
			100.0	61.0	19.4	11.6	4.8	3.2
		祖父母等の同居なし	208	122	40	25	11	10
		100.0	58.7	19.2	12.0	5.3	4.8	
	祖父母等の同居あり	102	67	20	11	4	-	
		100.0	65.7	19.6	10.8	3.9	-	
ふたり親世帯		1,799	1,393	215	93	27	71	
		100.0	77.4	12.0	5.2	1.5	3.9	
	共働き	1,366	1,038	172	75	22	59	
	100.0	76.0	12.6	5.5	1.6	4.3		
父親または母親のどちらかのみ就労	433	355	43	18	5	12		
	100.0	82.0	9.9	4.2	1.2	2.8		
生活困難度	生活困難層	462	157	114	135	44	12	
		100.0	34.0	24.7	29.2	9.5	2.6	
	困窮層	182	16	53	78	33	2	
		100.0	8.8	29.1	42.9	18.1	1.1	
	周辺層	280	141	61	57	11	10	
	100.0	50.4	21.8	20.4	3.9	3.6		
一般層	1,653	1,475	176	-	-	2		
	100.0	89.2	10.6	-	-	0.1		

世帯タイプ別にみると、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）では「全くなかった」が約8割と、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）に比べ多くなっています。一方、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）では《あった》が約3割と、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ多くなっています。

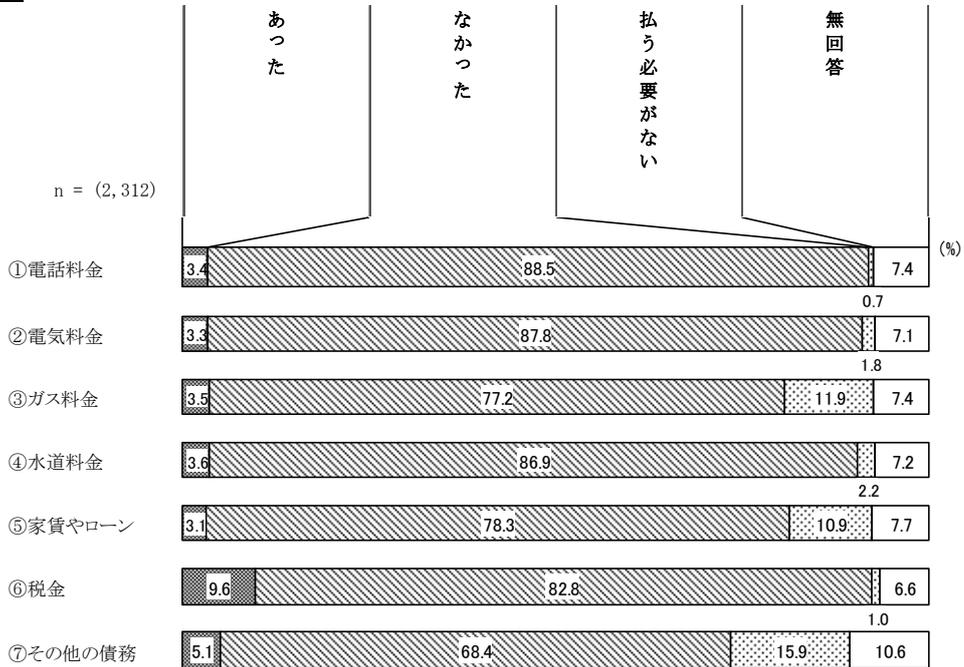
生活困難度別にみると、困窮層では《あった》が約9割、周辺層では約5割を占めています。

(6) 過去1年間に料金が支払えなかったこと

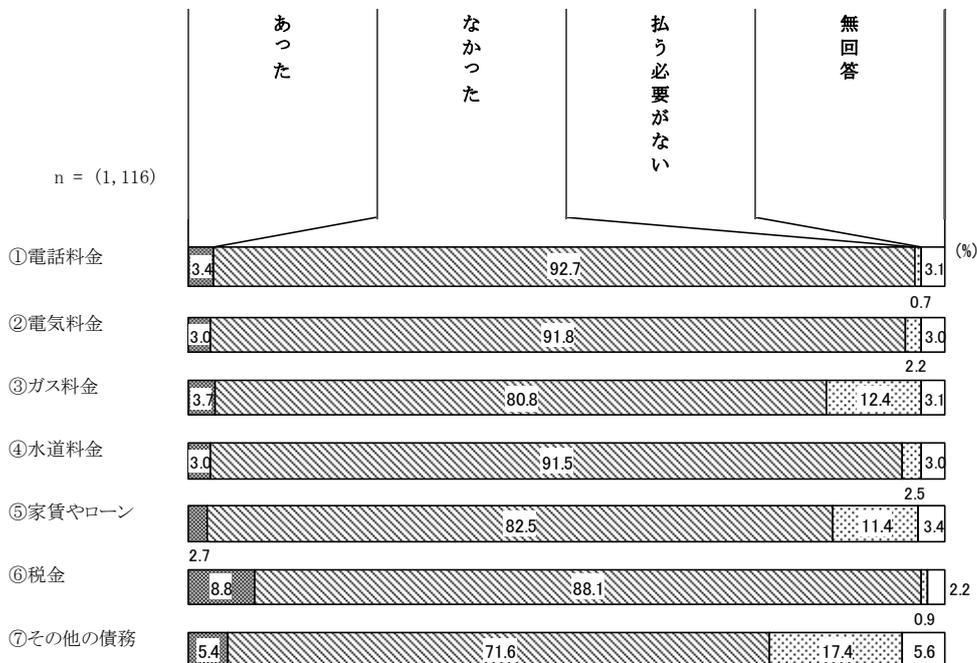
問 22 過去1年間に、次の料金が支払えなかったことがありますか。

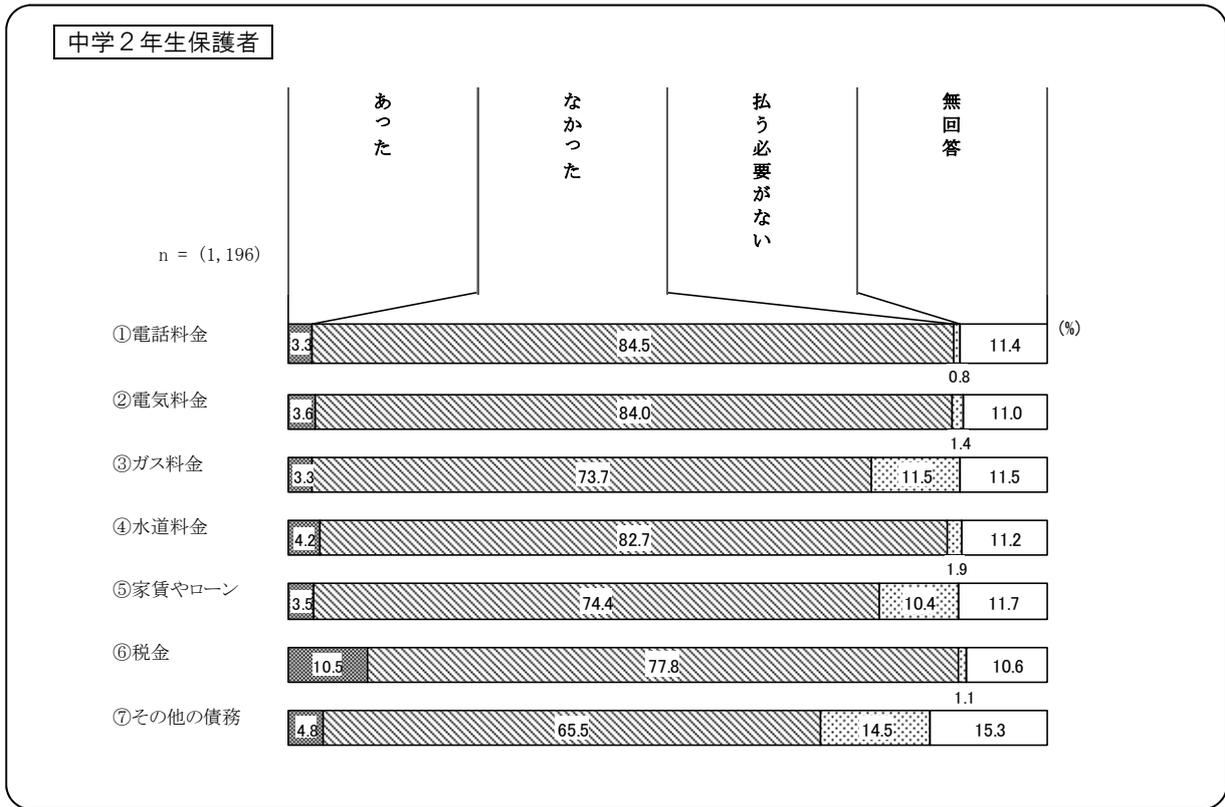
(それぞれあてはまる番号1つに○)

全体



小学5年生保護者





過去1年間に料金が支払えなかったことについて、全体ではいずれの項目も「なかった」が最も多く、特に『①電話料金』（88.5%）、『②電気料金』（87.8%）、『④水道料金』（86.9%）、『⑥税金』（82.8%）では8割以上を占めています。一方、「あった」では『⑥税金』が9.6%と他の項目に比べ多く、約1割程度となっています。

小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／過去1年間に料金が支払えなかったこと】

① 電話料金

		調査数	あった	なかった	払う必要がない	無回答
			(上段:件)	(下段:%)		
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	29	254	3	24
		100.0	9.4	81.9	1.0	7.7
	祖父母等の同居なし	208	22	166	1	19
		100.0	10.6	79.8	0.5	9.1
	祖父母等の同居あり	102	7	88	2	5
		100.0	6.9	86.3	2.0	4.9
世帯タイプ	ふたり親世帯	1,799	41	1,646	11	101
		100.0	2.3	91.5	0.6	5.6
	共働き	1,366	32	1,244	6	84
		100.0	2.3	91.1	0.4	6.1
世帯タイプ	父親または母親のどちらかのみ就労	433	9	402	5	17
		100.0	2.1	92.8	1.2	3.9
生活困難度	生活困難層	462	74	339	8	41
		100.0	16.0	73.4	1.7	8.9
	困窮層	182	51	111	5	15
		100.0	28.0	61.0	2.7	8.2
	周辺層	280	23	228	3	26
	100.0	8.2	81.4	1.1	9.3	
生活困難度	一般層	1,653	-	1,619	8	26
		100.0	-	97.9	0.5	1.6

② 電気料金

(上段:件 下段:%)

		調査数	あった	なかった	払う必要がない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	28 9.0	250 80.6	11 3.5	21 6.8
	祖父母等の同居なし	208 100.0	22 10.6	169 81.3	2 1.0	15 7.2
	祖父母等の同居あり	102 100.0	6 5.9	81 79.4	9 8.8	6 5.9
	ふたり親世帯	1,799 100.0	42 2.3	1,632 90.7	28 1.6	97 5.4
	共働き	1,366 100.0	33 2.4	1,233 90.3	19 1.4	81 5.9
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	9 2.1	399 92.1	9 2.1	16 3.7
生活困難度	生活困難層	462 100.0	73 15.8	341 73.8	13 2.8	35 7.6
	困窮層	182 100.0	49 26.9	116 63.7	6 3.3	11 6.0
	周辺層	280 100.0	24 8.6	225 80.4	7 2.5	24 8.6
	一般層	1,653 100.0	-	1,601 96.9	27 1.6	25 1.5

③ ガス料金

(上段:件 下段:%)

		調査数	あった	なかった	払う必要がない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	26 8.4	230 74.2	28 9.0	26 8.4
	祖父母等の同居なし	208 100.0	19 9.1	155 74.5	14 6.7	20 9.6
	祖父母等の同居あり	102 100.0	7 6.9	75 73.5	14 13.7	6 5.9
	ふたり親世帯	1,799 100.0	47 2.6	1,414 78.6	236 13.1	102 5.7
	共働き	1,366 100.0	36 2.6	1,065 78.0	181 13.3	84 6.1
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	11 2.5	349 80.6	55 12.7	18 4.2
生活困難度	生活困難層	462 100.0	77 16.7	305 66.0	41 8.9	39 8.4
	困窮層	182 100.0	52 28.6	98 53.8	15 8.2	17 9.3
	周辺層	280 100.0	25 8.9	207 73.9	26 9.3	22 7.9
	一般層	1,653 100.0	-	1,399 84.6	225 13.6	29 1.8

第2章 小学5年生・中学2年生保護者調査結果

④ 水道料金

(上段:件 下段:%)

		調査数	あった	なかった	払う必要がない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	25 8.1	243 78.4	16 5.2	26 8.4
	祖父母等の同居なし	208 100.0	19 9.1	163 78.4	6 2.9	20 9.6
	祖父母等の同居あり	102 100.0	6 5.9	80 78.4	10 9.8	6 5.9
	ふたり親世帯	1,799 100.0	51 2.8	1,621 90.1	31 1.7	96 5.3
	共働き	1,366 100.0	44 3.2	1,221 89.4	22 1.6	79 5.8
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	7 1.6	400 92.4	9 2.1	17 3.9
生活困難度	生活困難層	462 100.0	80 17.3	329 71.2	15 3.2	38 8.2
	困窮層	182 100.0	50 27.5	109 59.9	7 3.8	16 8.8
	周辺層	280 100.0	30 10.7	220 78.6	8 2.9	22 7.9
	一般層	1,653 100.0	-	1,594 96.4	34 2.1	25 1.5

⑤ 家賃やローン

(上段:件 下段:%)

		調査数	あった	なかった	払う必要がない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	23 7.4	225 72.6	34 11.0	28 9.0
	祖父母等の同居なし	208 100.0	19 9.1	155 74.5	12 5.8	22 10.6
	祖父母等の同居あり	102 100.0	4 3.9	70 68.6	22 21.6	6 5.9
	ふたり親世帯	1,799 100.0	41 2.3	1,458 81.0	198 11.0	102 5.7
	共働き	1,366 100.0	35 2.6	1,110 81.3	137 10.0	84 6.1
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	6 1.4	348 80.4	61 14.1	18 4.2
生活困難度	生活困難層	462 100.0	69 14.9	306 66.2	43 9.3	44 9.5
	困窮層	182 100.0	46 25.3	103 56.6	16 8.8	17 9.3
	周辺層	280 100.0	23 8.2	203 72.5	27 9.6	27 9.6
	一般層	1,653 100.0	-	1,423 86.1	200 12.1	30 1.8

⑥ 税金

(上段:件 下段:%)

		調査数	あった	なかった	払う必要がない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	66 21.3	212 68.4	11 3.5	21 6.8
	祖父母等の同居なし	208 100.0	46 22.1	136 65.4	10 4.8	16 7.7
	祖父母等の同居あり	102 100.0	20 19.6	76 74.5	1 1.0	5 4.9
	ふたり親世帯	1,799 100.0	141 7.8	1,564 86.9	9 0.5	85 4.7
	共働き	1,366 100.0	113 8.3	1,178 86.2	3 0.2	72 5.3
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	28 6.5	386 89.1	6 1.4	13 3.0
生活困難度	生活困難層	462 100.0	154 33.3	263 56.9	17 3.7	28 6.1
	困窮層	182 100.0	96 52.7	68 37.4	6 3.3	12 6.6
	周辺層	280 100.0	58 20.7	195 69.6	11 3.9	16 5.7
	一般層	1,653 100.0	60 3.6	1,568 94.9	5 0.3	20 1.2

⑦ その他の債務

(上段:件 下段:%)

		調査数	あった	なかった	払う必要がない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	28 9.0	187 60.3	50 16.1	45 14.5
	祖父母等の同居なし	208 100.0	18 8.7	120 57.7	38 18.3	32 15.4
	祖父母等の同居あり	102 100.0	10 9.8	67 65.7	12 11.8	13 12.7
	ふたり親世帯	1,799 100.0	74 4.1	1,280 71.2	298 16.6	147 8.2
	共働き	1,366 100.0	63 4.6	978 71.6	207 15.2	118 8.6
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	11 2.5	302 69.7	91 21.0	29 6.7
生活困難度	生活困難層	462 100.0	85 18.4	235 50.9	75 16.2	67 14.5
	困窮層	182 100.0	59 32.4	63 34.6	26 14.3	34 18.7
	周辺層	280 100.0	26 9.3	172 61.4	49 17.5	33 11.8
	一般層	1,653 100.0	23 1.4	1,276 77.2	285 17.2	69 4.2

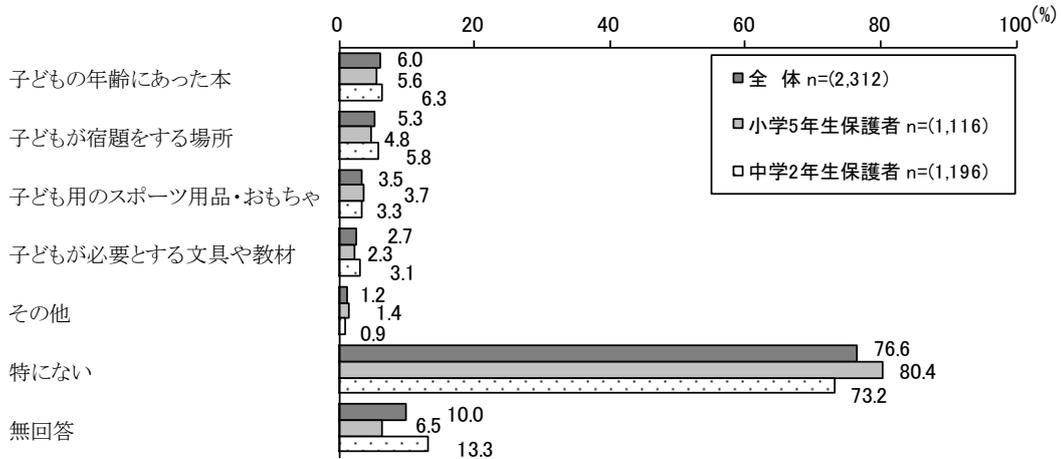
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）では『①電話料金』、『②電気料金』、『③ガス料金』、『④水道料金』、『⑤家賃やローン』、『⑦その他の債務』で「あった」が1割前後、『⑥税金』では約2割と、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べやや多くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では『①電話料金』、『②電気料金』、『③ガス料金』、『④水道料金』、『⑤家賃やローン』、『⑦その他の債務』で「あった」が3割前後、『⑥税金』では約5割を占めています。

(7) 経済的理由でないもの

問 23 次のうち、経済的理由でああなたの世帯にないものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)



経済的理由でないものについて、全体では「特にない」が76.6%と最も多く、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／経済的理由でないもの】

		調査数	(上段:件 下段:%)						
			子どもの年齢にあった本	子どもが宿題をする場所	子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	子どもが必要とする文具や教材	その他	特にない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	40	36	28	22	9	201	20
		100.0	12.9	11.6	9.0	7.1	2.9	64.8	6.5
	祖父母等の同居なし	208	29	27	16	11	7	126	19
		100.0	13.9	13.0	7.7	5.3	3.4	60.6	9.1
	祖父母等の同居あり	102	11	9	12	11	2	75	1
		100.0	10.8	8.8	11.8	10.8	2.0	73.5	1.0
ふたり親世帯	ふたり親世帯	1,799	81	74	42	33	16	1,451	162
		100.0	4.5	4.1	2.3	1.8	0.9	80.7	9.0
	共働き	1,366	67	60	32	30	14	1,087	127
		100.0	4.9	4.4	2.3	2.2	1.0	79.6	9.3
父親または母親のどちらかのみ就労	父親または母親のどちらかのみ就労	433	14	14	10	3	2	364	35
		100.0	3.2	3.2	2.3	0.7	0.5	84.1	8.1
生活困難度	生活困難層	462	99	78	63	53	16	232	27
		100.0	21.4	16.9	13.6	11.5	3.5	50.2	5.8
	困窮層	182	63	50	52	38	9	45	7
		100.0	34.6	27.5	28.6	20.9	4.9	24.7	3.8
	周辺層	280	36	28	11	15	7	187	20
	100.0	12.9	10.0	3.9	5.4	2.5	66.8	7.1	
一般層	1,653	31	37	11	7	10	1,474	91	
	100.0	1.9	2.2	0.7	0.4	0.6	89.2	5.5	

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）では「子どもの年齢にあった本」、「子どもが宿題をする場所」、「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」、「子どもが必要とする文具や教材」のいずれも、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ多くなっています。

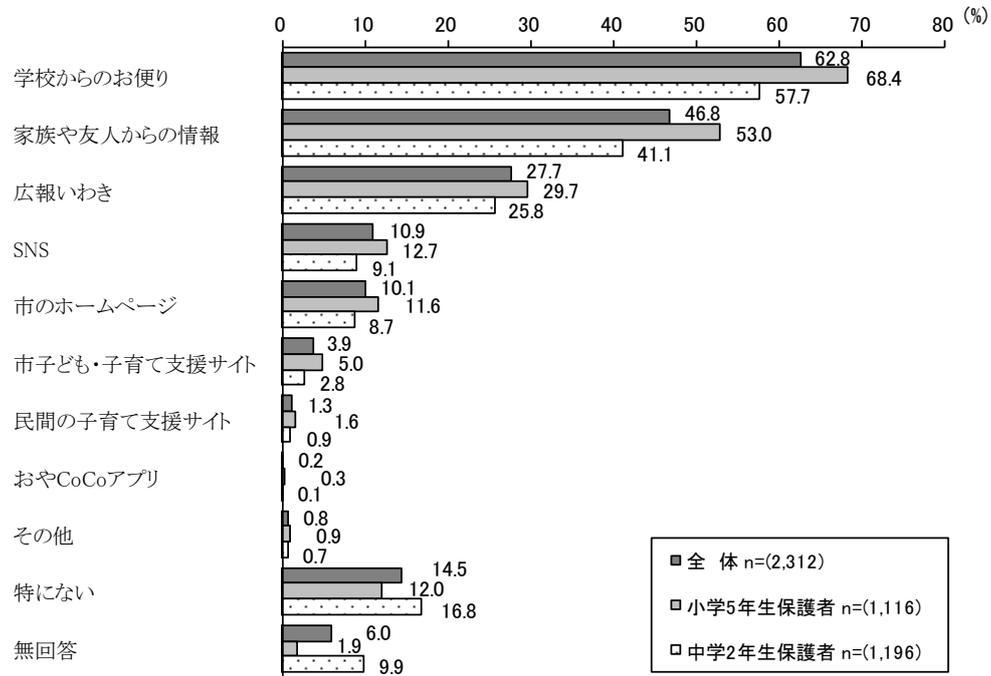
生活困難度別にみると、困窮層では「子どもの年齢にあった本」、「子どもが宿題をする場所」、「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」、「子どもが必要とする文具や教材」のいずれも2～3割と、他の生活困難度にならべて多くなっています。

6. 子育て支援について

(1) 子育てに関する施策等の情報の入手先

問 24 子育てに関する施策等の情報をどのように入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)



子育てに関する施設等の情報の入手先について、全体では「学校からのお便り」が62.8%と最も多く、次いで「家族や友人からの情報」(46.8%)、「広報いわき」(27.7%)となっており、小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／子育てに関する施設等の情報の入手先】

(上段:件 下段:%)

		調査数	学校からの お便り	家族や友人からの 情報	広報いわき	S N S	市のホーム ページ	市 子 ど も ・ 子 育 て 支 援 サ イ ト	民 間 の 子 育 て 支 援 サ イ ト	お や C o o P r i	そ の 他	特 に な い	無 回 答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	164 52.9	141 45.5	50 16.1	28 9.0	32 10.3	10 3.2	6 1.9	-	2 0.6	71 22.9	13 4.2
	祖父母等の同居なし	208 100.0	104 50.0	92 44.2	32 15.4	15 7.2	18 8.7	8 3.8	5 2.4	-	1 0.5	49 23.6	12 5.8
	祖父母等の同居あり	102 100.0	60 58.8	49 48.0	18 17.6	13 12.7	14 13.7	2 2.0	1 1.0	-	1 1.0	22 21.6	1 1.0
	ふたり親世帯	1,799 100.0	1,180 65.6	861 47.9	547 30.4	209 11.6	190 10.6	75 4.2	22 1.2	4 0.2	15 0.8	241 13.4	85 4.7
	共働き	1,366 100.0	900 65.9	668 48.9	404 29.6	166 12.2	142 10.4	61 4.5	15 1.1	4 0.3	9 0.7	174 12.7	67 4.9
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	280 64.7	193 44.6	143 33.0	43 9.9	48 11.1	14 3.2	7 1.6	-	6 1.4	67 15.5	18 4.2
生活困難度	生活困難層	462 100.0	261 56.5	211 45.7	102 22.1	49 10.6	47 10.2	20 4.3	6 1.3	-	7 1.5	97 21.0	14 3.0
	困窮層	182 100.0	102 56.0	76 41.8	28 15.4	21 11.5	22 12.1	8 4.4	2 1.1	-	2 1.1	42 23.1	2 1.1
	周辺層	280 100.0	159 56.8	135 48.2	74 26.4	28 10.0	25 8.9	12 4.3	4 1.4	-	5 1.8	55 19.6	12 4.3
	一般層	1,653 100.0	1,141 69.0	828 50.1	519 31.4	193 11.7	179 10.8	67 4.1	21 1.3	4 0.2	11 0.7	218 13.2	18 1.1

世帯タイプ別にみると、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）では「学校からのお便り」が6割以上、「広報いわき」が約3割と、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）に比べ多くなっています。一方、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）では「特にない」が約2割と、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ多くなっています。

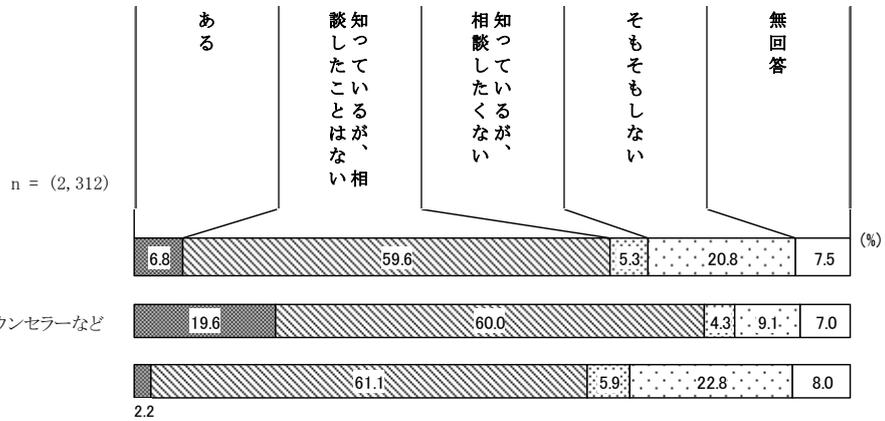
生活困難度別にみると、一般層では「学校からのお便り」が約7割と、他の生活困難度に比べ多くなっています。一方、困窮層では「家族や友人からの情報」が約4割、「広報いわき」が2割弱と、他の生活困難度に比べ少なくなっています。また、困窮層では「特にない」が2割以上と、他の生活困難度に比べ多くなっています。

(2) 公的機関に相談したこと

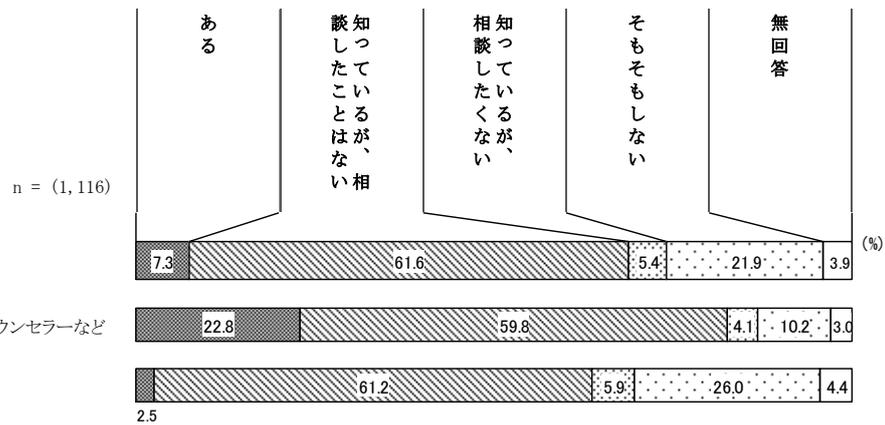
問 25 これまで困った時に次の公的機関に相談したことがありますか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

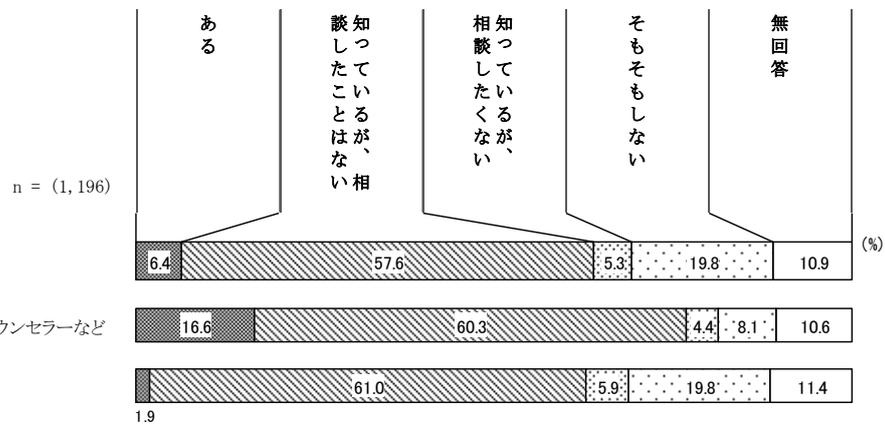
全体



小学5年生保護者



中学2年生保護者



公的機関に相談したことについて、全体ではいずれの項目も「知っているが、相談したことはない」が最も多く、約6割を占めています。一方、「そもそもしない」では『①市役所の窓口』（20.8%）、『③民生委員・児童委員』（22.8%）の項目で多く、約2割を占めています。

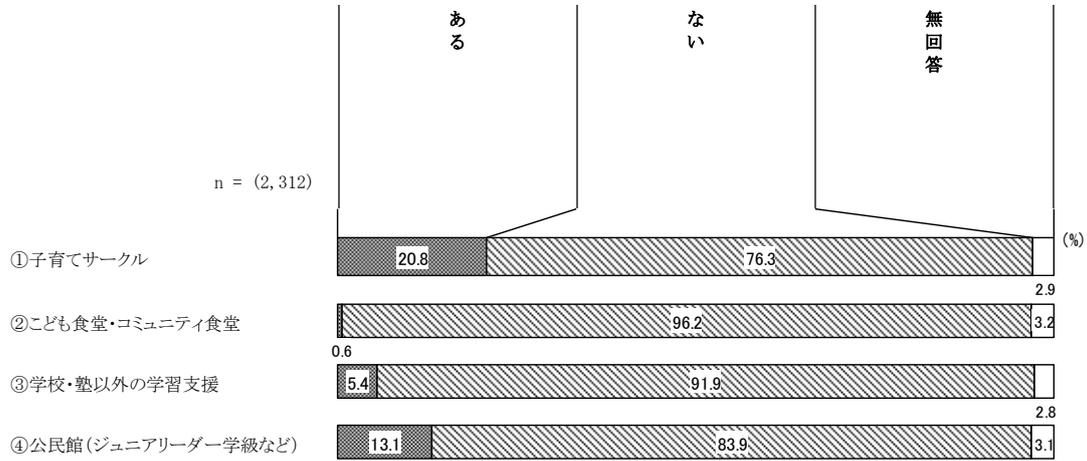
小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

(3) 次のような場所の利用状況、利用希望

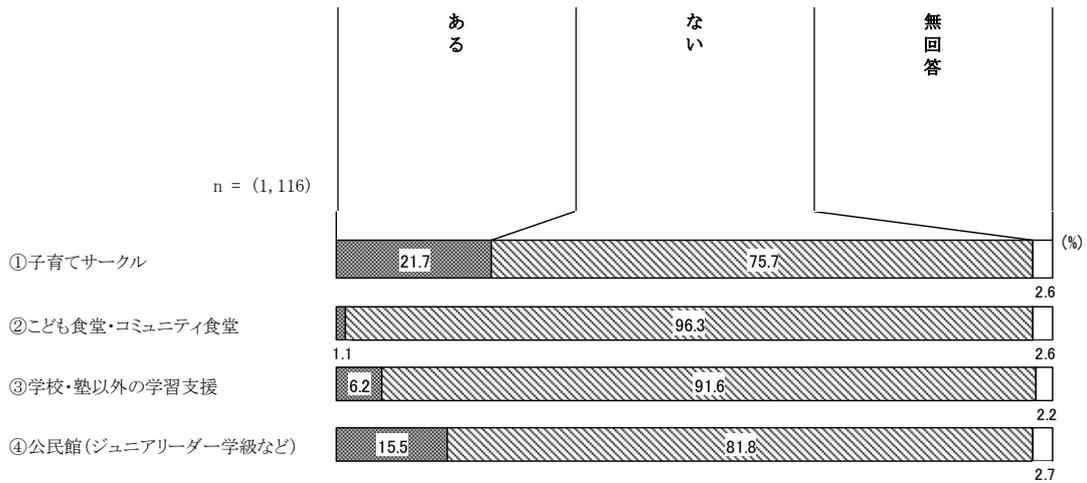
問 26 次のことについて、これまでに利用したことはありますか。また、利用したことがない場合は、利用してみたいですか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

【次のような場所の利用状況】

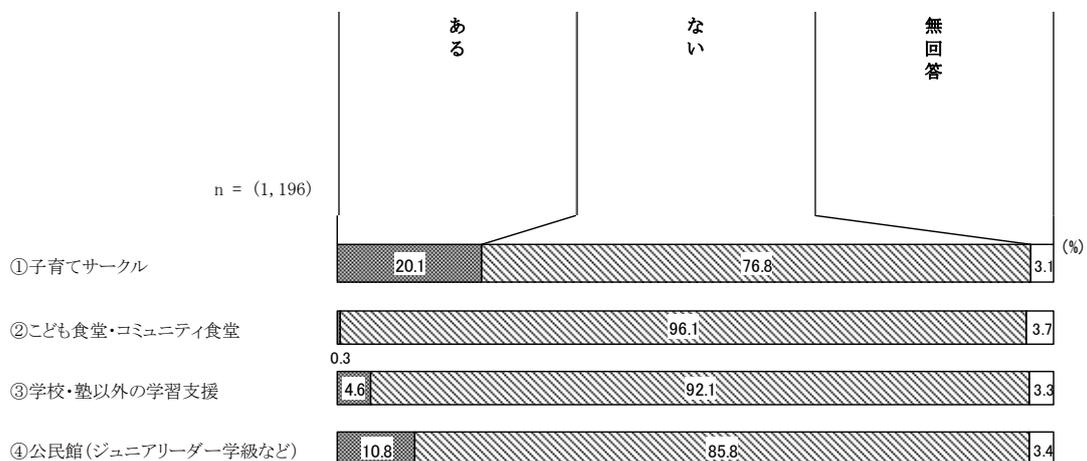
全体



小学5年生保護者

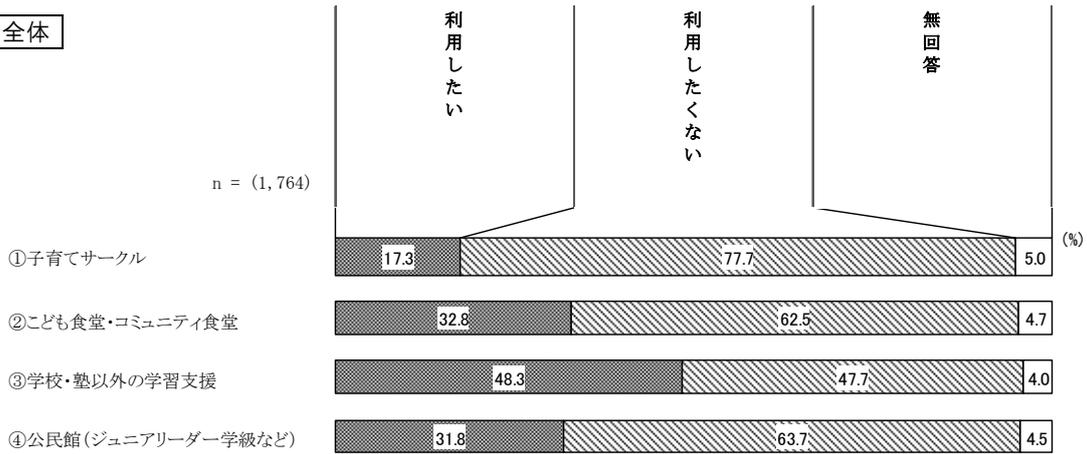


中学2年生保護者

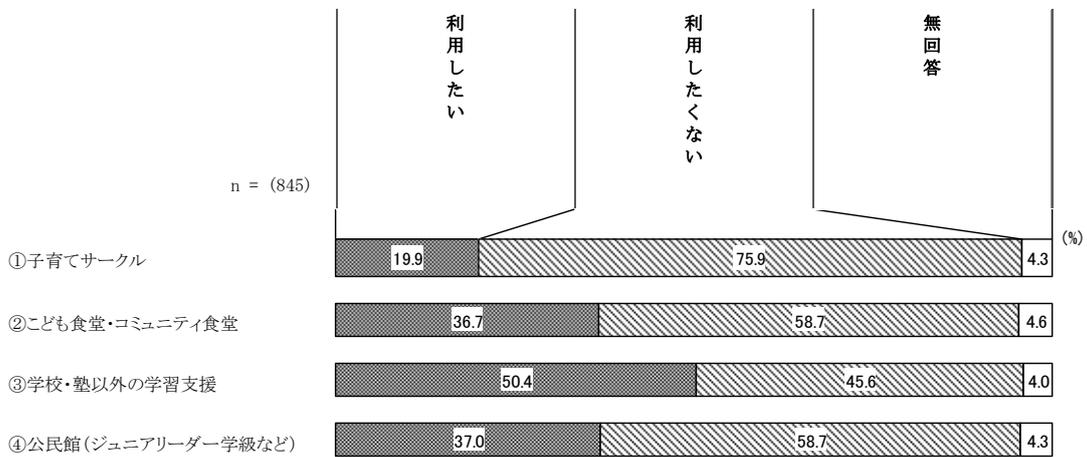


【次のような場所の利用希望】

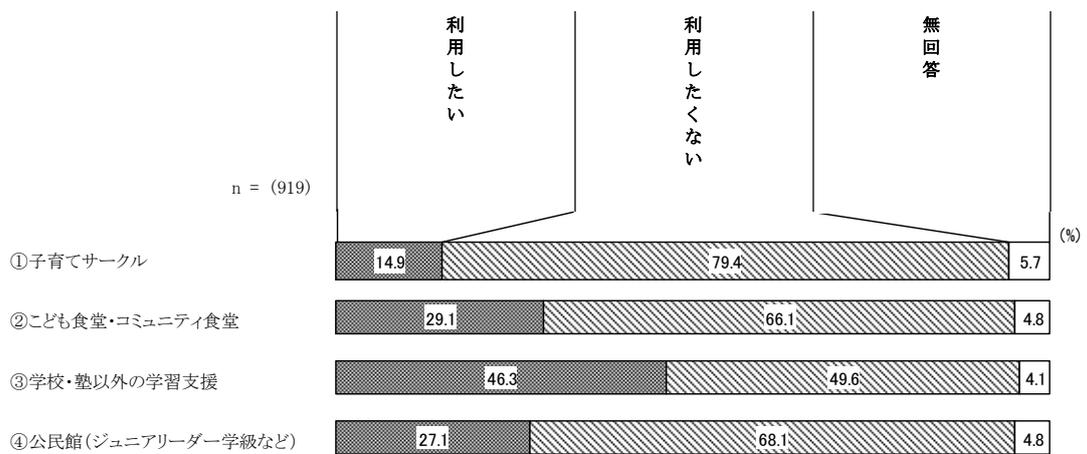
全体



小学5年生保護者



中学2年生保護者



第2章 小学5年生・中学2年生保護者調査結果

次のような場所の利用状況について、全体ではいずれの項目も「ない」が最も多く、特に『②こども食堂・コミュニティ食堂』（96.2%）、『③学校・塾以外の学習支援』（91.9%）が9割以上を占めています。一方、「ある」は『①子育てサークル』で、20.8%と約2割を占めています。

小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

次のような場所の利用希望について、全体では『③学校・塾以外の学習支援』を「利用したい」と「利用したくない」で、概ね同じ割合となっています。また、『①子育てサークル』、『②こども食堂・コミュニティ食堂』、『④公民館（ジュニアリーダー学級など）』は「利用したくない」で最も多く、特に『①子育てサークル』では「利用したくない」が、77.7%と約8割を占めています。

小学5年生保護者、中学2年生保護者ともに、概ね同様の傾向となっています。

(4) 困っていることや悩み事、市への要望等

問 27 あなたが今、困っていることや悩み事、市への要望等がありましたら、ご自由に記入してください。

内容	意見数 (件)	
	件数	割合
子育て環境、生活環境について	133	
窓口・行政について	114	
子育て(支援)について	96	
制度・手当・補助金について	93	
学校生活・先生について	81	
金銭面について	70	
就労について	35	
医療について	19	
精神・健康面について	14	
家族に関することについて	6	
その他	31	

困っていることや悩み事、市への要望等については、「子育て環境、生活環境について」が133件と最も多く、次いで「窓口・行政について」(114件)、「子育て(支援)について」(96件)となっています。

【主な意見】

<子育て環境、生活環境について>

- ・子どもと大人が体を動かして遊んだり、スポーツを行える屋内の施設があると良いと思います(あまり入場料がかからなくて気軽に利用できるような)。
- ・登下校時の安全の確保について真剣に施策を講じてほしいです。ガードレールの設置、見守り隊への支援拡大、不審者情報の共有等。
- ・学童保育が不足している。民間の学童保育に6年生まで預けたかったが、5年生になる時に下級生優先ということで断わられてしまった。すべての小学校に学童保育を併設してほしい。
- ・登下校時、スクールバスを利用出来る様になると、大変助かります。子どもの通学方法に負担を感じています。
- ・病児保育をしてくれる機関を増やしてほしい。休日保育のできる保育園を増やしてほしい。

<窓口・行政について>

- ・平日仕事をしているため、広報いわきのみしか情報を得る手段がない。回覧がまわってこないアパートでは情報が入りにくい事があり、無関心になりやすかった。若い世代にも受け入れやすい情報発信があればもっと地元を好きになる事ができるのではないかと思う。
- ・市営住宅の申込みをしています、なかなか入れません。余裕のある方々が入居されているのに、どうしてでしょうか？子育て中で経済的にも大変な人に譲ってもらえないのでしょうか？いったいどこまでちゃんと市は、調査をして入居者を管理されているんですか？民生委員の人は、責任をもって一度でなく毎年しっかりと足を運んで各家庭の状況を見てほしいと思います。
- ・税金が高い。共働きだと徴収される額が多く、貯金や子どもにかけたくても余裕がない。国は、とれる所からとっていくという考えに、他に方法はないのかと思うことが多々ある。母子家庭は、私立高校の学費や義務教育の給食費、修学旅行代など免除してもらえる制度があると耳にした。それぞれの家庭での問題もあるのだろうが、その偏りに不平等さを感じる。
- ・市では、乳幼児や小学生の子育て支援にとっても力を入れていると感じますが、中高生への支援や障がいのある大人への支援は少ないように思います。SNS を活用し、多方面の情報を発信したりして、同じような悩みを抱えている人に情報を提供して頂ければと思います。

<子育て（支援）について>

- ・ひとり親家庭の子どもは、必ずしも親以外に世話をしてくれる保護者が居るとは限りません。そのため、子どもの急な病気等あった時は、親の代わりに世話をしてくれるサービスがあっても良いと思います。
- ・小中学生の間でもスマホやタブレットの普及から、SNS（LINE 等）のやりとりが多くみられるようになり、LINE に参加できる子とできない子の格差が生まれているように感じます。経済的理由で、スマホ等を持たせることができませんが、LINE に参加できないことで、情報の共有ができず、仲間はずれのようなイジメにつながりかねない事象があるように感じます。小中学生の SNS の利用は、学校側（教育委員会等）で禁止することはできないのでしょうか？
- ・今は、夫婦共働きは当たり前の時代。なのに、学校行事、部活の送迎、すべてにおいて親への負担が多いように感じます。子どもの為とは分かっているけど仕事を休んでまで学校へ協力する事に違和感を感じています。
- ・不登校の子どもたちが、気軽に集まれる場がもっと必要だと思う。コミュニケーション障がいや発達障がいそれぞれの特性・個性をもっと理解し（「障がい者」という一つの枠でくくるのではなく）多種多様にサポートする体制が必要だと感じる。
- ・保育園の空きがないこと。仕事探しをしたいから子どもをみて欲しいのに、あれもこれもお金がかかったり本末転倒のような感じ。また、働きに出ても保育料と収入がプラマイゼロになりかねないという声も、他の親御さんからも聞きます。細部の支援が届いていてこそその“子育て支援”であり、“子育て支援に力を入れている”と言えるのではないかと思います。

<制度・手当・補助金について>

- ・母子家庭への支援がもう少し手厚いといいと感じました。どの制度も収入で受けられないものが多く、母子家庭でも利用できる制度が少ないです。収入に関係なく利用できる制度であってほしいです。
- ・業務教育期間中の学校でかかる教材費、修学旅行積み立て、給食費などの市や国での負担があれば給食費未払いや教材費未払いの問題もなくなり、家庭の負担も減ると思います。
- ・家賃補助があると助かる。
- ・児童手当が中学生までしかない事が大変です。今では高校、その後進学する事が普通なので、教育費がとてまかかります。少子化に歯止めをかけたいなら、その支援があっても良いと思います。

<学校生活・先生について>

- ・去年から、夏の異常気温などがある為、早めに学校にクーラーを設置していただきたいです。いわき市は広いので、今すぐのクーラー設置は大変かと思いますが、命にかかわる危険な暑さともなると、子ども達の学校での様子が、とても心配になります。
- ・学校のいじめ・暴力への認識が甘く、子どもが被害にあっている。また、クラス内の学力格差があり、有効な対策がとられていない。
- ・中学生を送っていますが、部活動が多く、休みもほとんどありません。その上、宿題や勉強があり、家族との時間もほとんど取れていない。とてもハードな毎日だと思うので、部活動についてももう少し見直ししてほしい。
- ・担任の先生によって指導法が違すぎて、子どもに合った人なら2年間楽しく過ごせていたが、合わない先生だと、学校に行くのがつまらなくてとてもかわいそうだった。

<金銭面について>

- ・乳児期や義務教育期間だけでなく、高校、専門学校、大学と、教育を受けたい、学習をしたいという子どもがいる世帯には、援助をして欲しいです。兄弟が増えれば増える程、子どもが病気になった時の対応と、医療費、教育費、生活費（食料・衣料代等）あらゆる分野で兄弟が増えた方が大変では、なかなか出産にふみ切れないのが現状ですので、少しずつでも改善して行って欲しいです。
- ・母子家庭で借りているお金があり、返金できていません。経済的に苦しく生活するだけで精一杯だからです。返金したい気持ちはありますが出来る状況ではありません。
- ・他の選択肢がないため民間の学童クラブに入所していますが、月謝が高いと感じています。（月 10,000 円～12,000 円）。他地区では 5,000 円～8,000 円くらいようです。価格設定は民間だから口を出せないのかもしれませんが、居住地域によって倍ほどの経済的負担があることを事前に知る手段があったら…と思います。

<就労について>

- ・母子家庭の母親の就労支援（正規職員）。安定した仕事に就けなければ、将来の見通しが立たない。年齢や、片親というだけで、正規雇用が難しいので、生活が向上しない。
- ・仕事で送迎などが出来ず、また習い事や塾に通わせることが難しく、これから中学校への進学を控え、私の理由で子どもの学力が落ちていくのではないかと考えることが多くなりました。
- ・子どもの発達障がい仕事で諦め、以来再就職出来ない。子どもがある程度自立して、学業等出費がかさむ中、じわじわと経済的に苦しくなって来ているし、上の兄や姉に負担や我慢をさせることが増していく気がする。

<医療について>

- ・小児科があまりないので困っている。医療センターの医師を増やしてほしい（治療できる医師がおらず、市外や県外に通院・入院を勧められ、負担が増えるため）。
- ・子ども医療費助成は大変役に立っています。お金の心配がなく診察を受けることができるのでとても感謝しています。予防接種や必ずかかる費用については助成や補助があると大変助かります。
- ・長女の他に障がい児の妹がおりますが、障がい児がいる子育ては大変です。医者にかかる際など、障がい者歯科はありますが、他の科でも障がい者用の医療機関があれば、とても助かります。また、将来のことを考えると、障がい者就労施設なども増えればありがたいと思っております。

<精神・健康面について>

- ・子どもの体力が低下しているように感じます。特に夏休みは、暑く外に出て運動をする時間が少ないです。昔のように、毎日プールに通ったり、ラジオ体操をするために集まったりしない現代に、少々不安を感じています。
- ・うつやパニックで自分自身、日々参っているので、正直子どもの声が全く耳に入ってきません。そういうママは実は多いと思います。そのようなママ同士が集まれるコミュニティーの場所を、平日の1～2時間でも良いので作って欲しいです。
- ・2番目の子が、精神不安になってしまい、一緒に学校に行っています。私も正直働きたいのですが、子どもの事は親の責任と感じ、一緒に過ごしています。私も、一人二人なら気持ちも違うのですが、子ども5人を抱えております。自分が、暗くなったらおしまいだと思いきや、思い明るく笑顔だけは、日々忘れずに自分で決めてやっています。

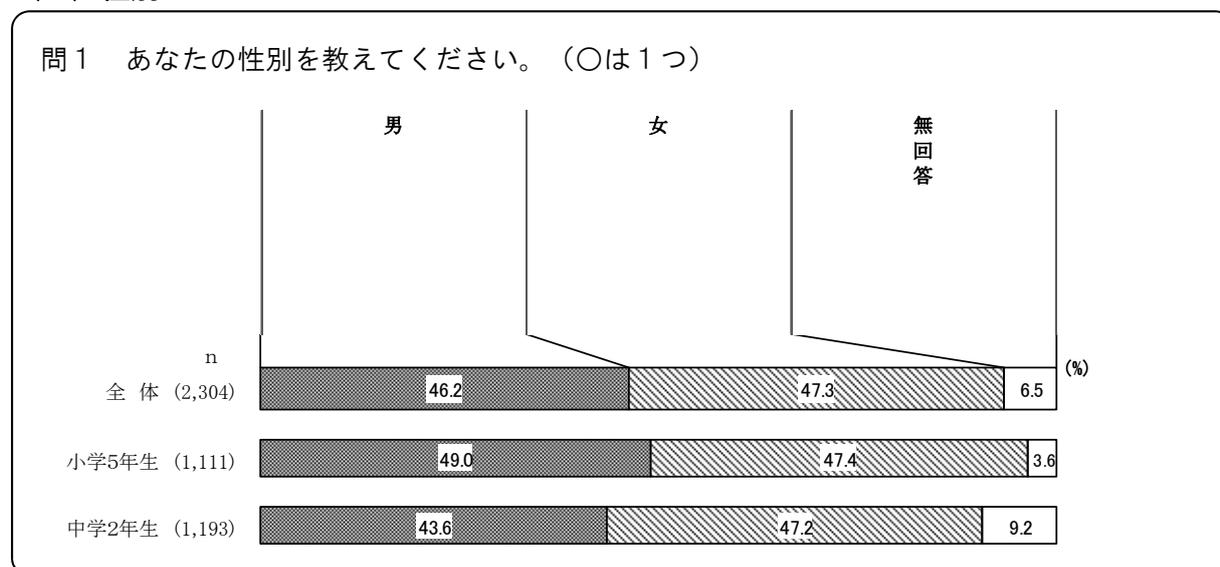
<家族に関することについて>

- ・夫のアルコール依存、暴力、暴言に困っている。こないだ、夫が暴れて子どもが110番通報し、警察が来たが、来た時には夫は静かになり、夫を連行して欲しいと言ったが、断わられた。もっと被害者に寄り添って欲しいと思った。弱い者が逃げこめる場をもっと作って欲しい。安く住む場を提供して欲しい。
- ・夫が精神障がい者で、3人いる子どもの内、1人が精神発達遅滞です。今年、何とか末の子が保育園に入る事が出来ましたが、障がい者が1人以上いる場合、保育園等に入園する条件を緩和してほしいです。

第3章 小学5年生・中学2年生調査結果

1. 基本的な属性について

(1) 性別

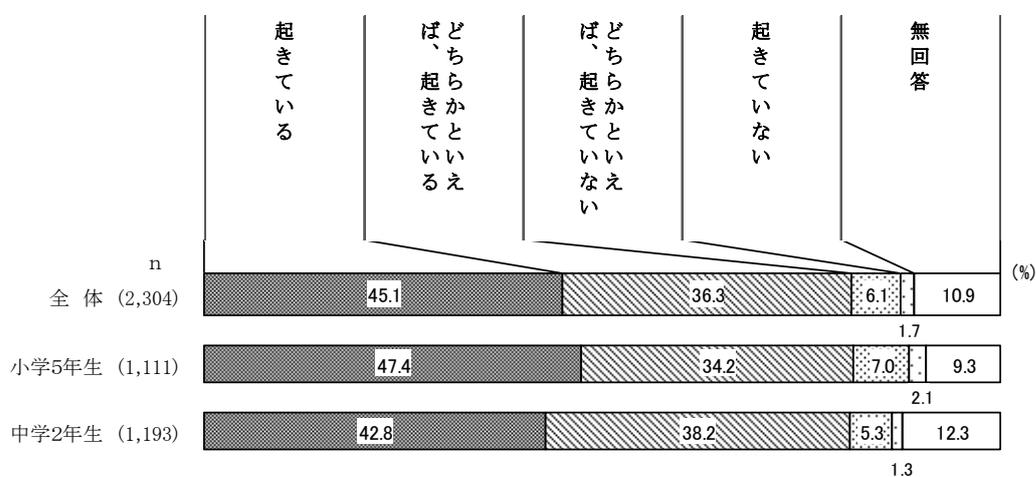


性別について、全体では「男」が46.2%、「女」が47.3%とほぼ半々となり、小学5年生、中学2年生ともに、概ね同様の傾向となっています。

2. 普段の生活習慣や健康状態について

(1) 朝決まった時間に起きているか

問2 朝決まった時間に起きていますか。(○は1つ)

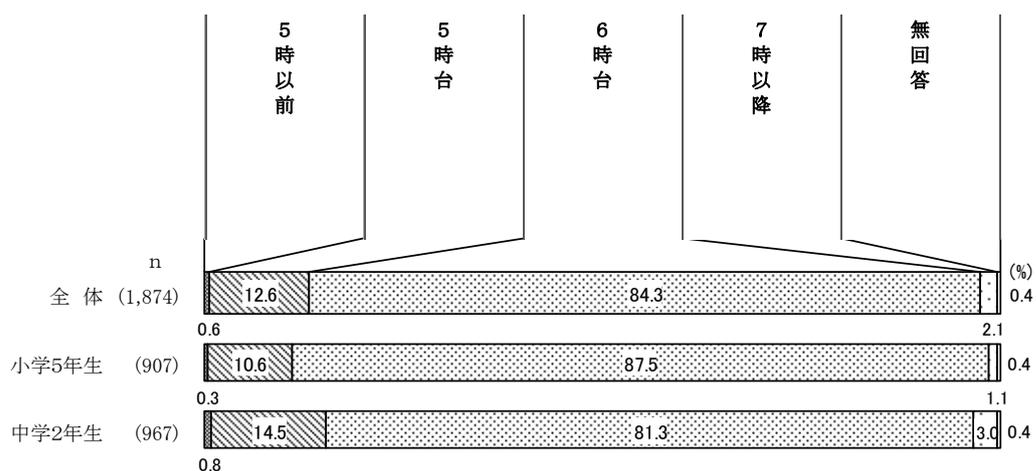


朝決まった時間に起きているかについて、全体では「起きている」と「どちらかといえば、起きている」を合わせた《起きている》が81.4%と約8割を占めており、小学5年生、中学2年生ともに、概ね同様の傾向となっています。

(2) 起きる時間

【〔2(1)朝決まった時間に起きているか〕で、「起きている」または「どちらかといえば、起きている」を選択した方のみ】

問2-1 起きる時間は、何時ごろですか。(枠に数字を記入)



起きる時間について、全体では「6時台」が84.3%と最も多く、次いで「5時台」(12.6%)となっており、小学5年生、中学2年生ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／起きる時間】

		(上段:件 下段:%)					
		調査数	5時以前	5時台	6時台	7時以降	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	240	2	30	202	6	-
		100.0	0.8	12.5	84.2	2.5	-
	祖父母等の同居なし	162	2	16	140	4	-
		100.0	1.2	9.9	86.4	2.5	-
	祖父母等の同居あり	78	-	14	62	2	-
		100.0	-	17.9	79.5	2.6	-
	ふたり親世帯	1,484	9	174	1,264	30	7
	100.0	0.6	11.7	85.2	2.0	0.5	
	共働き	1,113	5	131	946	25	6
		100.0	0.4	11.8	85.0	2.2	0.5
	父親または母親のどちらかのみ就労	371	4	43	318	5	1
		100.0	1.1	11.6	85.7	1.3	0.3
生活困難度	生活困難層	349	3	43	295	8	-
		100.0	0.9	12.3	84.5	2.3	-
	困窮層	132	2	16	112	2	-
		100.0	1.5	12.1	84.8	1.5	-
	周辺層	217	1	27	183	6	-
	100.0	0.5	12.4	84.3	2.8	-	
	一般層	1,374	7	164	1,168	28	7
	100.0	0.5	11.9	85.0	2.0	0.5	

※保護者の調査結果から算出した「世帯タイプ」「生活困難度」をもとにクロス集計したもの（P.6、P.7 参照）

※「生活困難度」は、パターン1を使用。以下同じ

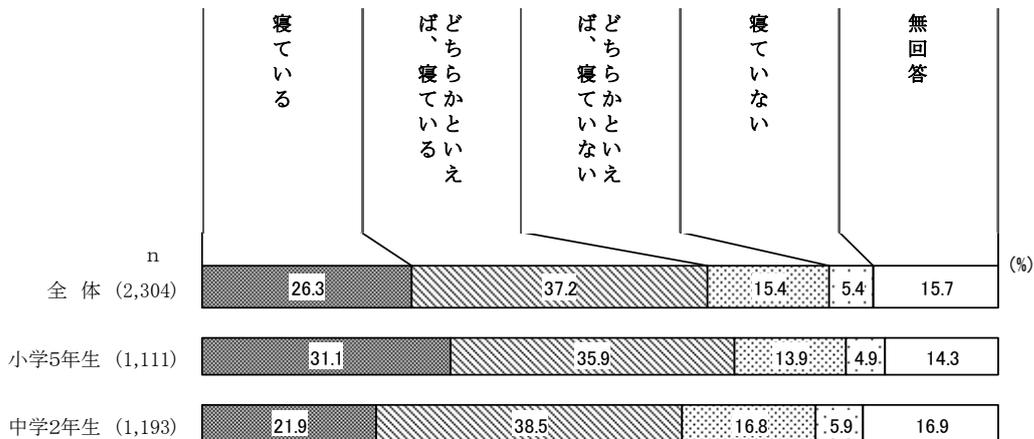
※以降のクロス集計は全て、「親子のマッチングができた世帯」のみを対象として集計（P.1 参照）

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）では「5時台」が2割弱と他の世帯タイプに比べ多くなっています。一方で「6時台」は8割以下と、他の世帯タイプに比べ少なくなっています。

生活困難度別にみると、困窮層・周辺層・一般層で概ね同様の傾向となっています。

(3) 夜決まった時間に寝ているか

問3 夜決まった時間に寝ていますか。(○は1つ)

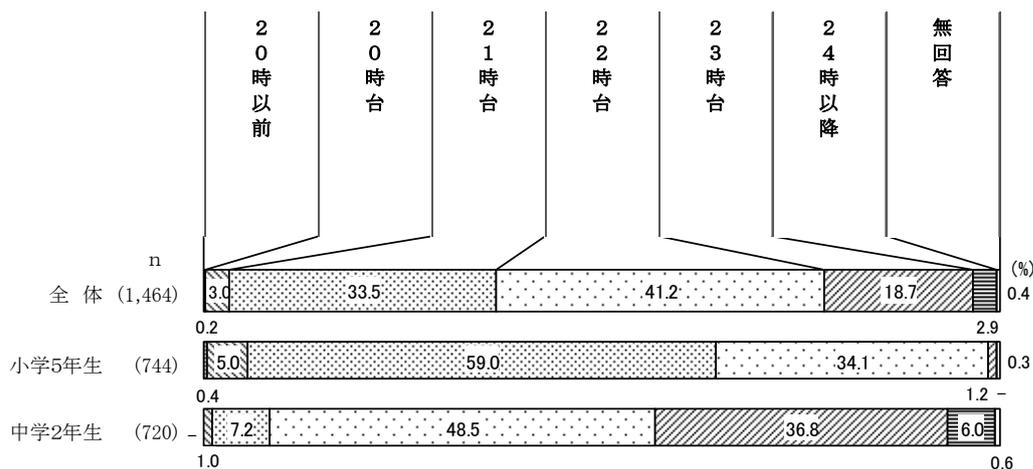


夜決まった時間に寝ているかについて、全体では「寝ている」と「どちらかといえば、寝ている」を合わせた《寝ている》が63.5%と約6割であるのに対し、「寝ていない」と「どちらかといえば、寝ていない」を合わせた《寝ていない》は20.8%と約2割となっており、小学5年生、中学2年生ともに、概ね同様の傾向となっています。

(4) 寝る時間

【〔2(3) 夜決まった時間に寝ているか〕で、「寝ている」または「どちらかといえば、寝ている」を選択した方のみ】

問3-1 寝る時間は、何時ごろですか。(枠に数字を記入)



寝る時間について、全体では「22時台」が41.2%と最も多く、次いで「21時台」(33.5%)、「23時台」(18.7%)となっています。

小学5年生では「21時台」(59.0%)が最も多く、中学2年生は「22時台」(48.5%)が最も多くなっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／寝る時間（小学5年生）】

		(上段:件 下段:%)							
		調査数	20時以前	20時台	21時台	22時台	23時台	24時以降	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	90	1	2	47	38	2	-	-
		100.0	1.1	2.2	52.2	42.2	2.2	-	-
	祖父母等の同居なし	57	-	1	30	24	2	-	-
		100.0	-	1.8	52.6	42.1	3.5	-	-
	祖父母等の同居あり	33	1	1	17	14	-	-	-
		100.0	3.0	3.0	51.5	42.4	-	-	-
ふたり親世帯		620	2	28	373	208	7	-	2
		100.0	0.3	4.5	60.2	33.5	1.1	-	0.3
	共働き	456	2	19	267	162	4	-	2
		100.0	0.4	4.2	58.6	35.5	0.9	-	0.4
父親または母親のどちらかのみ就労		164	-	9	106	46	3	-	-
		100.0	-	5.5	64.6	28.0	1.8	-	-
生活困難度	生活困難層	125	-	5	70	47	3	-	-
		100.0	-	4.0	56.0	37.6	2.4	-	-
	困窮層	45	-	3	20	21	1	-	-
		100.0	-	6.7	44.4	46.7	2.2	-	-
	周辺層	80	-	2	50	26	2	-	-
	100.0	-	2.5	62.5	32.5	2.5	-	-	
一般層	584	3	28	343	202	6	-	2	
	100.0	0.5	4.8	58.7	34.6	1.0	-	0.3	

小学5年生について世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）では「21時台」が約5割と、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ少なくなっています。また、「22時台」がふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ約4割と多くなっていることから、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）がふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）より寝る時間がやや遅い傾向があることがうかがえます。

小学5年生について生活困難度別にみると、困窮層では「21時台」が4割半ばと、他の生活困難度に比べ少なくなっています。また、困窮層では「22時台」が4割半ばと、他の生活困難度に比べ多くなっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／寝る時間（中学2年生）】

(上段:件 下段:%)

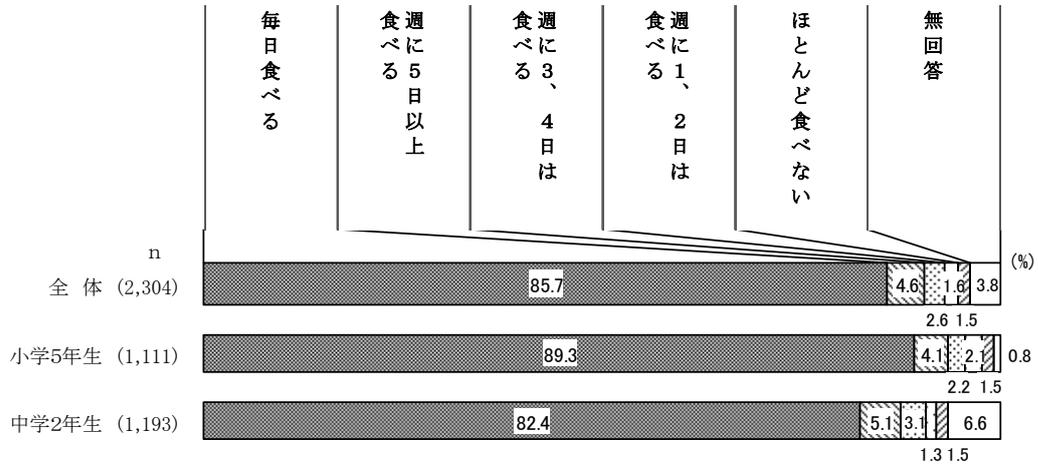
		調査数	20時以前	20時台	21時台	22時台	23時台	24時以降	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	90 100.0	- -	2 2.2	6 6.7	47 52.2	28 31.1	7 7.8	- -
	祖父母等の同居なし	64 100.0	- -	2 3.1	4 6.3	31 48.4	22 34.4	5 7.8	- -
	祖父母等の同居あり	26 100.0	- -	- -	2 7.7	16 61.5	6 23.1	2 7.7	- -
	ふたり親世帯	561 100.0	- -	5 0.9	39 7.0	271 48.3	213 38.0	30 5.3	3 0.5
	共働き	432 100.0	- -	5 1.2	30 6.9	211 48.8	160 37.0	25 5.8	1 0.2
	父親または母親のどちらかのみ就労	129 100.0	- -	- -	9 7.0	60 46.5	53 41.1	5 3.9	2 1.6
生活困難度	生活困難層	145 100.0	- -	2 1.4	14 9.7	71 49.0	52 35.9	6 4.1	- -
	困窮層	60 100.0	- -	1 1.7	6 10.0	27 45.0	21 35.0	5 8.3	- -
	周辺層	85 100.0	- -	1 1.2	8 9.4	44 51.8	31 36.5	1 1.2	- -
	一般層	502 100.0	- -	5 1.0	36 7.2	248 49.4	177 35.3	33 6.6	3 0.6

中学2年生について世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）では「22時台」が約6割と、他の世帯タイプに比べ多くなっています。また、ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）では「23時台」が約2割と、他の世帯タイプに比べ少なくなっています。

中学2年生について生活困難度別にみると、困窮層・周辺層・一般層で概ね同様の傾向となっています。

(5) 朝食を食べる頻度

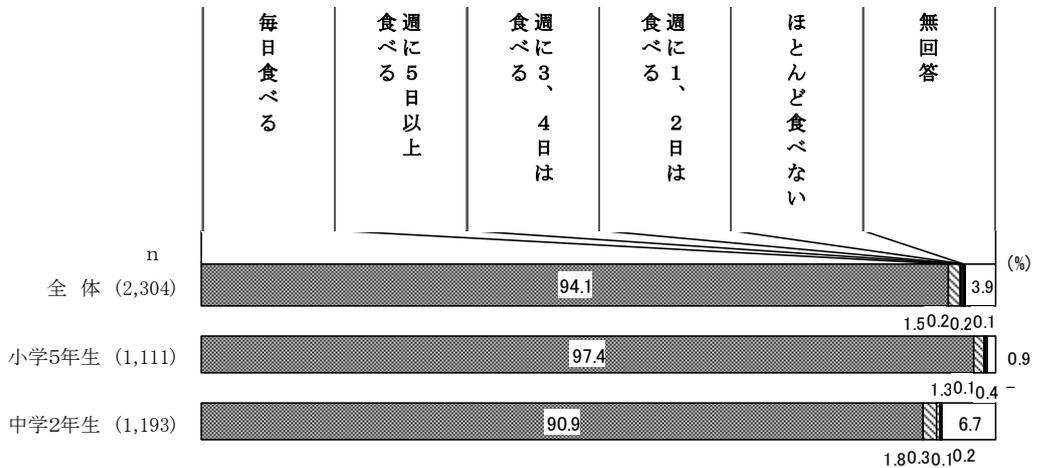
問4 朝食はどれくらいの頻度で食べていますか。(○は1つ)



朝食を食べる頻度について、全体では「毎日食べる」が85.7%と最も多く、小学5年生、中学2年生ともに、概ね同様の傾向となっています。

(6) 夕食を食べる頻度

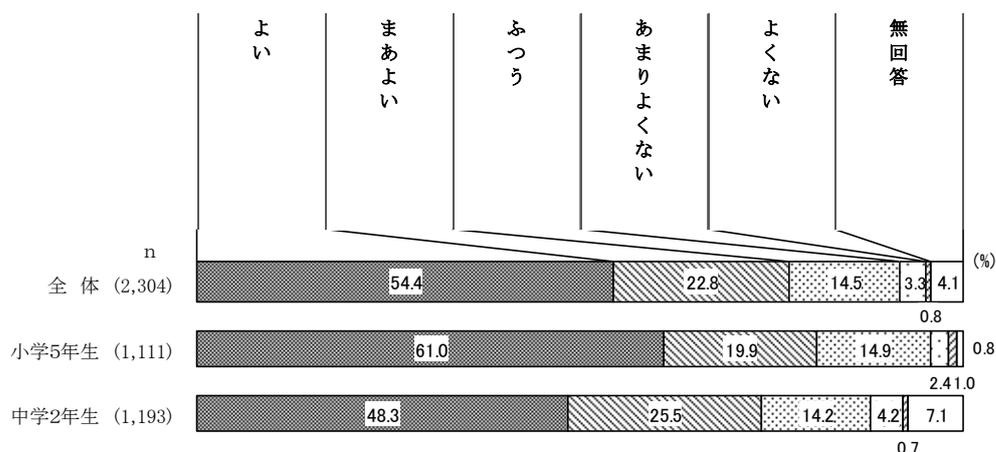
問5 夕食はどれくらいの頻度で食べていますか。(○は1つ)



夕食を食べる頻度について、全体では「毎日食べる」が94.1%と大多数を占め、小学5年生、中学2年生ともに、概ね同様の傾向となっています。

(7) 健康状態

問6 自分の健康状態についてどう感じていますか。(○は1つ)



健康状態について、全体では「よい」が54.4%と最も多く、次いで「まあよい」(22.8%)、「ふつう」(14.5%)となっています。「よい」と「まあよい」を合わせた《よい》が77.2%と約8割であるのに対し、「よくない」と「あまりよくない」を合わせた《よくない》が4.1%となっています。

小学5年生では「よい」が61.0%であるのに対し、中学2年生は48.3%と約12ポイント低くなっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／健康状態】

(上段:件 下段:%)

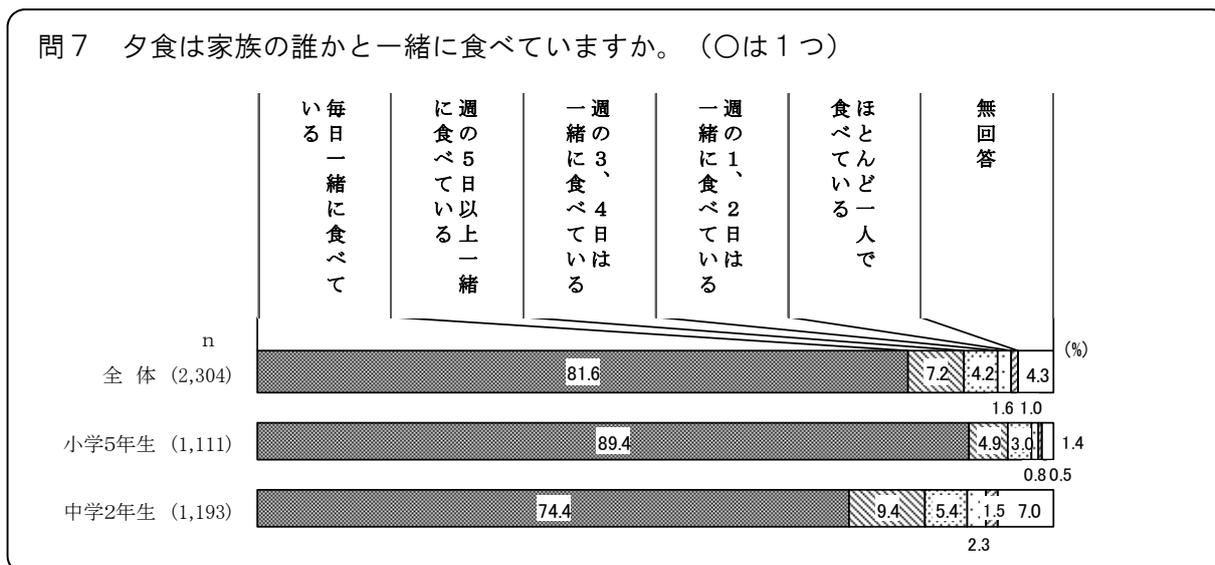
		調査数	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	156 50.3	62 20.0	61 19.7	11 3.5	3 1.0	17 5.5
	祖父母等の同居なし	208 100.0	101 48.6	44 21.2	38 18.3	7 3.4	3 1.4	15 7.2
	祖父母等の同居あり	102 100.0	55 53.9	18 17.6	23 22.5	4 3.9	-	2 2.0
	ふたり親世帯	1,799 100.0	1,010 56.1	415 23.1	240 13.3	58 3.2	14 0.8	62 3.4
	共働き	1,366 100.0	778 57.0	299 21.9	186 13.6	42 3.1	13 1.0	48 3.5
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	232 53.6	116 26.8	54 12.5	16 3.7	1 0.2	14 3.2
生活困難度	生活困難層	462 100.0	216 46.8	117 25.3	81 17.5	14 3.0	9 1.9	25 5.4
	困窮層	182 100.0	88 48.4	41 22.5	32 17.6	7 3.8	5 2.7	9 4.9
	周辺層	280 100.0	128 45.7	76 27.1	49 17.5	7 2.5	4 1.4	16 5.7
	一般層	1,653 100.0	950 57.5	365 22.1	220 13.3	56 3.4	8 0.5	54 3.3

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）では《よい》が約7割と、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ少なくなっています。

生活困難度別にみると、困窮層・周辺層では《よい》が約7割と、一般層に比べ少なくなっています。

3. 家族や友達との関係について

(1) 夕食の状況



夕食の状況について、全体では「毎日一緒に食べている」が81.6%と約8割を占め、次いで「週の5日以上一緒に食べている」(7.2%)、「週の3、4日は一緒に食べている」(4.2%)となっています。

小学5年生では「毎日一緒に食べている」が89.4%と約9割であるのに対し、中学2年生は「毎日一緒に食べている」が74.4%と15ポイント低くなっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別/夕食の状況】

		調査数	毎日一緒に食べている	週の5日以上一緒に食べている	週の3、4日は一緒に食べている	週の1、2日は一緒に食べている	ほとんど一人で食べている	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	236	24	17	7	8	18
	祖父母等の同居なし	100.0	76.1	7.7	5.5	2.3	2.6	5.8
	祖父母等の同居あり	208	157	13	12	6	5	15
	祖父母等の同居あり	100.0	75.5	6.3	5.8	2.9	2.4	7.2
	ふたり親世帯	102	79	11	5	1	3	3
	ふたり親世帯	100.0	77.5	10.8	4.9	1.0	2.9	2.9
生活困難度	生活困難層	1,799	1,497	129	68	24	14	67
	生活困難層	100.0	83.2	7.2	3.8	1.3	0.8	3.7
	困窮層	1,366	1,136	97	53	18	11	51
	困窮層	100.0	83.2	7.1	3.9	1.3	0.8	3.7
	周辺層	433	361	32	15	6	3	16
	周辺層	100.0	83.4	7.4	3.5	1.4	0.7	3.7
生活困難度	一般層	462	358	38	24	7	8	27
	一般層	100.0	77.5	8.2	5.2	1.5	1.7	5.8
	困窮層	182	133	19	13	3	2	12
	困窮層	100.0	73.1	10.4	7.1	1.6	1.1	6.6
生活困難度	周辺層	280	225	19	11	4	6	15
	周辺層	100.0	80.4	6.8	3.9	1.4	2.1	5.4
生活困難度	一般層	1,653	1,381	114	65	22	12	59
	一般層	100.0	83.5	6.9	3.9	1.3	0.7	3.6

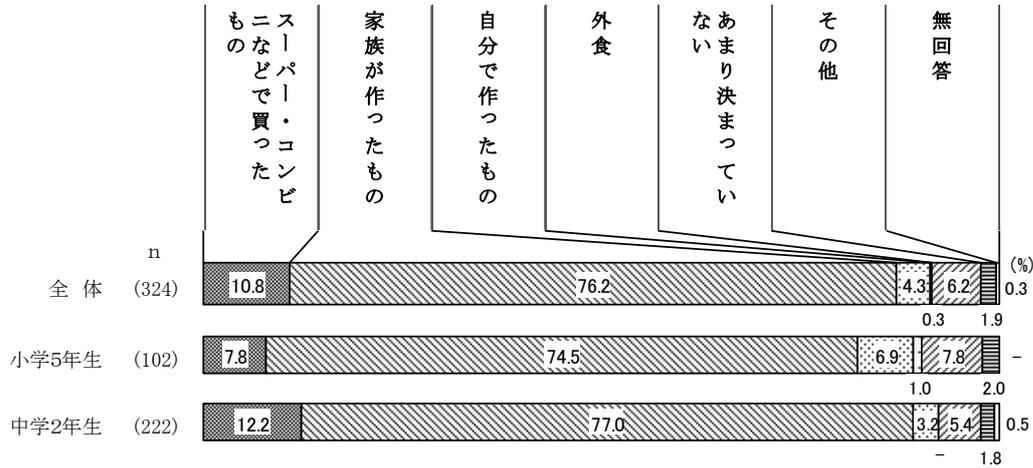
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯(祖父母等の同居なし・あり)では「毎日一緒に食べている」が8割弱と、ふたり親世帯(共働き・どちらかのみ就労)に比べ少なくなっています。

生活困難度別にみると、困窮層では「毎日一緒に食べている」が約7割と、他の生活困難度に比べ少なくなっています。

(2) 一人でごはんを食べるとき特によく食べているもの

【〔3(1)夕食の状況〕で、「週の5日以上一緒に食べている」「週の3、4日は一緒に食べている」「週の1、2日は一緒に食べている」「ほとんど一人で食べている」のいずれかを選択した方のみ】

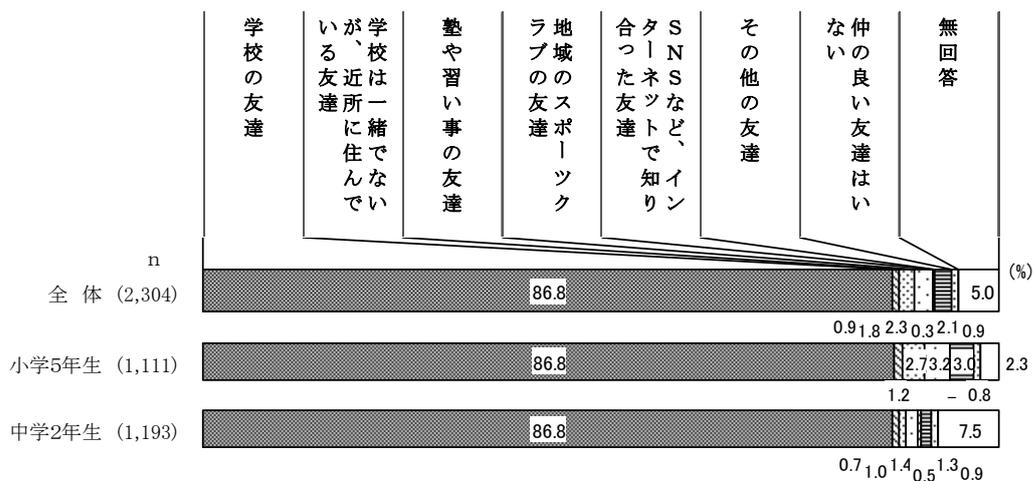
問7-1 一人でごはんを食べるとき、何をよく食べていますか。特によく食べているものを1つ教えてください。(〇は1つ)



一人でごはんを食べるとき特によく食べているものについて、全体では「家族が作ったもの」が76.2%と最も多く、次いで「スーパー・コンビニなどで買ったもの」(10.8%)、「自分で作ったもの」(4.3%)となっており、小学5年生、中学2年生ともに、概ね同様の傾向となっています。

(3) 一番仲の良い友達

問8 一番仲の良い友達は、どのような友達ですか。(〇は1つ)



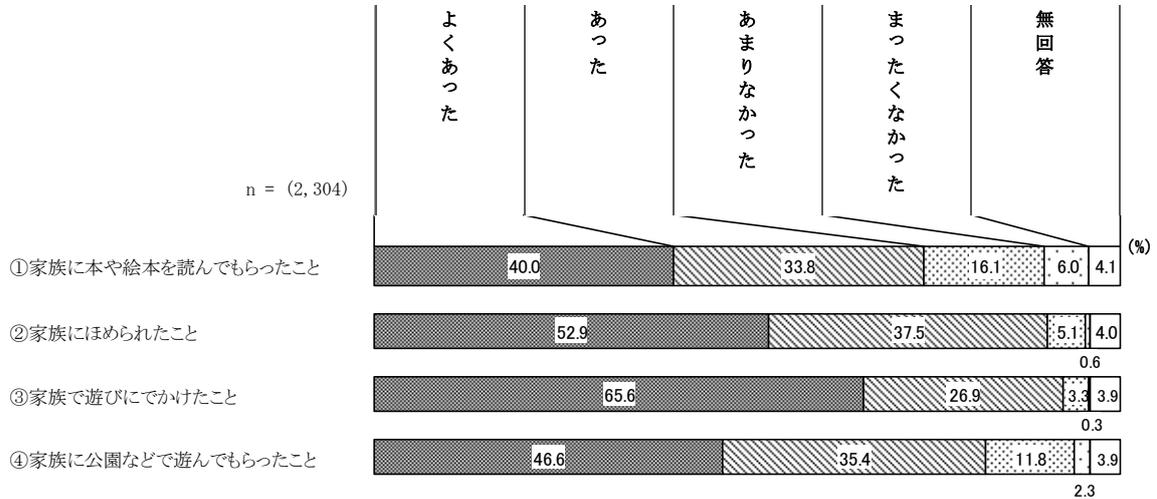
一番仲の良い友達について、全体では「学校の友達」が86.8%と大多数を占め、小学5年生、中学2年生ともに、概ね同様の傾向となっています。

(4) 小学生になる前の経験

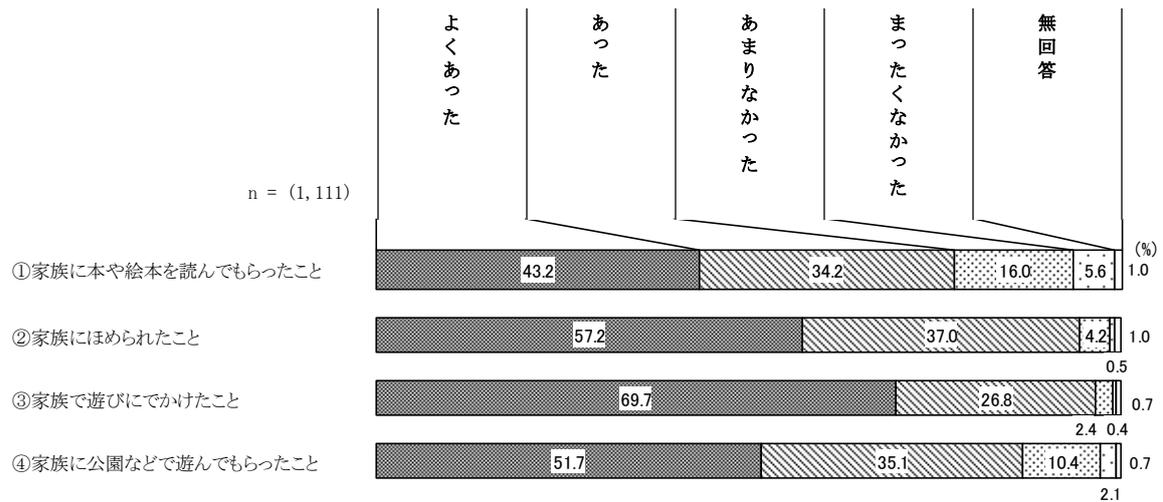
問9 小学生になる前に、次のような経験がどれくらいありましたか。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

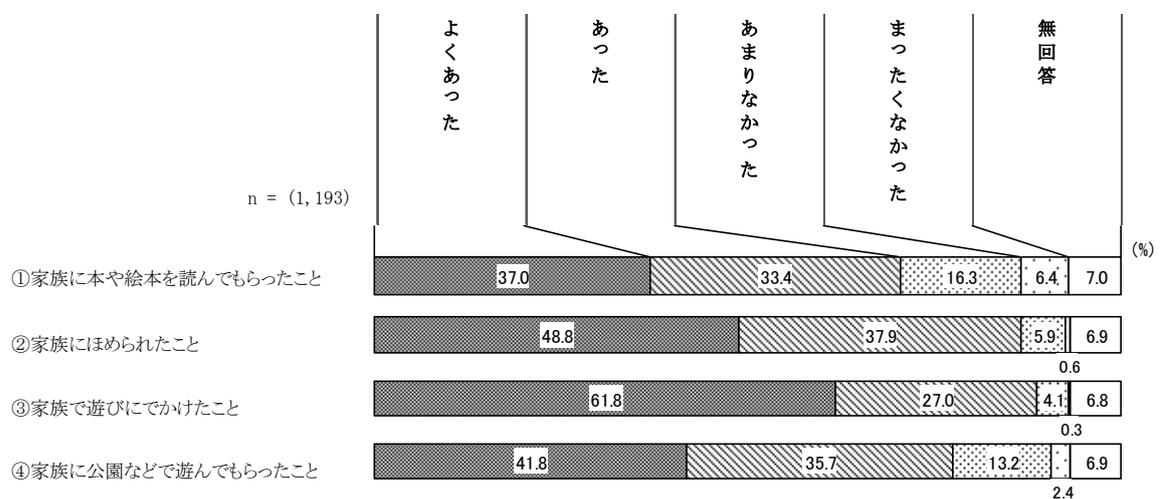
全体



小学5年生



中学2年生



小学生になる前の経験について、全体ではいずれの項目も「よくあった」と「あった」を合わせた《あった》が多く、特に『②家族にほめられたこと』（90.4%）、『③家族と遊びにでかけたこと』（92.5%）では約9割を占めています。一方、「まったくなかった」と「あまりなかった」を合わせた《なかった》では『①家族に本や絵本を読んでもらったこと』が22.1%と他の項目に比べ多く、約2割になっています。

小学5年生、中学2年生ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／小学生になる前の経験】

①家族に本や絵本を読んでもらったこと

(上段:件 下段:%)

		調査数	よくあった	あった	あまりなかった	まったくなかった	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	102 32.9	115 37.1	45 14.5	28 9.0	20 6.5
	祖父母等の同居なし	208 100.0	58 27.9	79 38.0	33 15.9	21 10.1	17 8.2
	祖父母等の同居あり	102 100.0	44 43.1	36 35.3	12 11.8	7 6.9	3 2.9
	ふたり親世帯	1,799 100.0	748 41.6	600 33.4	295 16.4	96 5.3	60 3.3
	共働き	1,366 100.0	567 41.5	451 33.0	225 16.5	76 5.6	47 3.4
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	181 41.8	149 34.4	70 16.2	20 4.6	13 3.0
生活困難度	生活困難層	462 100.0	135 29.2	178 38.5	84 18.2	41 8.9	24 5.2
	困窮層	182 100.0	48 26.4	72 39.6	33 18.1	19 10.4	10 5.5
	周辺層	280 100.0	87 31.1	106 37.9	51 18.2	22 7.9	14 5.0
	一般層	1,653 100.0	713 43.1	544 32.9	261 15.8	79 4.8	56 3.4

②家族にほめられたこと

(上段:件 下段:%)

		調査数	よくあった	あった	あまりなかった	まったくなかった	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	158 51.0	111 35.8	13 4.2	7 2.3	21 6.8
	祖父母等の同居なし	208 100.0	102 49.0	76 36.5	8 3.8	4 1.9	18 8.7
	祖父母等の同居あり	102 100.0	56 54.9	35 34.3	5 4.9	3 2.9	3 2.9
	ふたり親世帯	1,799 100.0	963 53.5	680 37.8	93 5.2	5 0.3	58 3.2
	共働き	1,366 100.0	713 52.2	534 39.1	72 5.3	3 0.2	44 3.2
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	250 57.7	146 33.7	21 4.8	2 0.5	14 3.2
生活困難度	生活困難層	462 100.0	209 45.2	190 41.1	31 6.7	6 1.3	26 5.6
	困窮層	182 100.0	74 40.7	77 42.3	14 7.7	4 2.2	13 7.1
	周辺層	280 100.0	135 48.2	113 40.4	17 6.1	2 0.7	13 4.6
	一般層	1,653 100.0	913 55.2	602 36.4	79 4.8	5 0.3	54 3.3

③家族で遊びにでかけたこと

		(上段:件 下段:%)					
		調査数	よくあった	あった	あまりなかった	まったくなかった	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	179	85	23	4	19
		100.0	57.7	27.4	7.4	1.3	6.1
	祖父母等の同居なし	208	117	57	14	3	17
		100.0	56.3	27.4	6.7	1.4	8.2
	祖父母等の同居あり	102	62	28	9	1	2
		100.0	60.8	27.5	8.8	1.0	2.0
	ふたり親世帯	1,799	1,203	489	48	3	56
	100.0	66.9	27.2	2.7	0.2	3.1	
	共働き	1,366	912	372	37	2	43
		100.0	66.8	27.2	2.7	0.1	3.1
	父親または母親のどちらかのみ就労	433	291	117	11	1	13
		100.0	67.2	27.0	2.5	0.2	3.0
生活困難度	生活困難層	462	253	152	29	3	25
		100.0	54.8	32.9	6.3	0.6	5.4
	困窮層	182	97	59	14	-	12
		100.0	53.3	32.4	7.7	-	6.6
	周辺層	280	156	93	15	3	13
		100.0	55.7	33.2	5.4	1.1	4.6
一般層	1,653	1,131	428	39	4	51	
	100.0	68.4	25.9	2.4	0.2	3.1	

④家族に公園などで遊んでもらったこと

		(上段:件 下段:%)					
		調査数	よくあった	あった	あまりなかった	まったくなかった	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	134	93	49	14	20
		100.0	43.2	30.0	15.8	4.5	6.5
	祖父母等の同居なし	208	84	59	37	11	17
		100.0	40.4	28.4	17.8	5.3	8.2
	祖父母等の同居あり	102	50	34	12	3	3
		100.0	49.0	33.3	11.8	2.9	2.9
	ふたり親世帯	1,799	850	653	207	32	57
	100.0	47.2	36.3	11.5	1.8	3.2	
	共働き	1,366	639	503	155	25	44
		100.0	46.8	36.8	11.3	1.8	3.2
	父親または母親のどちらかのみ就労	433	211	150	52	7	13
		100.0	48.7	34.6	12.0	1.6	3.0
生活困難度	生活困難層	462	178	163	80	15	26
		100.0	38.5	35.3	17.3	3.2	5.6
	困窮層	182	70	64	31	4	13
		100.0	38.5	35.2	17.0	2.2	7.1
	周辺層	280	108	99	49	11	13
		100.0	38.6	35.4	17.5	3.9	4.6
一般層	1,653	805	594	173	30	51	
	100.0	48.7	35.9	10.5	1.8	3.1	

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）では「よくあった」がいずれの項目でも他の世帯タイプ比で少なくなっており、特に『①家族に本や絵本を読んでもらったこと』で差が大きくなっています。

生活困難度別にみると、困窮層・周辺層では「よくあった」がいずれの項目でも一般層に比べ少なくなっています。

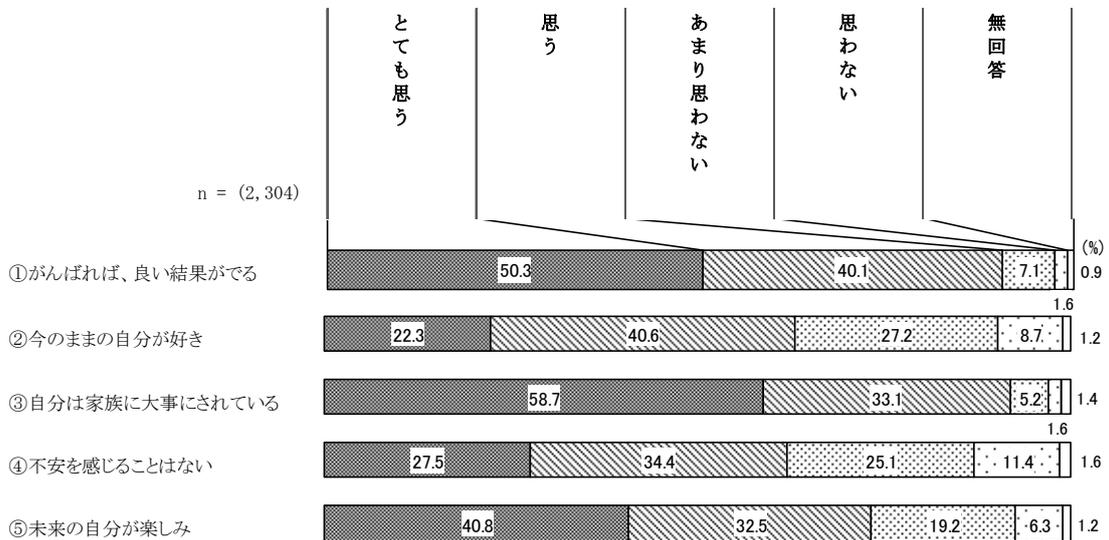
4. 回答者の考えていることについて

(1) 思いや気持ちについて、もっとも近いもの

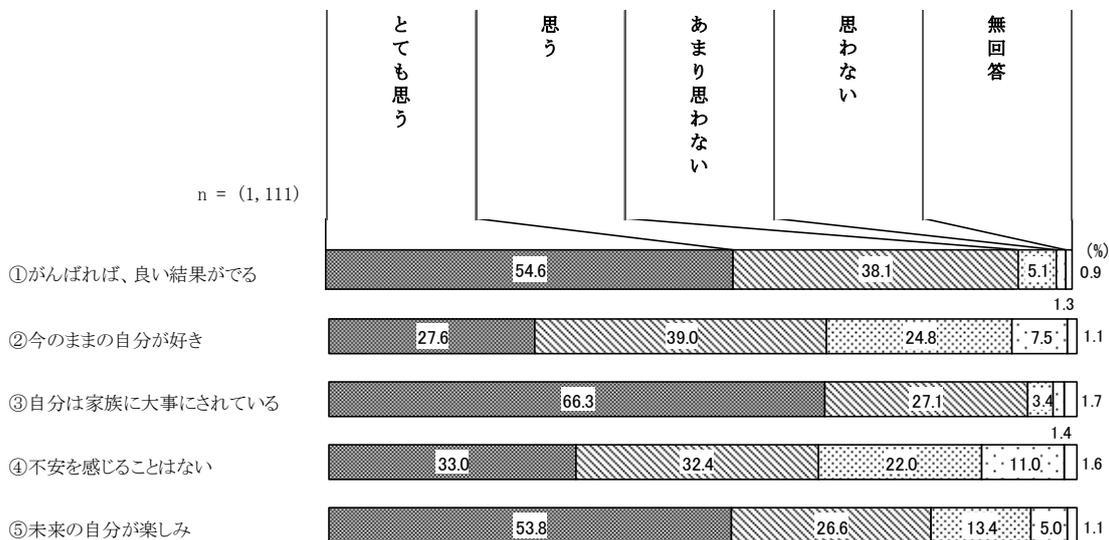
問 10 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いと思うものを選んでください。

(それぞれあてはまる番号1つに○)

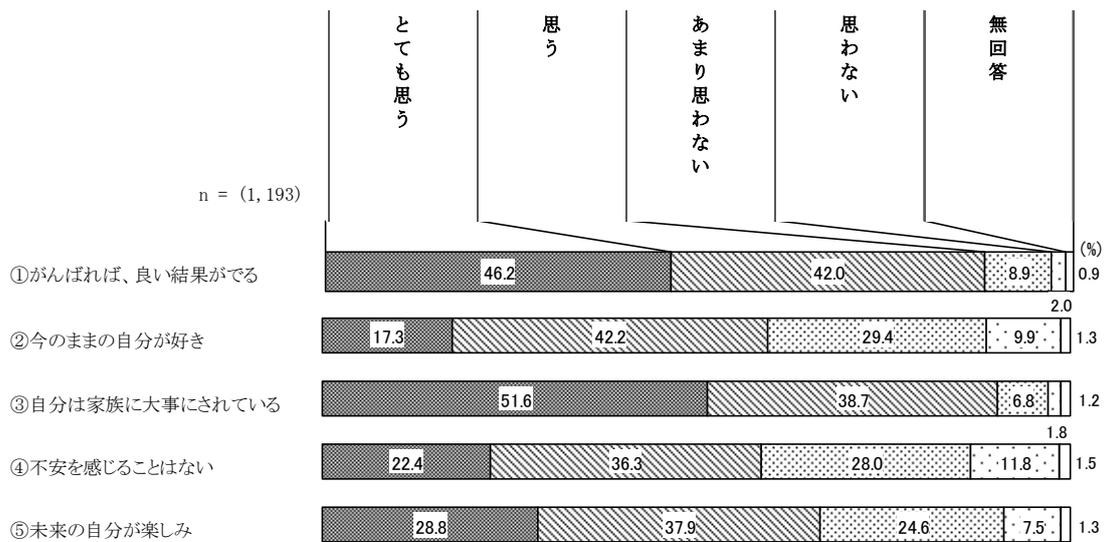
全体



小学5年生



中学2年生



思いや気持ちについて、もっとも近いものについて、全体ではいずれの項目も「とても思う」と「思う」を合わせた《思う》が多く、特に『①がんばれば、良い結果が出る』（90.4%）、『③自分は家族に大事にされている』（91.8%）では約9割を占めています。一方、『②今のままの自分が好き』（62.9%）、『④不安を感じることはない』（61.9%）は《思う》が約6割にとどまっています。

小学5年生では『⑤未来の自分が楽しみ』を《思う》と答えた方は80.4%であるのに対し、中学2年生では66.7%と約14ポイント低くなっています。

【思いや気持ちについて、もっとも近いものでの《思う》の回答数別／小学生になる前の経験】

①家族に本や絵本を読んでもらったこと

(上段:件 下段:%)

	調査数	よくあつた	あつた	あまりなかつた	まったくなかつた	無回答	「よくあつた」または「あつた」
①～⑤のいずれか1項目以上で《思う》と回答	2,198	891	745	347	126	89	1,636
	100.0	40.5	33.9	15.8	5.7	4.0	74.4
①～⑤の全ての項目で《思う》と回答	933	469	289	113	30	32	758
	100.0	50.3	31.0	12.1	3.2	3.4	81.2
①～⑤のうち4項目で《思う》と回答	535	212	183	87	28	25	395
	100.0	39.6	34.2	16.3	5.2	4.7	73.8
①～⑤のうち3項目で《思う》と回答	371	120	152	55	31	13	272
	100.0	32.3	41.0	14.8	8.4	3.5	73.3
①～⑤のうち2項目で《思う》と回答	264	63	96	71	23	11	159
	100.0	23.9	36.4	26.9	8.7	4.2	60.2
①～⑤のうち1項目で《思う》と回答	95	27	25	21	14	8	52
	100.0	28.4	26.3	22.1	14.7	8.4	54.7
①～⑤のいずれの項目にも《思う》と回答なし	28	3	8	10	4	3	11
	100.0	10.7	28.6	35.7	14.3	10.7	39.3

②家族にほめられたこと

(上段:件 下段:%)

	調査数	よくあつた	あつた	あまりなかつた	まったくなかつた	無回答	「よくあつた」または「あつた」
①～⑤のいずれか1項目以上で《思う》と回答	2,198	1,182	813	105	10	88	1,995
	100.0	53.8	37.0	4.8	0.5	4.0	90.8
①～⑤の全ての項目で《思う》と回答	933	630	256	16	1	30	886
	100.0	67.5	27.4	1.7	0.1	3.2	95.0
①～⑤のうち4項目で《思う》と回答	535	292	209	10	-	24	501
	100.0	54.6	39.1	1.9	-	4.5	93.6
①～⑤のうち3項目で《思う》と回答	371	164	173	22	1	11	337
	100.0	44.2	46.6	5.9	0.3	3.0	90.8
①～⑤のうち2項目で《思う》と回答	264	70	145	33	4	12	215
	100.0	26.5	54.9	12.5	1.5	4.5	81.4
①～⑤のうち1項目で《思う》と回答	95	26	30	24	4	11	56
	100.0	27.4	31.6	25.3	4.2	11.6	58.9
①～⑤のいずれの項目にも《思う》と回答なし	28	2	11	10	2	3	13
	100.0	7.1	39.3	35.7	7.1	10.7	46.4

③家族で遊びにでかけたこと

	調査数	(上段:件 下段:%)					
		よくあった	あった	あまりなかった	まったくなかった	無回答	「よくあった」または「あった」
①～⑤のいずれか1項目以上で《思う》と回答	2,198	1,454	584	69	7	84	2,038
	100.0	66.2	26.6	3.1	0.3	3.8	92.7
①～⑤の全ての項目で《思う》と回答	933	699	180	22	2	30	879
	100.0	74.9	19.3	2.4	0.2	3.2	94.2
①～⑤のうち4項目で《思う》と回答	535	361	141	8	1	24	502
	100.0	67.5	26.4	1.5	0.2	4.5	93.8
①～⑤のうち3項目で《思う》と回答	371	230	118	12	1	10	348
	100.0	62.0	31.8	3.2	0.3	2.7	93.8
①～⑤のうち2項目で《思う》と回答	264	122	107	21	3	11	229
	100.0	46.2	40.5	8.0	1.1	4.2	86.7
①～⑤のうち1項目で《思う》と回答	95	42	38	6	-	9	80
	100.0	44.2	40.0	6.3	-	9.5	84.2
①～⑤のいずれの項目にも《思う》と回答なし	28	5	16	4	-	3	21
	100.0	17.9	57.1	14.3	-	10.7	75.0

④家族に公園などで遊んでもらったこと

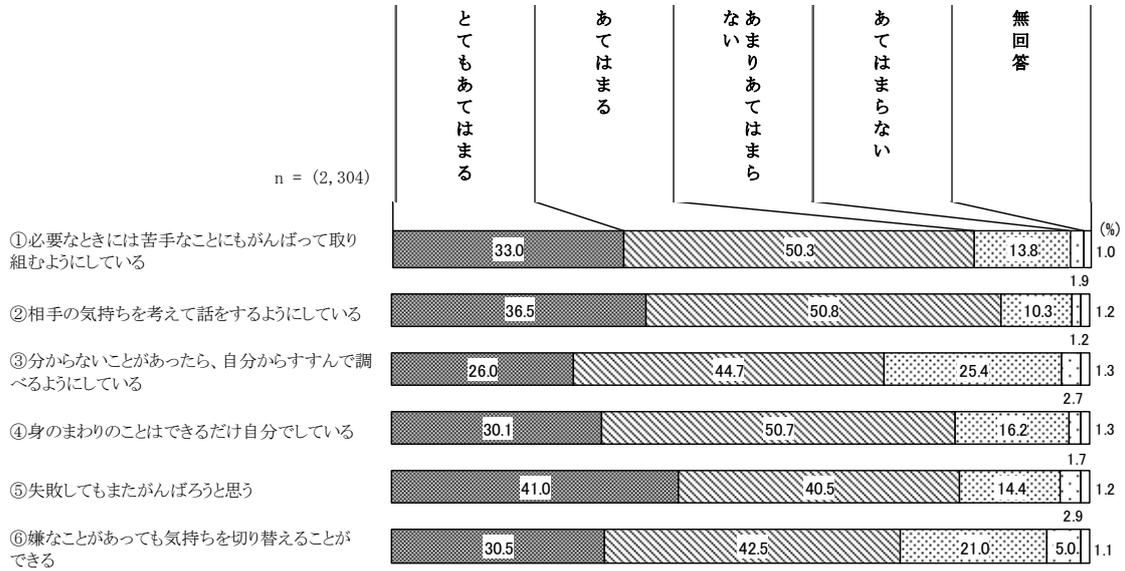
	調査数	(上段:件 下段:%)					
		よくあった	あった	あまりなかった	まったくなかった	無回答	「よくあった」または「あった」
①～⑤のいずれか1項目以上で《思う》と回答	2,198	1,036	774	256	47	85	1,810
	100.0	47.1	35.2	11.6	2.1	3.9	82.3
①～⑤の全ての項目で《思う》と回答	933	530	295	67	11	30	825
	100.0	56.8	31.6	7.2	1.2	3.2	88.4
①～⑤のうち4項目で《思う》と回答	535	258	205	39	9	24	463
	100.0	48.2	38.3	7.3	1.7	4.5	86.5
①～⑤のうち3項目で《思う》と回答	371	146	140	64	10	11	286
	100.0	39.4	37.7	17.3	2.7	3.0	77.1
①～⑤のうち2項目で《思う》と回答	264	72	102	68	11	11	174
	100.0	27.3	38.6	25.8	4.2	4.2	65.9
①～⑤のうち1項目で《思う》と回答	95	30	32	18	6	9	62
	100.0	31.6	33.7	18.9	6.3	9.5	65.3
①～⑤のいずれの項目にも《思う》と回答なし	28	1	11	11	2	3	12
	100.0	3.6	39.3	39.3	7.1	10.7	42.9

小学生になる前の経験について「思いや気持ちについて、もっとも近いもの」での《思う》の回答数別にみると、『①家族に本や絵本を読んでもらったこと』、『②家族にほめられたこと』、『③家族で遊びにでかけたこと』、『④家族に公園などで遊んでもらったこと』のいずれも、《思う》の回答数が多いほど「よくあった」または「あった」が多くなっています。

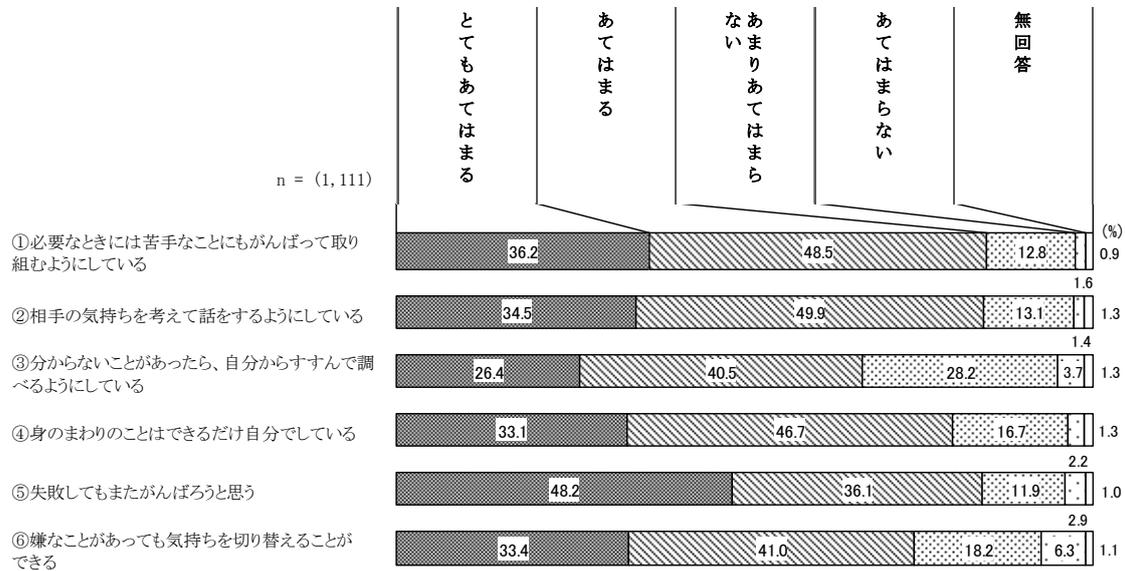
(2) 次のような行動にどの程度あてはまるか

問 11 次のようなことにどの程度あてはまりますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

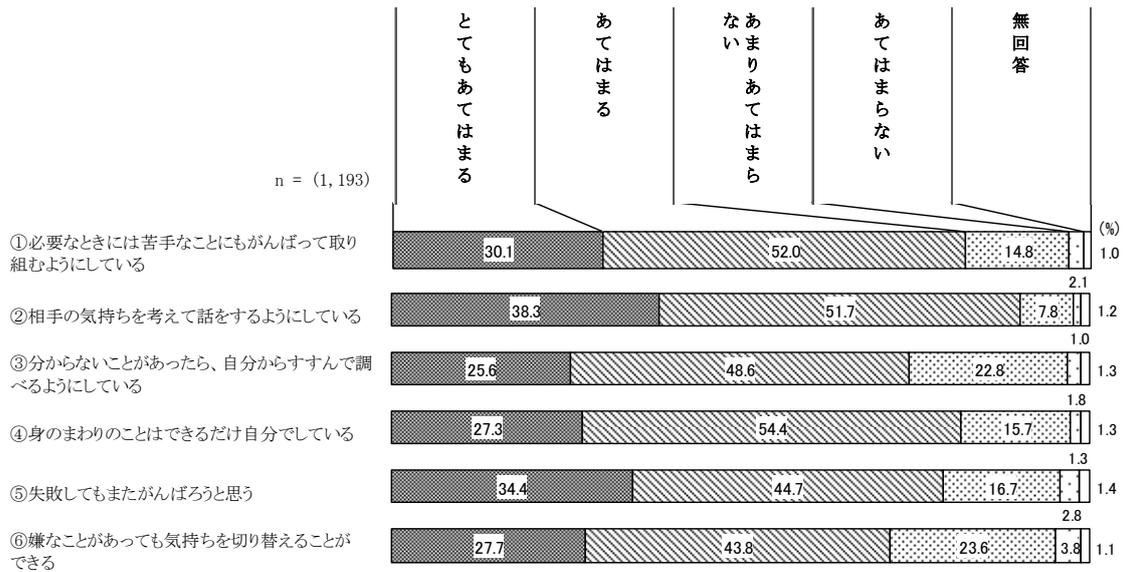
全体



小学5年生



中学2年生

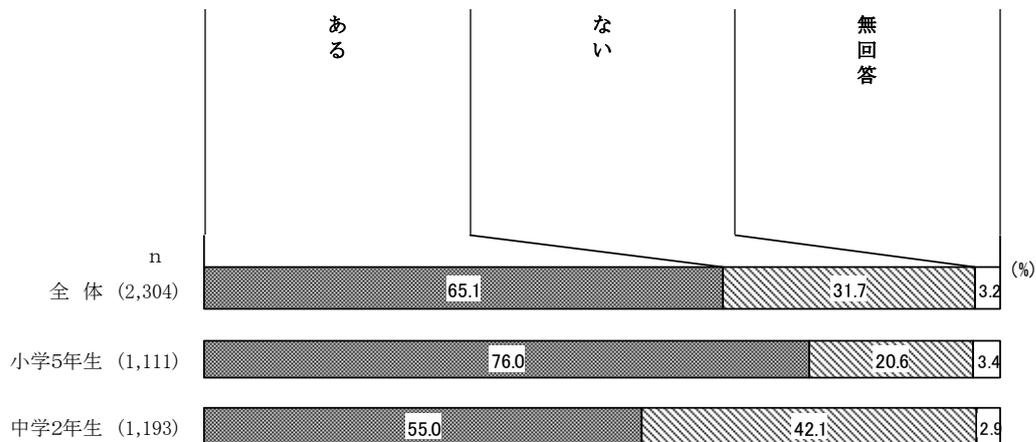


次のような行動にどの程度あてはまるかについて、全体ではいずれの項目も「とてもあてはまる」と「あてはまる」を合わせた《あてはまる》が多く、特に『①必要なときには苦手なことにもがんばって取り組むようにしている』（83.3%）、『②相手の気持ちを考えて話をするようにしている』（87.3%）、『④身のまわりのことはできるだけ自分でしている』（80.8%）、『⑤失敗してもまたがんばろうと思う』（81.5%）では8割以上を占めています。

中学2年生では『②相手の気持ちを考えて話をするようにしている』で《あてはまる》と答えた方は90.0%と、特に多くなっています。

(3) 将来の夢の有無

問 12 将来の夢はありますか。（○は1つ）



将来の夢の有無について、全体では「ある」が65.1%、「ない」が31.7%となっています。小学5年生では「ある」が76.0%であるのに対し、中学2年生は55.0%と約21ポイント低くなっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／将来の夢の有無】

(上段:件 下段:%)

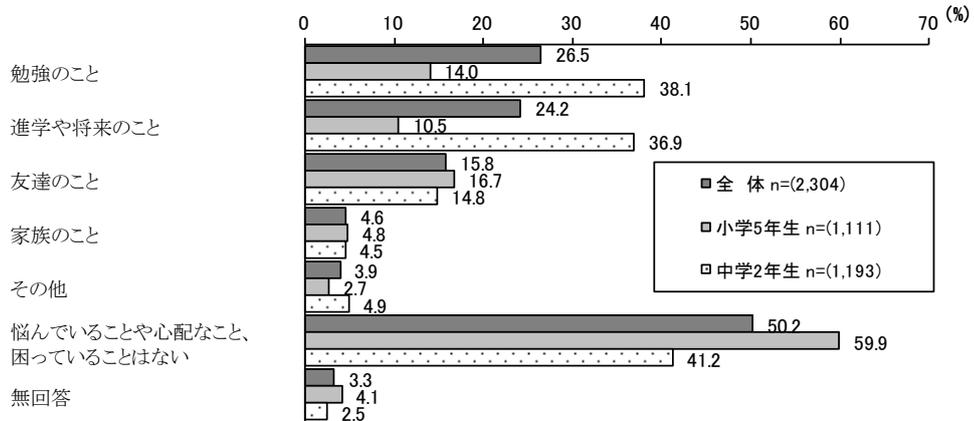
		調査数	ある	ない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	207 66.8	94 30.3	9 2.9
	祖父母等の同居なし	208 100.0	139 66.8	62 29.8	7 3.4
	祖父母等の同居あり	102 100.0	68 66.7	32 31.4	2 2.0
	ふたり親世帯	1,799 100.0	1,178 65.5	567 31.5	54 3.0
	共働き	1,366 100.0	902 66.0	419 30.7	45 3.3
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	276 63.7	148 34.2	9 2.1
生活困難度	生活困難層	462 100.0	289 62.6	161 34.8	12 2.6
	困窮層	182 100.0	117 64.3	58 31.9	7 3.8
	周辺層	280 100.0	172 61.4	103 36.8	5 1.8
	一般層	1,653 100.0	1,090 65.9	510 30.9	53 3.2

世帯タイプ別にみると、ふたり親世帯（どちらかのみ就労）では「ある」が他の世帯タイプと比べてやや少なくなっています。

生活困難度別にみると、困窮層・周辺層では「ある」が一般層と比べやや少なくなっています。

(4) 悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいこと

問 13 いま悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいことについて、全体では「悩んでいることや心配なこと、困っていることはない」が50.2%と約半数を占め、次いで「勉強のこと」(26.5%)、「進学や将来のこと」(24.2%)となっています。

中学2年生では、小学5年生に比べ「勉強のこと」(38.1%)が約24ポイント、「進学や将来のこと」(36.9%)が約26ポイント高く、一方で「悩んでいることや心配なこと、困っていることはない」(41.2%)は小学5年生に比べ約20ポイント低くなっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／

悩んでいることや心配なこと、困っていること、誰かに相談したいこと】

(上段:件 下段:%)

		調査数	勉強のこと	進学や将来のこと	友達のこと	家族のこと	その他	と悩んでいることや心配なことではない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	88	86	55	18	16	151	5
		100.0	28.4	27.7	17.7	5.8	5.2	48.7	1.6
	祖父母等の同居なし	208	61	56	36	9	11	100	5
		100.0	29.3	26.9	17.3	4.3	5.3	48.1	2.4
	祖父母等の同居あり	102	27	30	19	9	5	51	-
		100.0	26.5	29.4	18.6	8.8	4.9	50.0	-
ふたり親世帯		1,799	468	418	278	74	61	916	60
		100.0	26.0	23.2	15.5	4.1	3.4	50.9	3.3
	共働き	1,366	359	326	217	56	51	678	48
		100.0	26.3	23.9	15.9	4.1	3.7	49.6	3.5
父親または母親のどちらかのみ就労	433	109	92	61	18	10	238	12	
	100.0	25.2	21.2	14.1	4.2	2.3	55.0	2.8	
生活困難度	生活困難層	462	142	132	74	29	22	201	11
		100.0	30.7	28.6	16.0	6.3	4.8	43.5	2.4
	困窮層	182	57	51	30	15	7	84	4
		100.0	31.3	28.0	16.5	8.2	3.8	46.2	2.2
	周辺層	280	85	81	44	14	15	117	7
	100.0	30.4	28.9	15.7	5.0	5.4	41.8	2.5	
一般層	1,653	414	372	261	65	57	860	57	
	100.0	25.0	22.5	15.8	3.9	3.4	52.0	3.4	

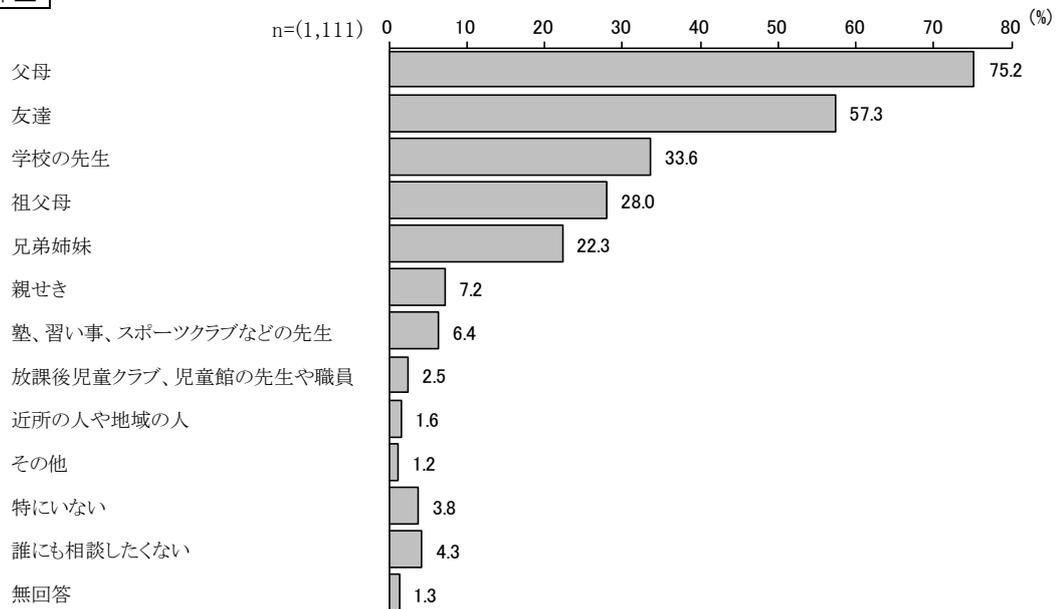
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）では、「悩んでいることや心配なこと、困っていることはない」を除いたすべての項目で、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ多くなっています。

生活困難度別にみると、困窮層・周辺層では、「悩んでいることや心配なこと、困っていることはない」を除いたほとんどの項目で、一般層に比べ多くなっています。

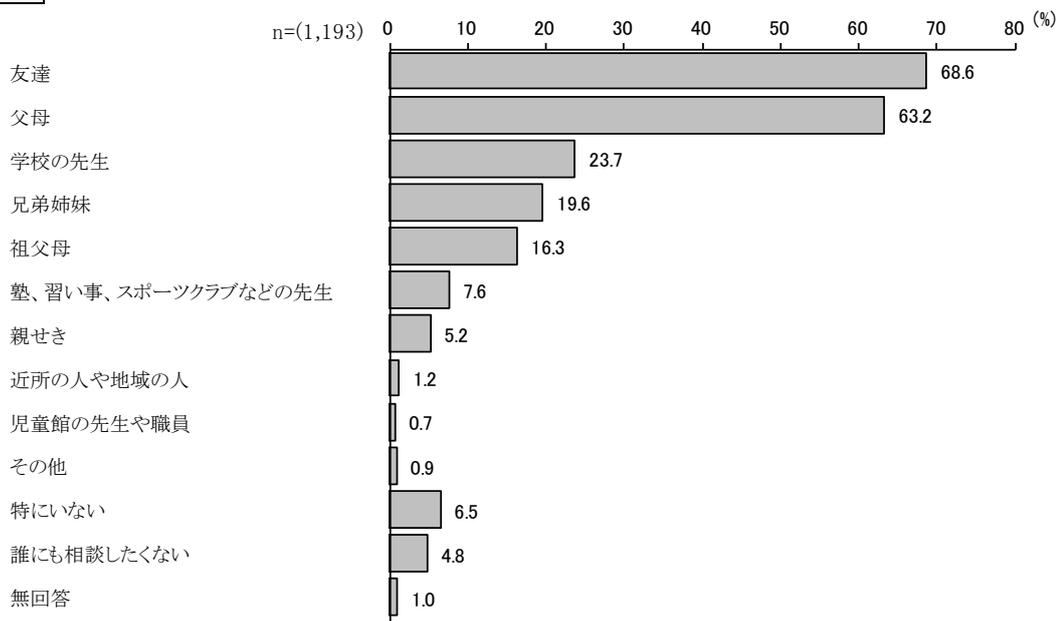
(5) 困った時に相談できる人

問 14 困った時に相談できる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

小学5年生



中学2年生



困ったときに相談できる人について、小学5年生では「父母」が75.2%と最も多く、次いで「友達」(57.3%)、「学校の先生」(33.6%)となっています。

中学2年生では「友達」が(68.6%)と最も多く、次いで「父母」(63.2%)、「学校の先生」(23.7%)となっています。

【子どもと関わる時間（平日）別／困った時に相談できる人（小学5年生）】

(上段:件 下段:%)

	調査数	父母	友達	学校の先生	祖父母	兄弟姉妹	親せき	塾、習い事、スポーツクラブなどの先生	塾、習い事、スポーツクラブ	放課後児童クラブ、児童館の先生や職員	近所の人や地域の人	その他	特にない	誰にも相談したくない	無回答
0～30分未満	88 100.0	60 68.2	42 47.7	23 26.1	18 20.5	20 22.7	3 3.4	4 4.5	2 2.3	- -	- -	3 3.4	10 11.4	2 2.3	
30分～1時間未満	278 100.0	207 74.5	166 59.7	95 34.2	82 29.5	56 20.1	18 6.5	20 7.2	6 2.2	7 2.5	2 0.7	11 4.0	8 2.9	3 1.1	
1～2時間未満	268 100.0	199 74.3	151 56.3	85 31.7	68 25.4	58 21.6	16 6.0	14 5.2	6 2.2	3 1.1	4 1.5	11 4.1	6 2.2	6 2.2	
2～3時間未満	171 100.0	129 75.4	92 53.8	54 31.6	49 28.7	40 23.4	13 7.6	9 5.3	5 2.9	3 1.8	1 0.6	9 5.3	10 5.8	1 0.6	
3～4時間未満	141 100.0	107 75.9	75 53.2	53 37.6	40 28.4	38 27.0	14 9.9	11 7.8	3 2.1	2 1.4	2 1.4	3 2.1	9 6.4	1 0.7	
4時間以上	126 100.0	104 82.5	86 68.3	45 35.7	45 35.7	25 19.8	13 10.3	9 7.1	3 2.4	3 2.4	1 0.8	4 3.2	3 2.4	1 0.8	

【子どもと関わる時間（平日）別／困った時に相談できる人（中学2年生）】

(上段:件 下段:%)

	調査数	友達	父母	学校の先生	兄弟姉妹	祖父母	親せき	塾、習い事、スポーツクラブなどの先生	塾、習い事、スポーツクラブ	近所の人や地域の人	児童館の先生や職員	その他	特にない	誰にも相談したくない	無回答
0～30分未満	181 100.0	118 65.2	100 55.2	30 16.6	33 18.2	23 12.7	7 3.9	8 4.4	2 1.1	- -	3 1.7	17 9.4	10 5.5	- -	
30分～1時間未満	342 100.0	241 70.5	209 61.1	83 24.3	66 19.3	59 17.3	28 8.2	14 4.1	6 1.8	3 0.9	4 1.2	19 5.6	12 3.5	5 1.5	
1～2時間未満	299 100.0	203 67.9	199 66.6	76 25.4	52 17.4	48 16.1	29 9.7	21 7.0	4 1.3	3 1.0	1 0.3	18 6.0	16 5.4	3 1.0	
2～3時間未満	130 100.0	95 73.1	87 66.9	38 29.2	29 22.3	25 19.2	11 8.5	9 6.9	2 1.5	2 1.5	1 0.8	6 4.6	8 6.2	- -	
3～4時間未満	76 100.0	50 65.8	49 64.5	16 21.1	16 21.1	8 10.5	4 5.3	2 2.6	- -	- -	- -	7 9.2	3 3.9	- -	
4時間以上	57 100.0	39 68.4	42 73.7	11 19.3	14 24.6	10 17.5	2 3.5	1 1.8	- -	- -	1 1.8	3 5.3	2 3.5	1 1.8	

困った時に相談できる人について子どもと関わる時間（平日）別にみると、小学5年生では時間が長いほど「父母」が多い傾向にあり、『4時間以上』では約8割となっています。

中学2年生でも概ね同様の傾向となっており、「父母」は『4時間以上』では約7割となっています。

【子どもと関わる時間（休日）別／困った時に相談できる人（小学5年生）】

	調査数	(上段:件 下段:%)												
		父母	友達	学校の先生	祖父母	兄弟姉妹	親せき	塾、習い事、スポーツクラブなどの先生	近所の人や地域の人の先生や職員	児童館の先生や職員	近所の人や地域の人の先生や職員	その他	特にな	誰にも相談したくない
2時間未満	167 100.0	121 72.5	93 55.7	57 34.1	47 28.1	32 19.2	11 6.6	10 6.0	4 2.4	2 1.2	2 1.2	5 3.0	10 6.0	1 0.6
2～4時間未満	250 100.0	178 71.2	128 51.2	70 28.0	59 23.6	65 26.0	13 5.2	14 5.6	4 1.6	3 1.2	1 0.4	10 4.0	13 5.2	6 2.4
4～6時間未満	240 100.0	181 75.4	141 58.8	72 30.0	56 23.3	39 16.3	20 8.3	13 5.4	5 2.1	5 2.1	2 0.8	7 2.9	7 2.9	3 1.3
6～8時間未満	131 100.0	96 73.3	79 60.3	43 32.8	37 28.2	29 22.1	9 6.9	5 3.8	4 3.1	3 2.3	1 0.8	5 3.8	9 6.9	2 1.5
8～10時間未満	117 100.0	92 78.6	70 59.8	48 41.0	37 31.6	33 28.2	12 10.3	10 8.5	4 3.4	-	2 1.7	7 6.0	4 3.4	1 0.9
10時間以上	167 100.0	138 82.6	101 60.5	65 38.9	66 39.5	39 23.4	12 7.2	15 9.0	4 2.4	5 3.0	2 1.2	7 4.2	3 1.8	1 0.6

【子どもと関わる時間（休日）別／困った時に相談できる人（中学2年生）】

	調査数	(上段:件 下段:%)												
		友達	父母	学校の先生	兄弟姉妹	祖父母	塾、習い事、スポーツクラブなどの先生	親せき	近所の人や地域の人の先生や職員	児童館の先生や職員	その他	特にな	誰にも相談したくない	無回答
2時間未満	333 100.0	215 64.6	193 58.0	70 21.0	58 17.4	35 10.5	18 5.4	11 3.3	6 1.8	3 0.9	5 1.5	28 8.4	18 5.4	2 0.6
2～4時間未満	360 100.0	257 71.4	223 61.9	90 25.0	73 20.3	64 17.8	32 8.9	16 4.4	4 1.1	2 0.6	3 0.8	26 7.2	16 4.4	4 1.1
4～6時間未満	187 100.0	122 65.2	130 69.5	45 24.1	31 16.6	37 19.8	16 8.6	11 5.9	3 1.6	2 1.1	-	5 2.7	13 7.0	-
6～8時間未満	76 100.0	60 78.9	50 65.8	19 25.0	18 23.7	10 13.2	5 6.6	8 10.5	1 1.3	1 1.3	1 1.3	4 5.3	1 1.3	-
8～10時間未満	59 100.0	43 72.9	40 67.8	17 28.8	15 25.4	13 22.0	5 8.5	3 5.1	-	-	-	4 6.8	2 3.4	-
10時間以上	69 100.0	48 69.6	50 72.5	13 18.8	15 21.7	14 20.3	5 7.2	6 8.7	-	-	1 1.4	3 4.3	1 1.4	3 4.3

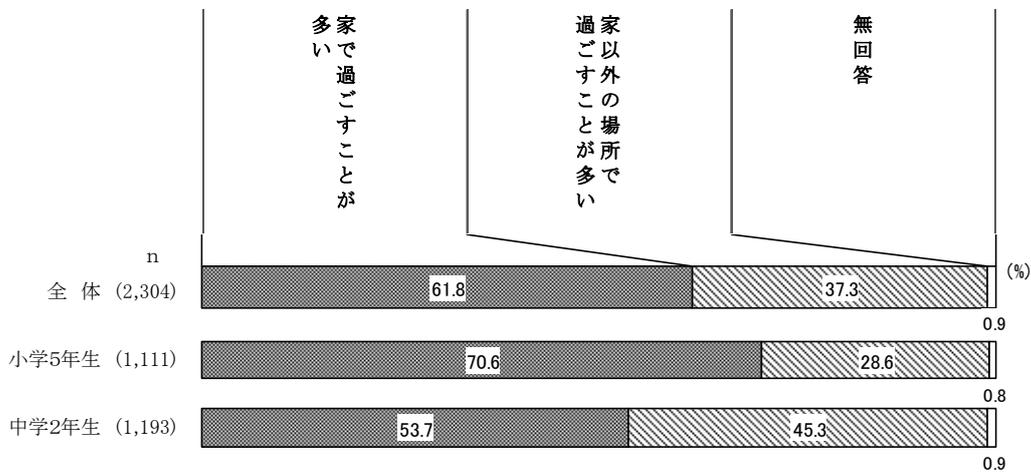
困った時に相談できる人について子どもと関わる時間（休日）別にみると、小学5年生では時間が長いほど「父母」が多い傾向にあり、『10時間以上』では約8割となっています。

中学2年生でも概ね同様の傾向となっており、「父母」は『10時間以上』では約7割となっています。

5. 放課後の過ごし方について

(1) 授業が終わったあと過ごす場所

問 15 学校の授業が終わったあと、家で過ごしますか。(○は1つ)



学校の授業が終わったあと過ごす場所について、全体では「家で過ごすことが多い」が61.8%、「家以外の場所で過ごすことが多い」が37.3%となっています。

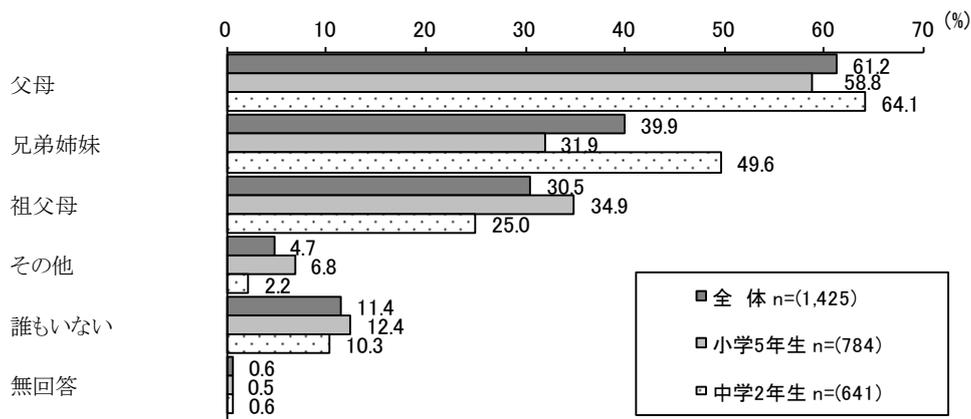
小学5年生では「家で過ごすことが多い」が70.6%であるのに対し、中学2年生は53.7%と約17ポイント低くなっています。

(2) 家に帰った時にいる人

【〔5 (1) 授業が終わったあと過ごす場所〕で、「家で過ごすことが多い」を選択した方のみ】

問 15-1 学校の授業が終わって、家に帰った時、家には誰かいますか。

(あてはまるものすべてに○)



家に帰った時にいる人について、全体では「父母」が61.2%と最も多く、次いで「兄弟姉妹」(39.9%)、「祖父母」(30.5%)となっています。

小学5年生では「兄弟姉妹」が31.9%であるのに対し、中学2年生は49.6%と約20ポイント高くなっています。

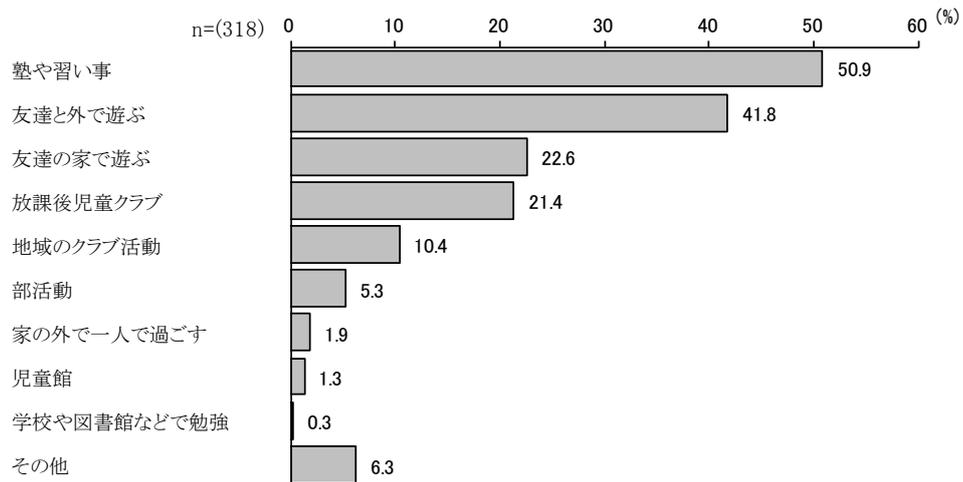
(3) 家以外の場所での過ごし方

【〔5 (1) 授業が終わったあと過ごす場所〕で、「家以外の場所で過ごすことが多い」を選択した方のみ】

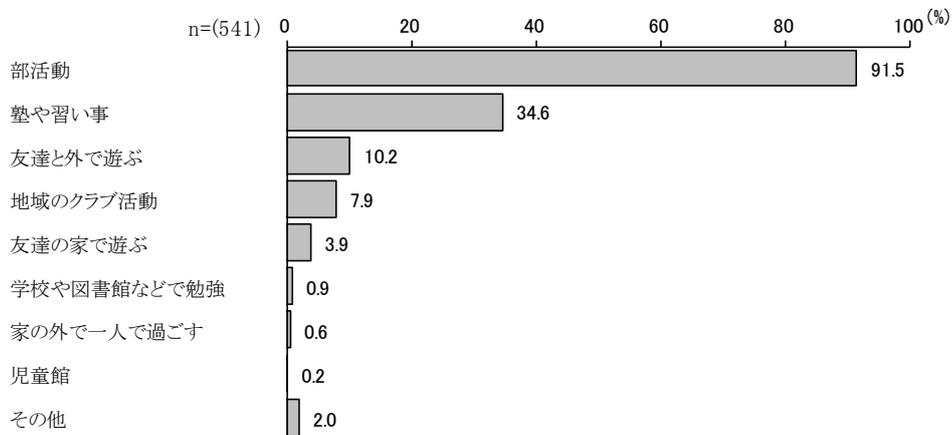
問 15-2 学校が終わったあと、どのように過ごすことが多いですか。

(あてはまるものすべてに○)

小学5年生



中学2年生



家以外の場所での過ごし方について、小学5年生では「塾や習い事」が50.9%と最も多く、次いで「友達と外で遊ぶ」(41.8%)、「友達の家で遊ぶ」(22.6%)となっています。

中学2年生では「部活動」が91.5%と最も多く、次いで「塾や習い事」(34.6%)、「友達と外で遊ぶ」(10.2%)となっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／家以外の場所での過ごし方（小学5年生）】

		(上段:件 下段:%)											
		調査数	塾や習い事	友達と外で遊ぶ	友達の家で遊ぶ	放課後児童クラブ	地域のクラブ活動	部活動	家の外で一人で過ごす	児童館	学校や図書館などで勉強	無回答	
世帯タイプ	ひとり親世帯	37 100.0	14 37.8	14 37.8	7 18.9	13 35.1	4 10.8	1 2.7	-	-	1 2.7	3 8.1	
	祖父母等の同居なし	25 100.0	8 32.0	11 44.0	5 20.0	9 36.0	-	1 4.0	-	-	1 4.0	2 8.0	
	祖父母等の同居あり	12 100.0	6 50.0	3 25.0	2 16.7	4 33.3	4 33.3	-	-	-	-	1 8.3	
	ふたり親世帯	263 100.0	139 52.9	113 43.0	60 22.8	52 19.8	26 9.9	14 5.3	6 2.3	4 1.5	-	16 6.1	
	共働き	208 100.0	105 50.5	83 39.9	41 19.7	51 24.5	23 11.1	12 5.8	4 1.9	4 1.9	-	14 6.7	
	父親または母親のどちらかのみ就労	55 100.0	34 61.8	30 54.5	19 34.5	1 1.8	3 5.5	2 3.6	2 3.6	-	-	2 3.6	
生活困難度	生活困難層	59 100.0	24 40.7	24 40.7	18 30.5	14 23.7	5 8.5	4 6.8	3 5.1	-	-	1 1.7	3 5.1
	困窮層	24 100.0	7 29.2	9 37.5	8 33.3	6 25.0	3 12.5	3 12.5	1 4.2	-	1 4.2	2 8.3	
	周辺層	35 100.0	17 48.6	15 42.9	10 28.6	8 22.9	2 5.7	1 2.9	2 5.7	-	-	1 2.9	
	一般層	248 100.0	133 53.6	104 41.9	52 21.0	51 20.6	26 10.5	12 4.8	3 1.2	4 1.6	-	16 6.5	

小学5年生について世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし・あり）では「放課後児童クラブ」が3割以上と、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ多くなっています。また、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）では「塾や習い事」が他の世帯タイプに比べ少なく、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）及びふたり親世帯（どちらかのみ就労）では「友達と外で遊ぶ」が他の世帯タイプに比べ多くなっています。

小学5年生について生活困難度別にみると、困窮層では「塾や習い事」が他の生活困難度比べ少なくなっている一方、「部活動」は他の生活困難度比べ多くなっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／家以外の場所での過ごし方（中学2年生）】

(上段:件 下段:%)

		調査数	部活動	塾や習い事	友達と外で遊ぶ	地域のクラブ活動	友達の家で遊ぶ	学校や図書館などで勉強	家の外で一人で過ごす	児童館	その他
世帯タイプ	ひとり親世帯	69 100.0	64 92.8	18 26.1	10 14.5	4 5.8	3 4.3	- -	1 1.4	- -	2 2.9
	祖父母等の同居なし	44 100.0	39 88.6	12 27.3	8 18.2	3 6.8	2 4.5	- -	- -	- -	2 4.5
	祖父母等の同居あり	25 100.0	25 100.0	6 24.0	2 8.0	1 4.0	1 4.0	- -	1 4.0	- -	- -
	ふたり親世帯	421 100.0	387 91.9	151 35.9	38 9.0	33 7.8	16 3.8	5 1.2	2 0.5	- -	7 1.7
	共働き	332 100.0	305 91.9	119 35.8	29 8.7	26 7.8	12 3.6	5 1.5	2 0.6	- -	7 2.1
	父親または母親のどちらかのみ就労	89 100.0	82 92.1	32 36.0	9 10.1	7 7.9	4 4.5	- -	- -	- -	- -
生活困難度	生活困難層	105 100.0	93 88.6	25 23.8	15 14.3	9 8.6	6 5.7	2 1.9	1 1.0	- -	4 3.8
	困窮層	40 100.0	38 95.0	8 20.0	5 12.5	4 10.0	2 5.0	1 2.5	- -	- -	2 5.0
	周辺層	65 100.0	55 84.6	17 26.2	10 15.4	5 7.7	4 6.2	1 1.5	1 1.5	- -	2 3.1
	一般層	376 100.0	351 93.4	137 36.4	34 9.0	26 6.9	14 3.7	3 0.8	2 0.5	1 0.3	3 0.8

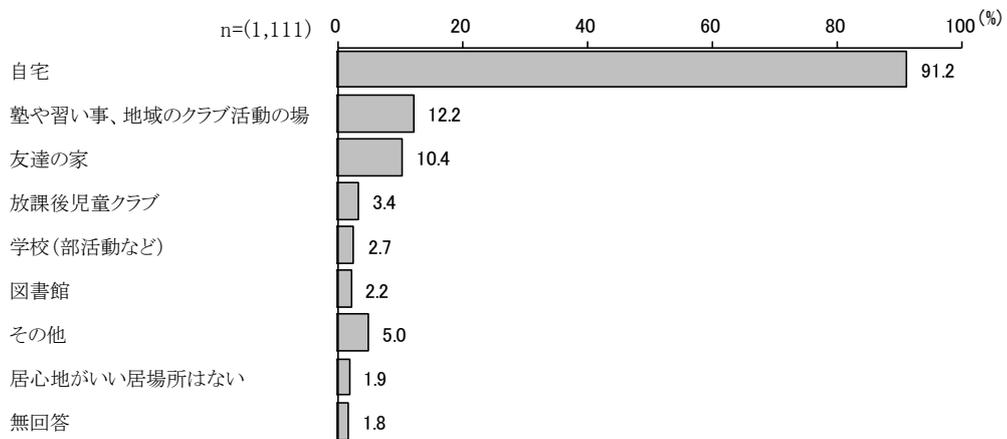
中学2年生について世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居あり・なし）では「塾や習い事」が2割半ばと、ふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ少なくなっています。また、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）では「友達と外で遊ぶ」が2割弱と、他の世帯タイプに比べ多くなっています。

中学2年生について生活困難度別にみると、困窮層では「塾や習い事」が他の生活困難度に比べ少なくなっており、特に一般層と比較すると約16ポイントの差が生じています。

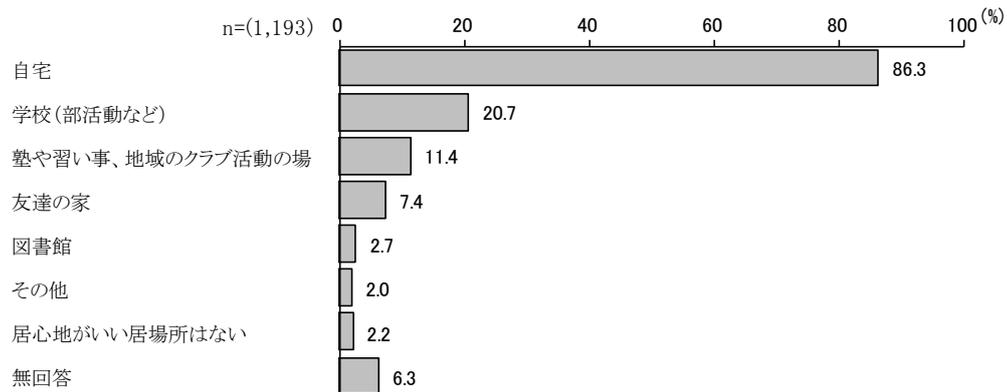
(4) 学校が終わってから過ごすことがある場所の中で居心地がいい場所

問 16 学校が終わってから過ごすことがある場所の中で、居心地がいい居場所はどこですか。
(あてはまるものすべてに○)

小学5年生



中学2年生



学校が終わってから過ごすことがある場所の中で居心地がいい場所について、小学5年生では「自宅」が91.2%と最も多く、次いで「塾や習い事、地域のクラブ活動の場」(12.2%)、「友達の家」(10.4%)となっています。

中学2年生では「自宅」が86.3%と最も多く、次いで「学校(部活動など)」(20.7%)、「塾や習い事、地域のクラブ活動の場」(11.4%)となっています。

【子どもと関わる時間（平日）別／

学校が終わってから過ごすことがある場所の中で居心地がいい場所（小学5年生）】

	調査数	自宅	塾や習い事、地域のクラブ活動の場	友達の家	放課後児童クラブ	学校（部活動など）	図書館	その他	（上段:件 下段:%）	
									居心地がいい居場所はない	無回答
0～30分未満	88	79	9	10	2	1	1	2	2	2
	100.0	89.8	10.2	11.4	2.3	1.1	1.1	2.3	2.3	2.3
30分～1時間未満	278	254	32	25	13	13	4	11	5	5
	100.0	91.4	11.5	9.0	4.7	4.7	1.4	4.0	1.8	1.8
1～2時間未満	268	240	36	28	9	7	6	15	6	6
	100.0	89.6	13.4	10.4	3.4	2.6	2.2	5.6	2.2	2.2
2～3時間未満	171	155	24	17	8	3	6	12	-	4
	100.0	90.6	14.0	9.9	4.7	1.8	3.5	7.0	-	2.3
3～4時間未満	141	131	17	16	4	2	3	7	3	2
	100.0	92.9	12.1	11.3	2.8	1.4	2.1	5.0	2.1	1.4
4時間以上	126	121	14	16	-	4	4	5	3	1
	100.0	96.0	11.1	12.7	-	3.2	3.2	4.0	2.4	0.8

【子どもと関わる時間（平日）別／

学校が終わってから過ごすことがある場所の中で居心地がいい場所（中学2年生）】

	調査数	自宅	学校（部活動など）	塾や習い事、地域のクラブ活動の場	友達の家	図書館	その他	（上段:件 下段:%）	
								居心地がいい居場所はない	無回答
0～30分未満	181	152	40	20	11	5	1	5	7
	100.0	84.0	22.1	11.0	6.1	2.8	0.6	2.8	3.9
30分～1時間未満	342	285	72	41	33	10	10	9	30
	100.0	83.3	21.1	12.0	9.6	2.9	2.9	2.6	8.8
1～2時間未満	299	265	65	36	19	4	6	4	17
	100.0	88.6	21.7	12.0	6.4	1.3	2.0	1.3	5.7
2～3時間未満	130	115	31	13	12	7	4	2	7
	100.0	88.5	23.8	10.0	9.2	5.4	3.1	1.5	5.4
3～4時間未満	76	69	14	7	3	1	2	1	3
	100.0	90.8	18.4	9.2	3.9	1.3	2.6	1.3	3.9
4時間以上	57	54	10	8	2	2	-	2	1
	100.0	94.7	17.5	14.0	3.5	3.5	-	3.5	1.8

学校が終わってから過ごすことがある場所の中で居心地がいい場所について子どもと関わる時間（平日）別にみると、小学5年生では時間が長いほど「自宅」が多い傾向にあり、『4時間以上』では9割半ばを占めています。

中学2年生では時間が長いほど「自宅」が多い傾向にあり、『4時間以上』では9割半ばを占めている一方、「部活動」は『3～4時間未満』、『4時間以上』で2割未満と、他の時間に比べやや少なくなっています。

【子どもと関わる時間（休日）別／

学校が終わってから過ごすことがある場所の中で居心地がいい場所（小学5年生）】

	(上段:件 下段:%)									
	調査数	自宅	塾や習い事、地域のクラブ活動の場	友達の家	放課後児童クラブ	学校（部活動など）	図書館	その他	居心地がいい居場所はない	無回答
2時間未満	167 100.0	146 87.4	20 12.0	27 16.2	3 1.8	5 3.0	2 1.2	7 4.2	3 1.8	4 2.4
2～4時間未満	250 100.0	231 92.4	29 11.6	18 7.2	11 4.4	5 2.0	4 1.6	9 3.6	5 2.0	4 1.6
4～6時間未満	240 100.0	224 93.3	30 12.5	25 10.4	6 2.5	8 3.3	5 2.1	13 5.4	4 1.7	3 1.3
6～8時間未満	131 100.0	121 92.4	14 10.7	13 9.9	7 5.3	4 3.1	5 3.8	7 5.3	2 1.5	4 3.1
8～10時間未満	117 100.0	106 90.6	17 14.5	14 12.0	4 3.4	5 4.3	4 3.4	10 8.5	2 1.7	3 2.6
10時間以上	167 100.0	152 91.0	22 13.2	15 9.0	5 3.0	3 1.8	4 2.4	6 3.6	3 1.8	2 1.2

【子どもと関わる時間（休日）別／

学校が終わってから過ごすことがある場所の中で居心地がいい場所（中学2年生）】

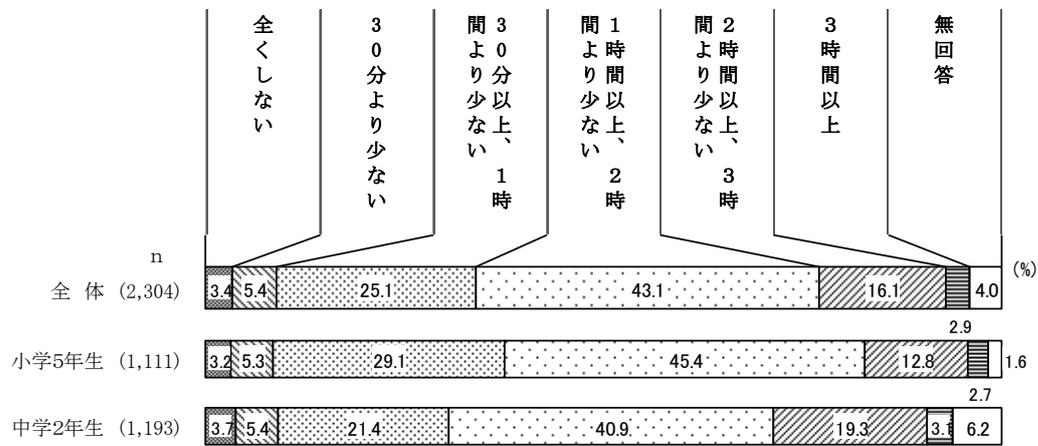
	(上段:件 下段:%)									
	調査数	自宅	学校（部活動など）	塾や習い事、地域のクラブ活動の場	友達の家	図書館	その他	居心地がいい居場所はない	無回答	
2時間未満	333 100.0	279 83.8	57 17.1	26 7.8	24 7.2	8 2.4	6 1.8	8 2.4	25 7.5	
2～4時間未満	360 100.0	311 86.4	86 23.9	53 14.7	27 7.5	10 2.8	5 1.4	8 2.2	24 6.7	
4～6時間未満	187 100.0	162 86.6	43 23.0	20 10.7	16 8.6	5 2.7	4 2.1	4 2.1	10 5.3	
6～8時間未満	76 100.0	69 90.8	15 19.7	7 9.2	4 5.3	1 1.3	4 5.3	3 3.9	2 2.6	
8～10時間未満	59 100.0	58 98.3	18 30.5	9 15.3	6 10.2	2 3.4	1 1.7	-	-	
10時間以上	69 100.0	60 87.0	12 17.4	10 14.5	3 4.3	3 4.3	3 4.3	-	4 5.8	

小学5年生の学校が終わってから過ごすことがある場所の中で居心地がいい場所については、子どもと関わる時間（休日）別での特徴的な差はみられませんでした。

中学2年生では『2時間未満』から『8～10時間未満』にかけて時間が長いほど「自宅」が多い傾向にあり、『6～8時間未満』、『8～10時間未満』では9割以上を占めています。

(5) 学校の授業以外での1日あたりの勉強時間

問 17 学校の授業以外での勉強時間（塾などの時間も含む）は、1日あたりどのくらいですか。（○は1つ）



学校の授業以外での1日あたりの勉強時間について、全体では「1時間以上、2時間より少ない」が43.1%と最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が25.1%となっており、小学5年生、中学2年生ともに、概ね同様の傾向となっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／学校の授業以外での1日あたりの勉強時間】

(上段:件 下段:%)

		調査数	全くしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	23	23	76	118	43	7	20
		100.0	7.4	7.4	24.5	38.1	13.9	2.3	6.5
	祖父母等の同居なし	208	18	18	49	75	28	3	17
		100.0	8.7	8.7	23.6	36.1	13.5	1.4	8.2
	祖父母等の同居あり	102	5	5	27	43	15	4	3
		100.0	4.9	4.9	26.5	42.2	14.7	3.9	2.9
	ふたり親世帯	1,799	46	90	463	788	301	50	61
	100.0	2.6	5.0	25.7	43.8	16.7	2.8	3.4	
生活困難度	生活困難層	462	36	30	137	163	60	15	21
		100.0	7.8	6.5	29.7	35.3	13.0	3.2	4.5
	困窮層	182	19	15	52	50	26	9	11
		100.0	10.4	8.2	28.6	27.5	14.3	4.9	6.0
	周辺層	280	17	15	85	113	34	6	10
		100.0	6.1	5.4	30.4	40.4	12.1	2.1	3.6
	一般層	1,653	38	82	404	760	270	42	57
	100.0	2.3	5.0	24.4	46.0	16.3	2.5	3.4	

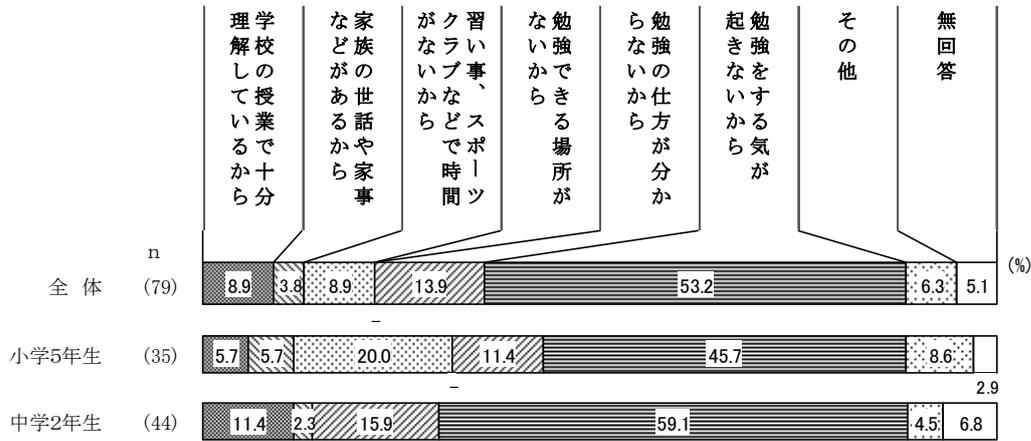
世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居なし）では「全くしない」や「30分より少ない」が他の世帯タイプに比べ多く、勉強時間が短い傾向があることがうかがえます。

生活困難度別にみると、困窮層・周辺層では「全くしない」や「30分より少ない」、「30分以上、1時間より少ない」が一般層に比べ多く、生活困難層の勉強時間が短い傾向があることがうかがえます。

(6) 学校の授業以外で勉強を全くしない理由

【〔5 (5) 学校の授業以外での1日あたりの勉強時間〕で、「全くしない」を選択した方のみ】

問 17-1 学校の授業以外で勉強を全くしない理由は何ですか。(○は1つ)



学校の授業以外で勉強を全くしない理由について、全体では「勉強をする気が起きないから」が53.2%と約半数を占め、次いで「勉強の仕方がわからないから」(13.9%)、「学校の授業で十分理解しているから」、「習い事、スポーツクラブなどで時間がないから」(ともに8.9%)となっています。

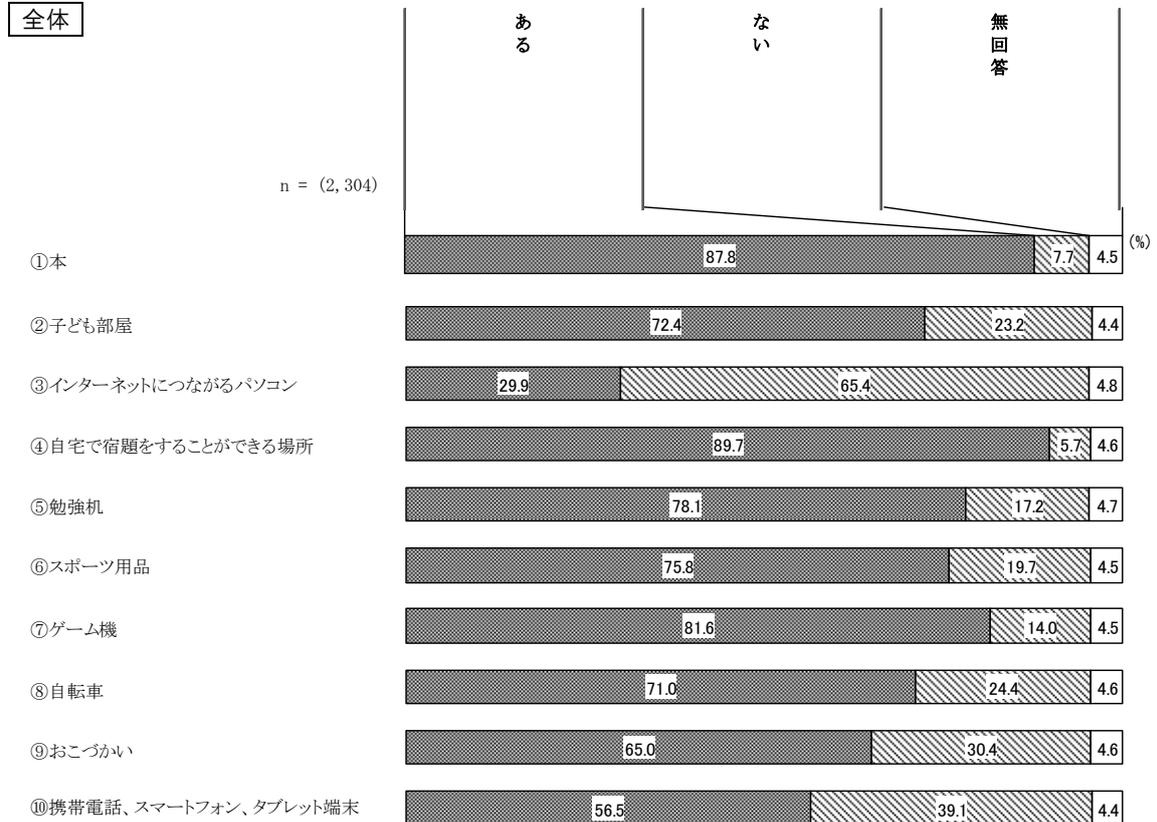
小学5年生では「習い事、スポーツクラブなどで時間がないから」が20.0%であるのに対し、中学2年生では回答がありませんでした。また、小学5年生では「勉強をする気が起きないから」が45.7%であるのに対し、中学2年生が59.1%と約13ポイント高くなっています。

6. 生活状況について

(1) 次の物品を持っているかどうか、欲しいかどうか

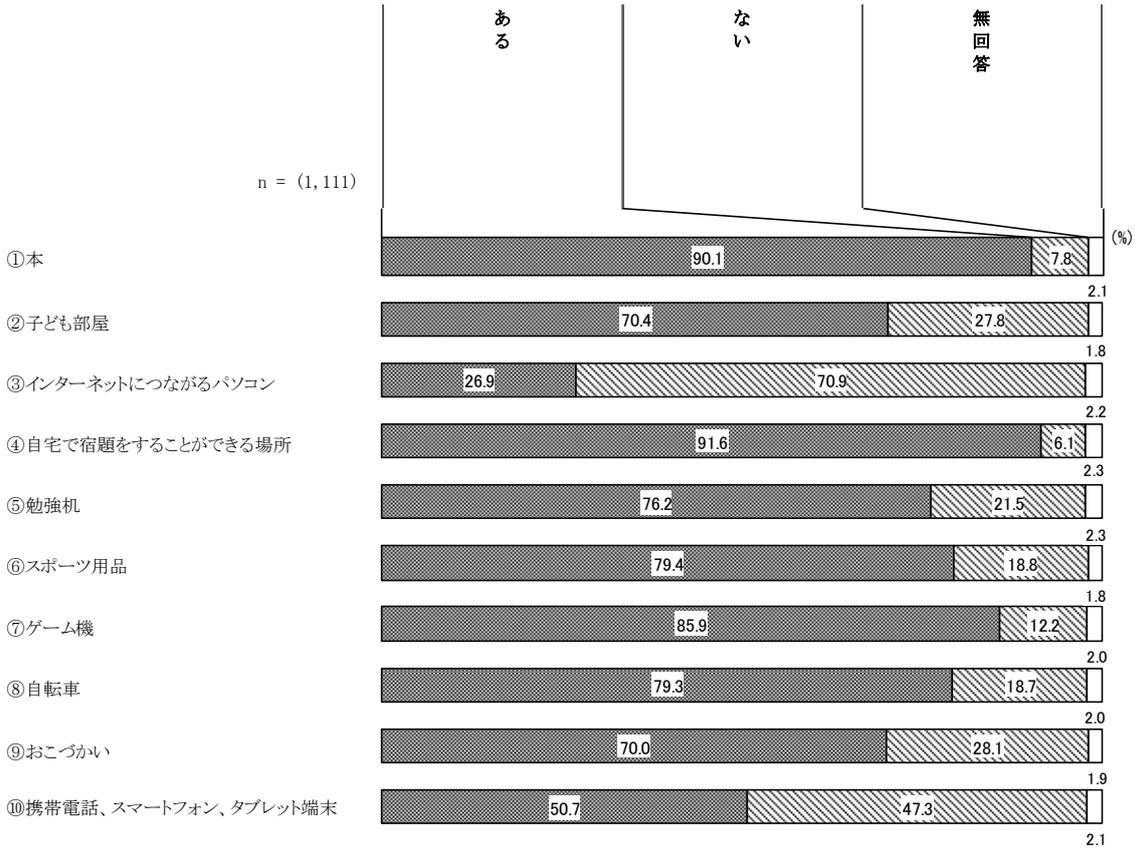
問 18 自分が使うことができる、次のものを持っていますか。また、持っていない場合、それは欲しいですか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

【次の物品を持っているかどうか】



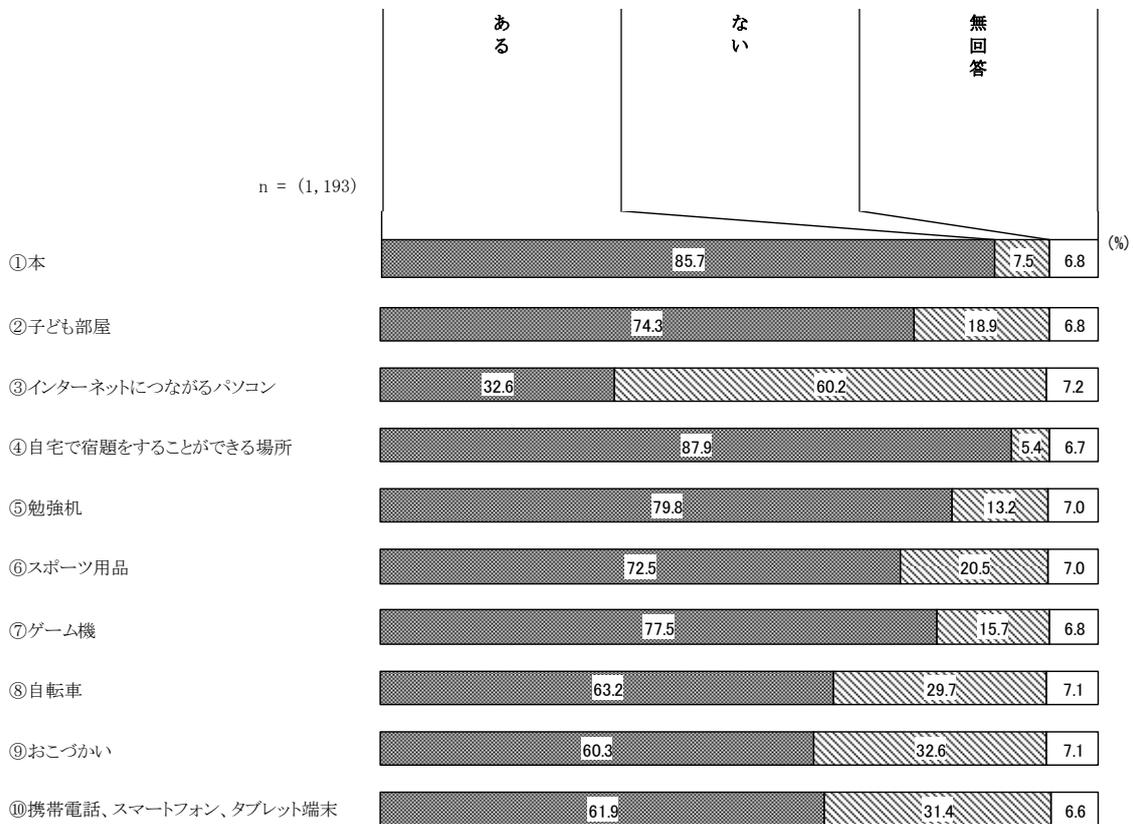
小学5年生

n = (1,111)



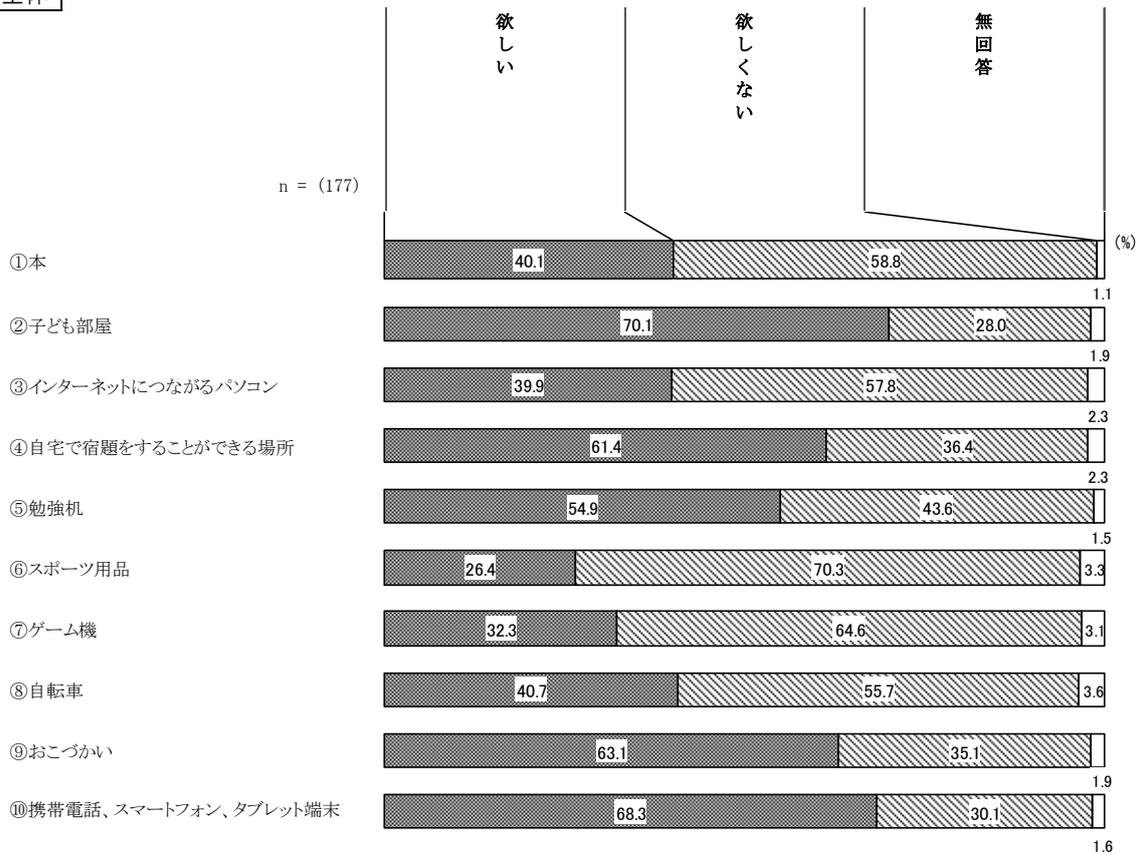
中学2年生

n = (1,193)

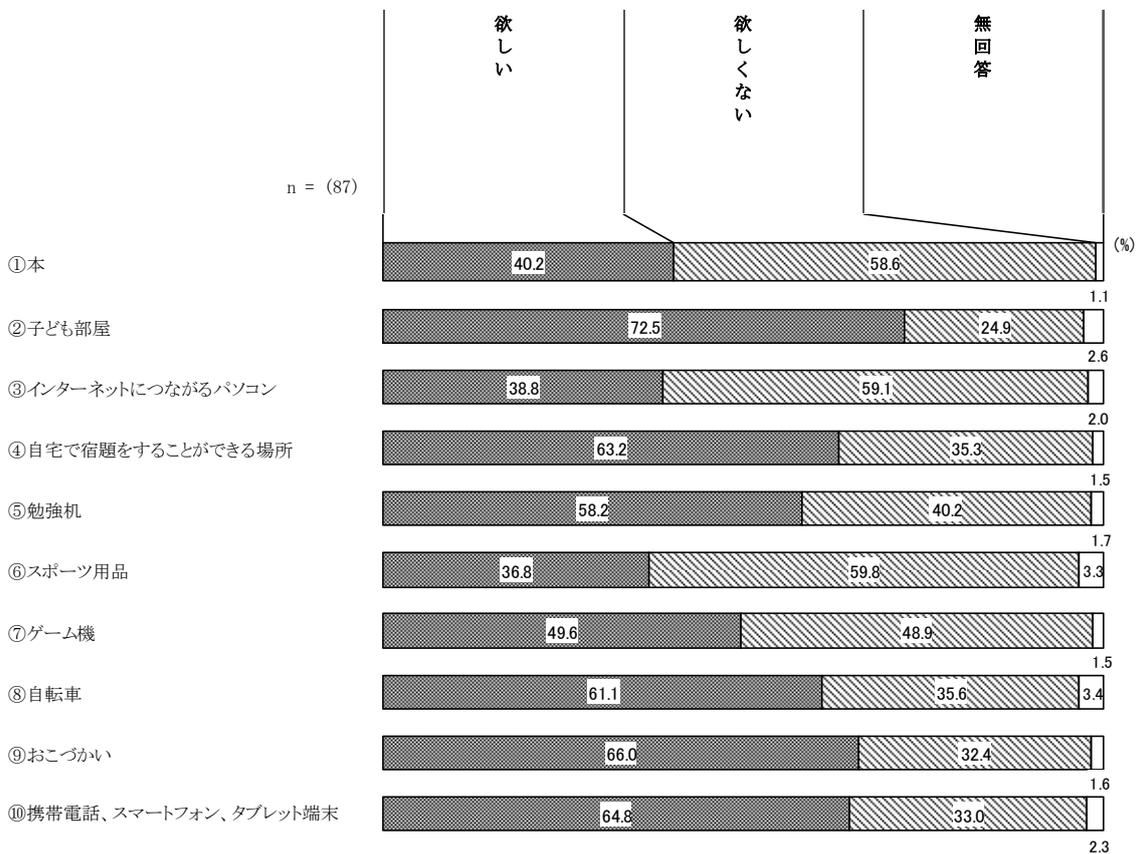


【次の物品を欲しいかどうか】

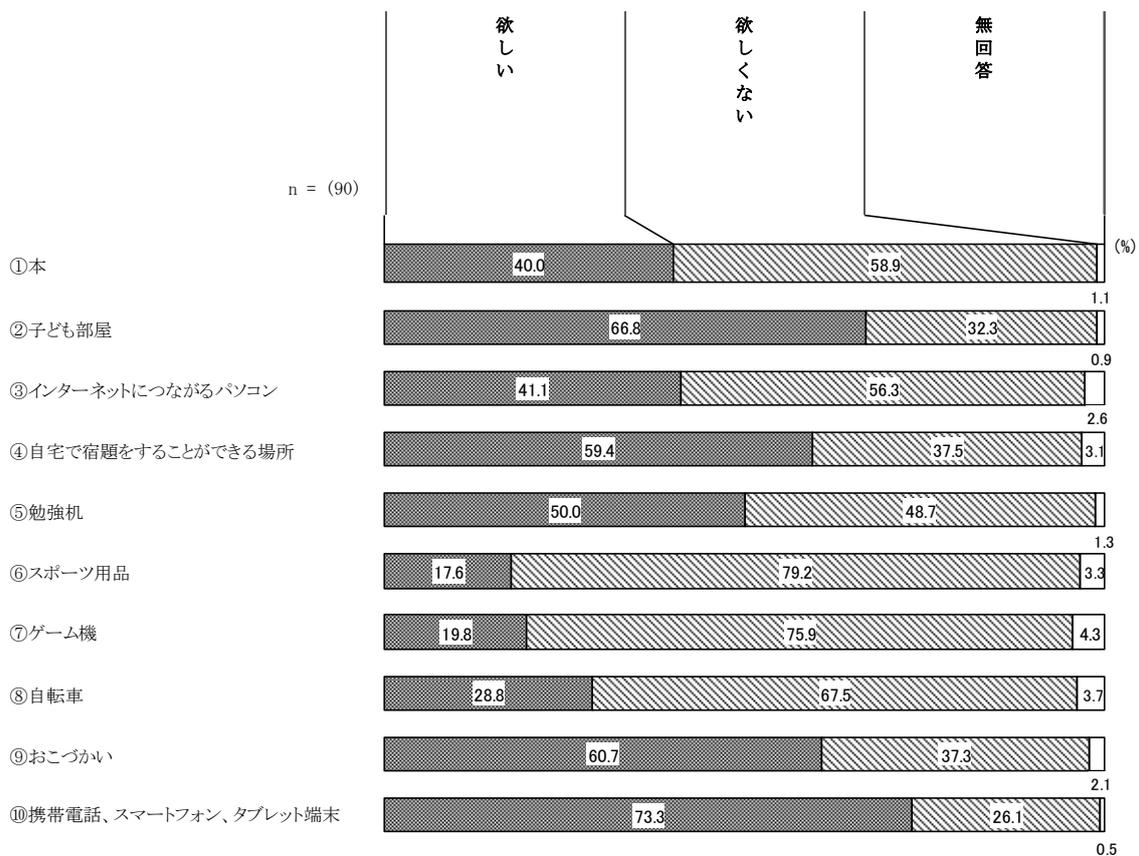
全体



小学5年生



中学2年生



次の物品を持っているかどうかについて、全体では「ある」が『③インターネットにつながるパソコン』以外の項目で半数以上を占め、特に『①本』（87.8%）、『④自宅で宿題をすることができる場所』（89.7%）では約9割を占めています。

小学5年生では『⑧自転車』を「ある」と答えた方は79.3%であるのに対し、中学2年生では63.2%と約16ポイント低くなっています。中学2年生では『⑩携帯電話、スマートフォン、タブレット端末』を「ある」と答えた方は61.9%であるのに対し、小学5年生では50.7%と、約11ポイント低くなっています。

次の物品を欲しいかどうかについて、全体では「欲しい」が『②子ども部屋』（70.1%）、『⑩携帯電話、スマートフォン、タブレット端末』（68.3%）の項目で多く、約7割を占めています。

小学5年生では『⑥スポーツ用品』を「欲しい」と答えた方は36.8%、『⑦ゲーム機』を「欲しい」と答えた方は49.6%であるのに対し、中学2年生では17.6%、19.8%と、それぞれ約19ポイント、約30ポイント低くなっています。

【世帯タイプ別・生活困難度別／次の物品を持っているかどうか】

①本

		(上段:件 下段:%)			
		調査数	ある	ない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	255	34	21
		100.0	82.3	11.0	6.8
	祖父母等の同居なし	208	168	24	16
		100.0	80.8	11.5	7.7
	祖父母等の同居あり	102	87	10	5
		100.0	85.3	9.8	4.9
ふたり親世帯	ふたり親世帯	1,799	1,606	123	70
		100.0	89.3	6.8	3.9
	共働き	1,366	1,221	92	53
		100.0	89.4	6.7	3.9
父親または母親のどちらかのみ就労	433	385	31	17	
	100.0	88.9	7.2	3.9	
生活困難度	生活困難層	462	379	57	26
		100.0	82.0	12.3	5.6
	困窮層	182	146	26	10
		100.0	80.2	14.3	5.5
	周辺層	280	233	31	16
	100.0	83.2	11.1	5.7	
一般層	1,653	1,488	102	63	
	100.0	90.0	6.2	3.8	

②子ども部屋

		(上段:件 下段:%)			
		調査数	ある	ない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	182	108	20
		100.0	58.7	34.8	6.5
	祖父母等の同居なし	208	130	62	16
		100.0	62.5	29.8	7.7
	祖父母等の同居あり	102	52	46	4
		100.0	51.0	45.1	3.9
ふたり親世帯	ふたり親世帯	1,799	1,351	381	67
		100.0	75.1	21.2	3.7
	共働き	1,366	1,027	289	50
		100.0	75.2	21.2	3.7
父親または母親のどちらかのみ就労	433	324	92	17	
	100.0	74.8	21.2	3.9	
生活困難度	生活困難層	462	289	149	24
		100.0	62.6	32.3	5.2
	困窮層	182	110	62	10
		100.0	60.4	34.1	5.5
	周辺層	280	179	87	14
	100.0	63.9	31.1	5.0	
一般層	1,653	1,252	339	62	
	100.0	75.7	20.5	3.8	

③インターネットにつながるパソコン

		(上段:件 下段:%)			
		調査数	ある	ない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	66	222	22
		100.0	21.3	71.6	7.1
	祖父母等の同居なし	208	43	147	18
		100.0	20.7	70.7	8.7
	祖父母等の同居あり	102	23	75	4
		100.0	22.5	73.5	3.9
ふたり親世帯	ふたり親世帯	1,799	560	1,165	74
		100.0	31.1	64.8	4.1
	共働き	1,366	427	883	56
		100.0	31.3	64.6	4.1
父親または母親のどちらかのみ就労	433	133	282	18	
	100.0	30.7	65.1	4.2	
生活困難度	生活困難層	462	105	331	26
		100.0	22.7	71.6	5.6
	困窮層	182	37	133	12
		100.0	20.3	73.1	6.6
	周辺層	280	68	198	14
	100.0	24.3	70.7	5.0	
一般層	1,653	528	1,055	70	
	100.0	31.9	63.8	4.2	

④自宅で宿題をすることができる場所

		(上段:件 下段:%)			
		調査数	ある	ない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310	262	28	20
		100.0	84.5	9.0	6.5
	祖父母等の同居なし	208	172	20	16
		100.0	82.7	9.6	7.7
	祖父母等の同居あり	102	90	8	4
		100.0	88.2	7.8	3.9
ふたり親世帯	ふたり親世帯	1,799	1,638	90	71
		100.0	91.1	5.0	3.9
	共働き	1,366	1,248	64	54
		100.0	91.4	4.7	4.0
父親または母親のどちらかのみ就労	433	390	26	17	
	100.0	90.1	6.0	3.9	
生活困難度	生活困難層	462	386	52	24
		100.0	83.5	11.3	5.2
	困窮層	182	148	24	10
		100.0	81.3	13.2	5.5
	周辺層	280	238	28	14
	100.0	85.0	10.0	5.0	
一般層	1,653	1,520	67	66	
	100.0	92.0	4.1	4.0	

⑤勉強机

		(上段:件 下段:%)			
		調査数	ある	ない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	215 69.4	72 23.2	23 7.4
	祖父母等の同居なし	208 100.0	137 65.9	53 25.5	18 8.7
	祖父母等の同居あり	102 100.0	78 76.5	19 18.6	5 4.9
	ふたり親世帯	1,799 100.0	1,439 80.0	289 16.1	71 3.9
	共働き	1,366 100.0	1,099 80.5	216 15.8	51 3.7
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	340 78.5	73 16.9	20 4.6
	生活困難度	462 100.0	314 68.0	122 26.4	26 5.6
困窮層	182 100.0	118 64.8	52 28.6	12 6.6	
周辺層	280 100.0	196 70.0	70 25.0	14 5.0	
一般層	1,653 100.0	1,347 81.5	240 14.5	66 4.0	

⑥スポーツ用品

		(上段:件 下段:%)			
		調査数	ある	ない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	205 66.1	84 27.1	21 6.8
	祖父母等の同居なし	208 100.0	136 65.4	55 26.4	17 8.2
	祖父母等の同居あり	102 100.0	69 67.6	29 28.4	4 3.9
	ふたり親世帯	1,799 100.0	1,397 77.7	334 18.6	68 3.8
	共働き	1,366 100.0	1,074 78.6	242 17.7	50 3.7
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	323 74.6	92 21.2	18 4.2
	生活困難度	462 100.0	293 63.4	145 31.4	24 5.2
困窮層	182 100.0	113 62.1	58 31.9	11 6.0	
周辺層	280 100.0	180 64.3	87 31.1	13 4.6	
一般層	1,653 100.0	1,320 79.9	268 16.2	65 3.9	

⑦ゲーム機

		(上段:件 下段:%)			
		調査数	ある	ない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	238 76.8	51 16.5	21 6.8
	祖父母等の同居なし	208 100.0	160 76.9	31 14.9	17 8.2
	祖父母等の同居あり	102 100.0	78 76.5	20 19.6	4 3.9
	ふたり親世帯	1,799 100.0	1,490 82.8	241 13.4	68 3.8
	共働き	1,366 100.0	1,126 82.4	189 13.8	51 3.7
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	364 84.1	52 12.0	17 3.9
	生活困難度	462 100.0	370 80.1	68 14.7	24 5.2
困窮層	182 100.0	142 78.0	29 15.9	11 6.0	
周辺層	280 100.0	228 81.4	39 13.9	13 4.6	
一般層	1,653 100.0	1,370 82.9	219 13.2	64 3.9	

⑧自転車

		(上段:件 下段:%)			
		調査数	ある	ない	無回答
世帯タイプ	ひとり親世帯	310 100.0	202 65.2	84 27.1	24 7.7
	祖父母等の同居なし	208 100.0	132 63.5	57 27.4	19 9.1
	祖父母等の同居あり	102 100.0	70 68.6	27 26.5	5 4.9
	ふたり親世帯	1,799 100.0	1,302 72.4	429 23.8	68 3.8
	共働き	1,366 100.0	980 71.7	335 24.5	51 3.7
	父親または母親のどちらかのみ就労	433 100.0	322 74.4	94 21.7	17 3.9
	生活困難度	462 100.0	291 63.0	144 31.2	27 5.8
困窮層	182 100.0	111 61.0	58 31.9	13 7.1	
周辺層	280 100.0	180 64.3	86 30.7	14 5.0	
一般層	1,653 100.0	1,222 73.9	366 22.1	65 3.9	

第3章 小学5年生・中学2年生調査結果

⑨おこづかい

		(上段:件 下段:%)				
		調査数	ある	ない	無回答	
世帯タイプ	ひとり親世帯		310	189	100	21
			100.0	61.0	32.3	6.8
		祖父母等の同居なし	208	119	72	17
		100.0	57.2	34.6	8.2	
	祖父母等の同居あり	102	70	28	4	
		100.0	68.6	27.5	3.9	
	ふたり親世帯		1,799	1,181	546	72
			100.0	65.6	30.4	4.0
		共働き	1,366	888	426	52
		100.0	65.0	31.2	3.8	
父親または母親のどちらかのみ就労		433	293	120	20	
		100.0	67.7	27.7	4.6	
生活困難度	生活困難層		462	293	144	25
			100.0	63.4	31.2	5.4
	困窮層		182	115	56	11
			100.0	63.2	30.8	6.0
		周辺層	280	178	88	14
		100.0	63.6	31.4	5.0	
	一般層		1,653	1,097	490	66
		100.0	66.4	29.6	4.0	

⑩携帯電話、スマートフォン、タブレット端末

		(上段:件 下段:%)				
		調査数	ある	ない	無回答	
世帯タイプ	ひとり親世帯		310	185	105	20
			100.0	59.7	33.9	6.5
		祖父母等の同居なし	208	133	59	16
		100.0	63.9	28.4	7.7	
	祖父母等の同居あり	102	52	46	4	
		100.0	51.0	45.1	3.9	
	ふたり親世帯		1,799	1,009	721	69
			100.0	56.1	40.1	3.8
		共働き	1,366	765	549	52
		100.0	56.0	40.2	3.8	
父親または母親のどちらかのみ就労		433	244	172	17	
		100.0	56.4	39.7	3.9	
生活困難度	生活困難層		462	272	167	23
			100.0	58.9	36.1	5.0
	困窮層		182	102	70	10
			100.0	56.0	38.5	5.5
		周辺層	280	170	97	13
		100.0	60.7	34.6	4.6	
	一般層		1,653	936	653	64
		100.0	56.6	39.5	3.9	

世帯タイプ別にみると、ひとり親世帯（祖父母等の同居あり・なし）では多くの項目で「ある」がふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ少なくなっており、特に『②子ども部屋』『③インターネットにつながるパソコン』『⑤勉強机』『⑥スポーツ用品』で差が大きくなっています。一方、『⑨おこづかい』ではひとり親世帯（祖父母等の同居なし）のみ、ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）及びふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ少なくなっており、『⑩携帯電話・スマートフォン・タブレット』ではひとり親世帯（祖父母等の同居なし）のみ、ひとり親世帯（祖父母等の同居あり）及びふたり親世帯（共働き・どちらかのみ就労）に比べ多くなっています。

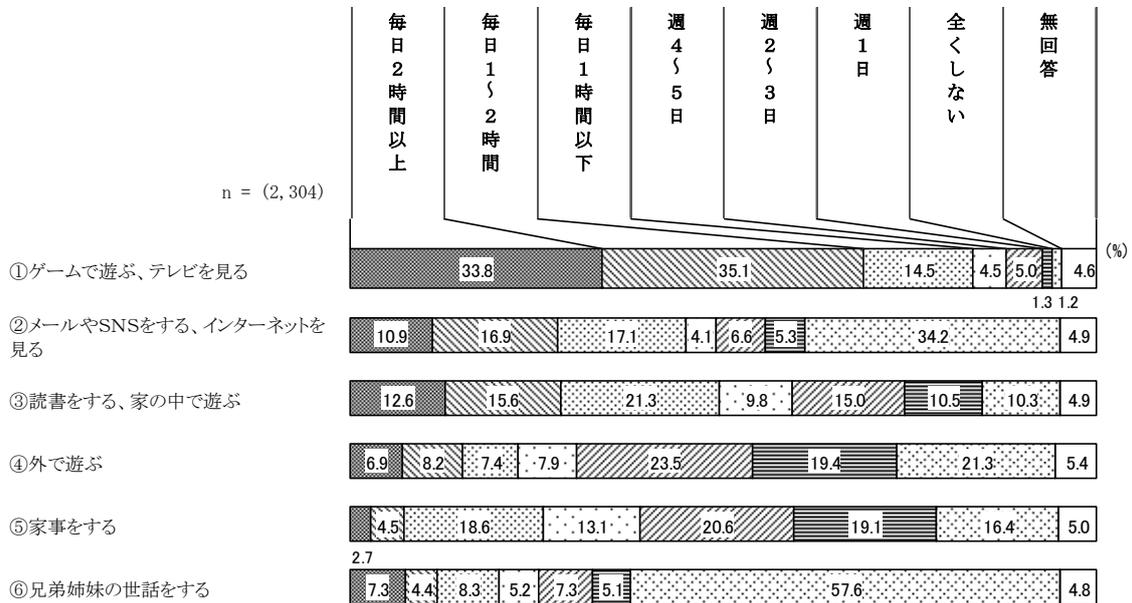
生活困難度別にみると、『⑩携帯電話・スマートフォン・タブレット端末』を除くすべての項目で困窮層・周辺層の「ある」が一般層に比べ少なくなっています。

(2) 普段の活動の頻度

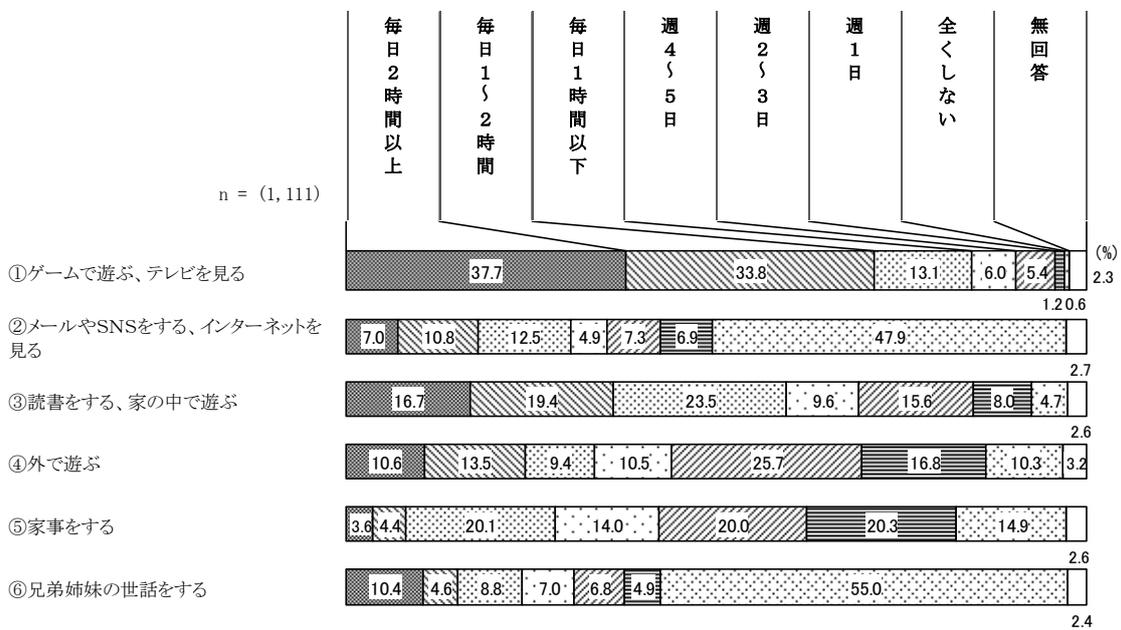
問 19 普段、次のような活動をどのくらいしていますか。

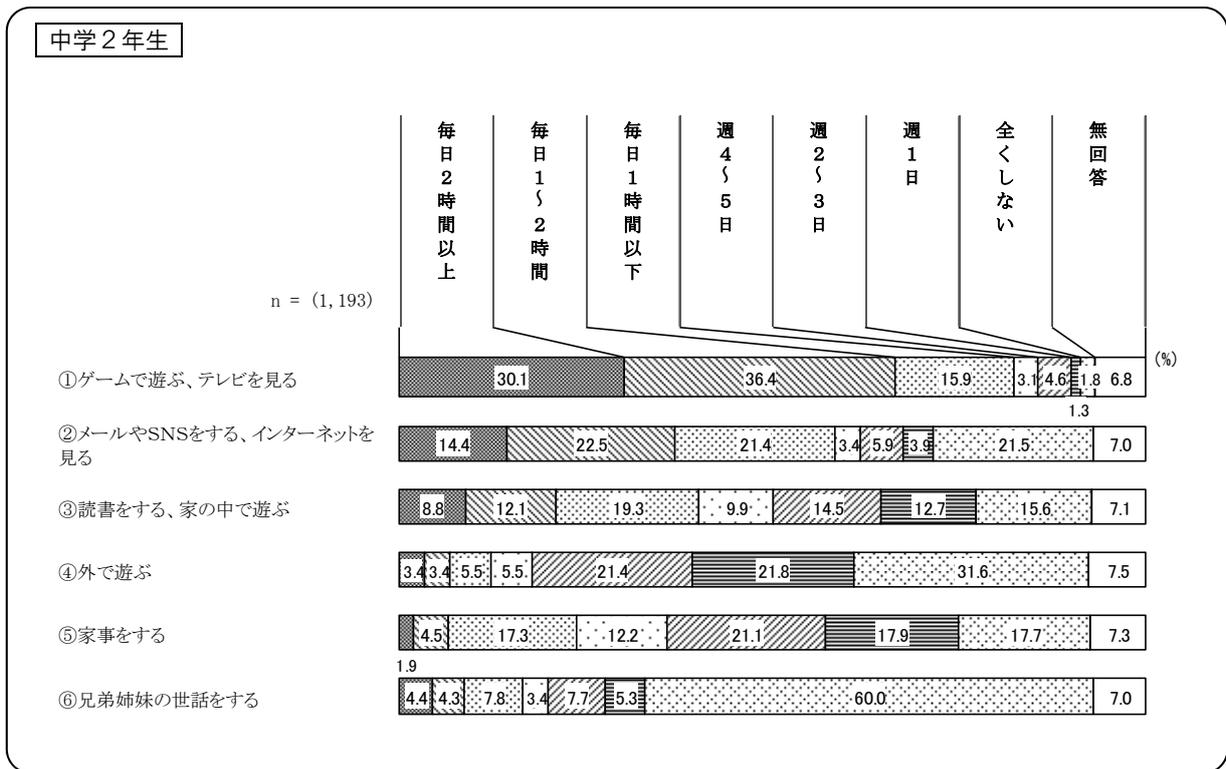
(それぞれあてはまる番号1つに○)

全体



小学5年生





普段の活動の頻度について、全体では「毎日1〜2時間」が『①ゲームで遊ぶ、テレビを見る』の項目で最も多く、「毎日2時間以上」と合わせると7割近くを占めています。一方、「全くしない」は『②メールやSNSをする、インターネットを見る』、『⑥兄弟姉妹の世話をする』の項目で最も多く、特に『⑥兄弟姉妹の世話をする』では57.6%と約6割を占めています。

小学5年生では『②メールやSNSをする、インターネットを見る』を「全くしない」と答えた方は47.9%であるのに対し、中学2年生では21.5%と約26ポイント低くなっています。

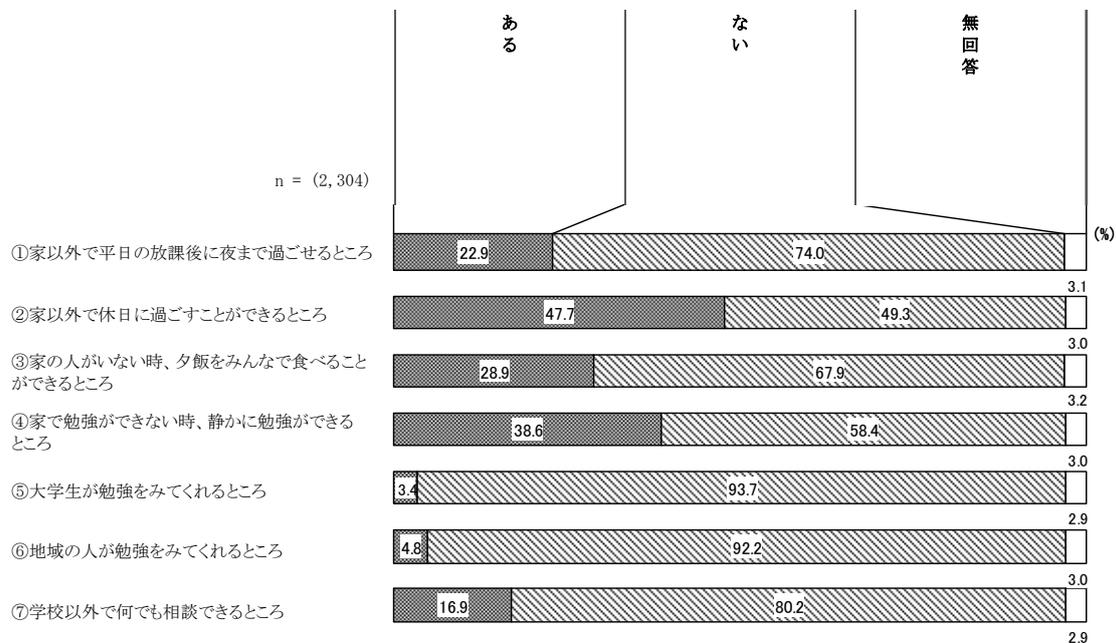
7. 様々な支援の利用状況について

(1) 次のような場所の利用状況、利用希望

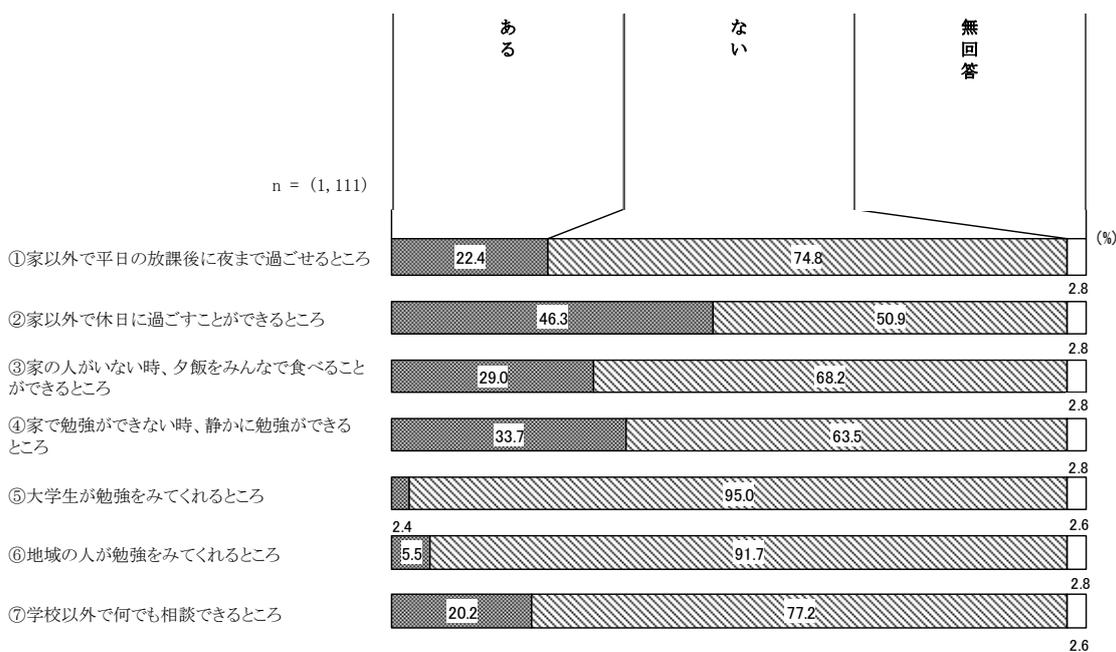
問 20 次のような場所を利用したことはありますか。また、利用したことがない場合、利用してみたいと思いますか。（それぞれあてはまる番号1つに○）

【次のような場所の利用状況】

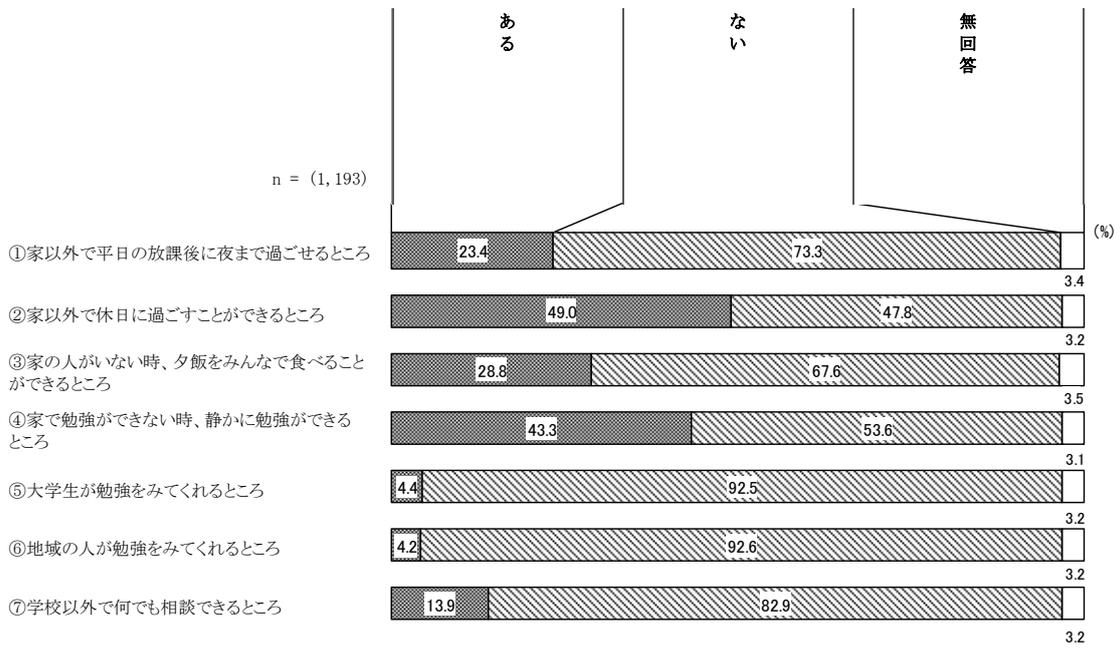
全体



小学5年生

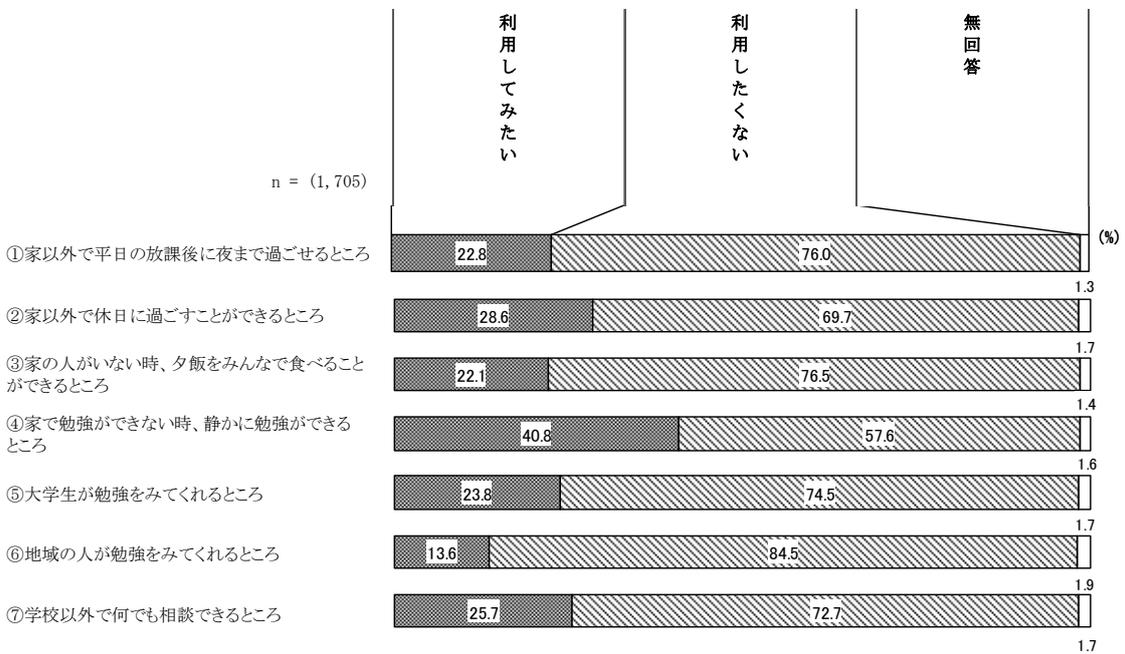


中学2年生

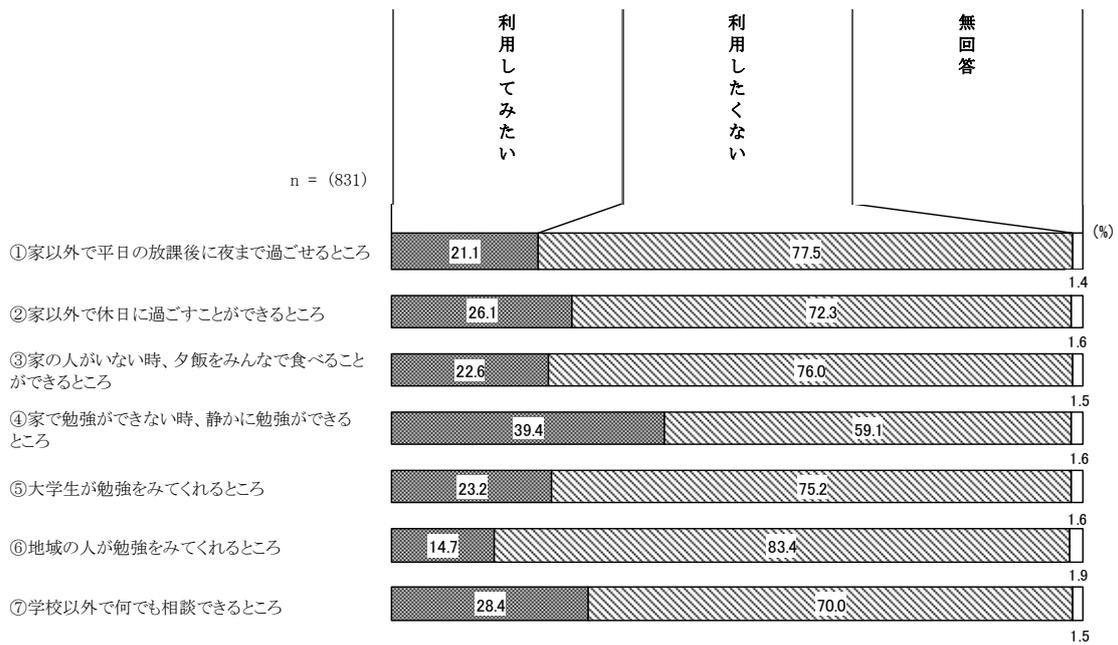


【次のような場所の利用希望】

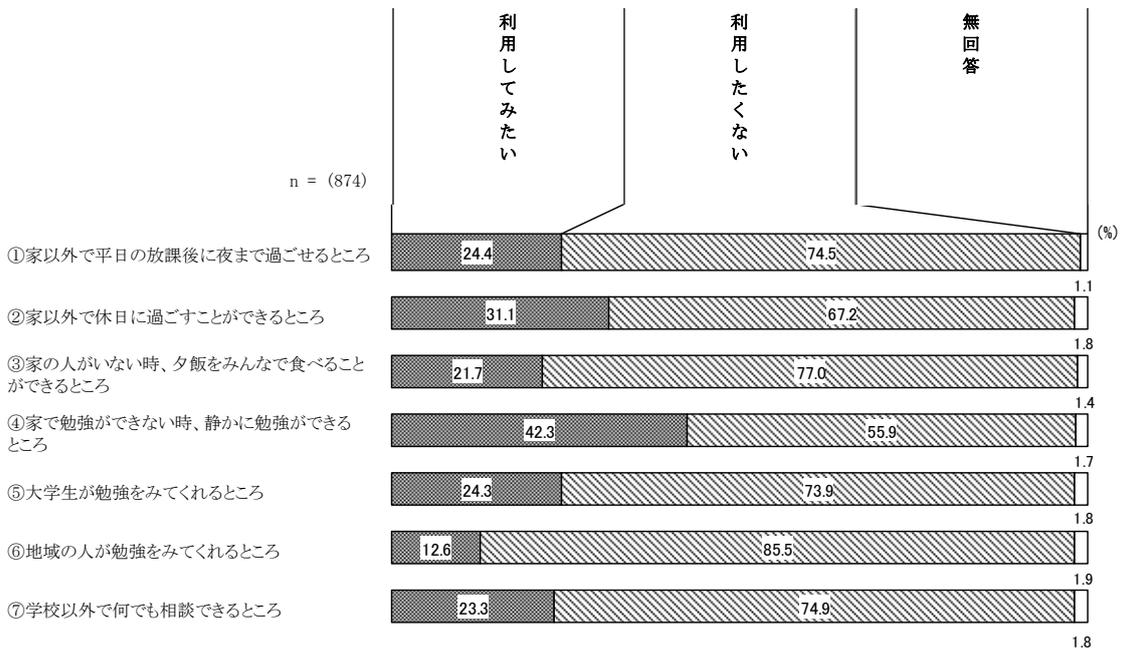
全体



小学5年生



中学2年生



次のような場所の利用状況について、全体ではいずれの項目も「ない」が半数以上を占め、特に『⑤大学生が勉強をみてる場所』(93.7%)、『⑥地域の方が勉強をみてる場所』(92.2%)では約9割を占めています。一方、「ある」では『②家以外で休日過ごすことができる場所』(47.7%)、『④家で勉強ができない時、静かに勉強ができる場所』(38.6%)が他の項目に比べ多くなっており、4割以上を占めています。

小学5年生では『④家で勉強ができない時、静かに勉強ができる場所』を「ある」と答えた方は33.7%であるのに対し、中学2年生では43.3%と多くなっています。

次のような場所の利用希望について、全体ではいずれの項目も「利用したくない」が最も多く、特に『⑥地域の方が勉強をみてる場所』(84.5%)では約8割を占めています。一方、「利用してみたい」では、『④家で勉強ができない時、静かに勉強ができる場所』(40.8%)が他の項目に比べ多くなっており、約4割を占めます。

小学5年生、中学2年生ともに、概ね同様の傾向となっています。

第4章 使用した調査票

いわき市子どもの生活実態調査業務委託 アンケート調査結果報告書

2019年11月

編集・発行:いわき市 こどもみらい部 こどもみらい課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
TEL:0246-22-7483(直通)

調査委託:株式会社サーベイリサーチセンター
